

2013 年度活動概要

1. 概況

2013 年度の我が国経済は、2012 年 12 月に発足した第 2 次安倍政権が打ち出した“アベノミクス”の 3 本の矢によって復活への足かがりをつかみつつあることは確かである。しかし、3 本目の矢である「民間投資を喚起する成長戦略」の成功の如何、少子・高齢化のますますの進展、大幅な財政赤字、エネルギー問題、東日本大震災からの復興の進捗、日中韓の外交防衛問題、北朝鮮の予断を許さない動き、また新興国の追い上げ等々、内外に亘って数多くの課題が山積している。国民のあらゆる層が経済回復の期待感を実感としてとらえられるよう、労使学が一致団結して弛まぬ生産性向上に取り組んでいくことが強く求められている。

こうした環境下で、当本部は、公益財団法人の 3 年目をスタート、(1)生産性運動を推進し未来を切り拓く人材の育成、(2)労使の信頼と協力関係を基軸とした新たな国づくり、活力ある組織づくり、(3)経営革新と経営品質の向上、(4)生産性の精神「改善魂」の浸透、の 4 つを事業の柱として、すべての活動において「生産性向上に関する関西 No. 1 の交流拠点」を目指して活発な事業活動を展開した。

2. 会員数の推移

2013 年度は、入会 17 組織、退会 40 組織で 23 組織減少し、会員数は 691 組織となった。

入会 17 の内訳は、企業 11、労働組合 2、個人 4 である。退会 40 の内訳は、企業 26、労働組合 11、その他(個人など)3 であったが、このうち 19 組織が休会会員からの退会分であった。なお、休会会員からの復会は 2 組織であった。退会の理由は、経費節減、組織合併、東京シフトなどである。

年度	入会	退会	増減	会員数(組織数)	会費収入(千円)
2009 年度	15	50	-35	758	138,497 千円
2010 年度	30	24	+6	764	138,335 千円
2011 年度	19	22	-3	761	136,384 千円
2012 年度	20	66	-46	714	133,090 千円
2013 年度	17	40	-23	691	128,717 千円

3. 事業の状況

(1) 参加者数

年間の延べ事業参加者数(参加人数×実施日数 1,163 日)は前年比 8.2%増の 21,123 人であった。なお、1,000 名以上の延べ参加者のあったのは、「全国 IE 年次大会」「西日本生産性会議」「関西経営幹部交流懇談会(MEST)」「インテリジェントアレー撰壇塾」の 4 事業であった。

前年との参加者増減の比較可能な 66 事業について、参加者が前年と同数もしくは増えた事業を“勝ち”、減った事業を“負け”とすると 34 勝 32 敗で勝率 5 割 2 分であった。

	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	前年比(%)
事業参加者総数(人)	18,868	19,505	21,777	19,526	21,123	+8.2%
事業収入(千円)	447,694	380,656	387,207	346,901	371,556	+7.1%

※事業参加者総数：診断指導・受託教育・出前教育は件数。全国大会を含む。2009 年度から延べ参加者数(参加人数×実施日数)を採用。

(2) 事業分野別概要

①経営革新事業

中堅企業経営委員会は、10月と2月の委員会にて、所管のKPC中堅企業「経営塾」や中堅企業研究会などについて審議するとともに、中堅企業を取り巻く経済環境や経営加課題などについて活発に意見交換した。さらに、2月13日から2日間、13名の委員が参加し四国視察旅行を開催し、ネッツトヨタ南国(株)、(株)ミロクなどを訪問した。

a. 経営品質向上（関西経営品質協議会）

創設10年目を迎えた「関西経営品質賞」は、4組織の申請があった。審査員による個別審査、合議審査、現地審査を経て、判定委員会、そして1月の関西経営品質賞委員会で、関西経営品質賞優秀賞を(株)京進、ノアインドアステージ(株)に授与することを決定した。2012年度の関西経営品質賞の報告会を兼ねた「経営イノベーション・フォーラム2013」には139名が参加し、本賞を受賞した(株)森長工務店の森長社長が「『ありがとう』の溢れる会社づくり」、ヤチヨコアシステム(株)の前田社長が「顧客志向型経営による戦略的人材マネジメント」と題しトップ講演をし、優秀賞を受賞した(株)伍魚福の山中社長と(株)シティ・エステートの山中代表取締役、奨励賞を受賞した浜理薬品工業(株)の高美社長の3氏によるパネル討論で組織を元気にするリーダーの役割について議論を深めた。

b. ものづくり革新事業（関西IE協会）

7月10日からの2日間、横浜で「第54回全国IE年次大会」を盛会裏に開催した。全国のモノづくり関係者833名が参加、「モノづくりが拓く日本の未来！～グローバル時代における新たな価値創造～」をテーマに、全体会議と4つの分科会にて事例研究を行った。12日からは15コースに分かれて現場見学会を行い、また「情報システム/モノづくりツール展」も併せて開催した。

「関西モノづくり大会」は、11月13日から2日間、「磨け！モノづくり技術力～新たな「日本のモノづくり」構築～」をテーマに248名の参加者を得て、全体会議、2つの事例分科会、見学会の内容で開催した。

創立55周年記念事業としてスタートした3回目の「関西5S大会」は1月23日に114名の参加を得て、5S実践現場の見学も含めて開催した。

②ユニオン・イノベーション事業

労働政策委員会は、2月の委員会にて、所管事業について審議するとともに、藤村委員(法政大学大学院)の「今労働組合リーダー育成に求められる要件」についての問題提起を受け意見交換をした。8月28日から2日間、15名の委員が参加し北陸にて特別委員会を開催し交流を深めた。

関西2府4県の連合と共催の「労働トップフォーラム」は24回目を迎え、6月1日、319名の労組リーダーが結集し、「転換期における労働組合の責務～リーダーの情熱と挑戦～」をテーマに熱心に討議した。

「ユニオン・イノベーション・リーダー養成プログラム」は、「初級コース」を法政大学大学院の藤村博之教授の指導のもと若手労組幹部14名が労働組合に求められる役割について研究を深めた。また2012年度の「上級コース」は、同志社大学の石田教授の指導のもと5名の労組リーダーがゼミ形式の研修を行い、7月に「労使協議の充実と生産性向上」について研究成果を発表した。

③雇用開発・労使関係事業

「労使関係委員会」は、8月と2月の委員会にて所管事業について審議するとともに、11月には「高齢者雇用対策」をテーマにダイキン工業(株)滋賀製作所を訪問、見学した。

「第41回西日本生産性会議」は7月25日・26日に京都で開催した。西日本各地から労使563名が集い、「新たな国づくりへ労使の挑戦～信頼社会の実現に向けて～」をテーマに議論した。

「キャリア・コンサルタント養成講座」は今年22期を迎え、19名の受講生が10月から1月の土・日曜日、12回にわたってキャリア・カウンセリングの理論と実務について学んだ。年明け、春闘前に労使交渉に関する諸情報を提供する「関西労使政策フォーラム」は、関西経済連合会との共催で、1月21日・22日の2日間、「アベノミクス時代における政労使の役割～持続的な経済成長を目指して～」をテーマに185名の参加を得て開催した。

④人材開発事業

「人材開発委員会」は、11月と2月の委員会にて、所管の人材育成事業について活発に意見交換するとともに、安室副委員長(大阪商業大学)や南山大学の中村教授からの話題提供を受けて、新興市場での我が国企業の戦略や経営に資する強い組織づくりについて議論を深めた。

「第35期経営幹部交流セミナー」は、(株)阪急阪神ホテルズの出崎弘相談役を団長に、「社会と企業、持続的発展に向けた共通価値の創造」をテーマに、27名の経営幹部が研修を進め欧州とアジアでの海外研修を行った。

KPC マネジメントスクールは、経営戦略、経営人事イノベーション、マーケティング、技術・イノベーションマネジメントの4コースに43名が参加、7月から12月まで5ヶ月間にわたって仮説検証型の実践的な研修を行ない、研究成果をそれぞれの組織に持ち帰った。

アジアでの競争に打ち勝つ若手ビジネスリーダーの育成を狙いとした「第11回アジア・ビジネススクール」は、35名の若手ビジネスパーソンが8月末の国内合宿研修で策定したタイ・バンコクでの新規事業計画の実現可能性を9月に1週間現地バンコクで探った。

「第23期KPC中堅企業「経営塾」」は、中堅企業経営委員会の花谷副委員長(オーケー化成(株)会長・社長)を塾長に、19名の経営幹部候補生が自社の経営課題を持ち寄り13日間にわたって今後の経営の有様について相互研鑽を行った。

「訪米組織開発調査団」は、大阪ガス都市開発(株)の黒田晶志会長を団長に労使、大学関係者18名が8月に“組織開発”先進国アメリカの企業、研究機関などを訪問し、組織開発による人と組織の活性化への取り組みについて調査し、12月に154名の参加のもと報告会を開催した。

2年目を迎えた「関西キャリア教育支援協議会」は、関係5団体と共催で、大阪府・大阪市教育委員会と連携しながら、学校現場への出前授業、教員研修会への社会人講師の派遣、職業体験、大阪府立・大阪市立小中学校長の公募選考への外部面接官派遣など多彩な活動を展開した。

⑤診断指導事業

経営診断・指導件数は6件、企業内教育訓練受託件数は26件、経営品質向上支援受託件数は5件、労働組合受託研修は5件あった。人事制度構築、ロジカルスキル開発、人事考課研修、目標管理研修、グローバルマインド養成、労働組合の次世代リーダー養成などのニーズが高かった。

⑥会員交流・広報事業

これからの生産性運動の方向を考えるとともに会員相互の交流を図る「関西生産性大会2013」は、4月19日に406名の会員が集い盛大に開催し、併せて2012年度関西経営品質賞の表彰式も行い参加者全員で受賞企業をお祝いした。

「21世紀全国生産性フォーラム」は、「日本のプレゼンス強化～成長への確かな一歩～」

をテーマに、11月東京に全国から231名の生産性運動の推進者が集った。

神戸大学で6月から14回にわたり、関西学院大学で9月から14回にわたり、さらに新たに大阪市立大学で10月から13回にわたり、「生産性講座」をそれぞれ開講した。講師は、両大学の教員の他、大坪 清会長(レンゴー(株)社長)、辻 卓史評議員会議長(鴻池運輸(株)会長)、岡野幸義前副会長(ダイキン工業(株)相談役)、川村群太郎人材開発委員長(ダイキン工業(株)副社長)、山崎弦一労働政策委員長(パナソニック労働組合連合会委員長)、四方田圭一関西IE協会運営委員長(住友金属工業(株)技術・品質保証部長)など当本部の役員、委員、職員が務め、生産性運動の理論と実践について計594名の商学部、経済学部生が学んだ。

4. 運営

公益財団法人として3年目の「理事会」、「評議員会」を5月と6月にそれぞれ、また3月には合同で開催した。議案審議の他、我が国の政治・外交・防衛問題、我が国企業のダイバーシティマネジメントのあり方などについてゲスト講師が問題提起し、出席者全員で活発な意見交換を行った。また、理事が2013年6月に2年の任期満了を迎え、臨時評議員会にて向こう2年の理事を選任し臨時理事会にて代表理事と業務執行理事を決定した。

正副会長、評議員会正副議長、各委員会正副委員長から構成する「運営幹部会」を9月と1月に開催し、各委員会の活動計画、2014年度事業計画・収支予算の大綱について審議した。1月の運営幹部会終了後、大阪経済記者クラブとの定例の懇談会を開催した。

また、「総務政策委員会」は5月、11月、3月の計3回開催し当本部の運営全般にかかわる事柄について審議したが、8月には1泊2日で伊勢志摩方面への視察会を開催し委員相互の交流にもつとめた。

5. 活動に対する会員の評価

当本部の様々な活動に対する評価は日常的に受けており、また、入会・退会あるいは個々の事業への参加・不参加という直接的な選択行動によっても評価されているが、これらに加えて役員・委員の方々を対象に定期的にオピニオン・サーベイを行ない、さらに全会員に活動の評価について「賛助会員アンケート」として聞いた。

その結果、「高く評価している」が22%と年々少しずつ増えている。また、「高く評価している」「評価している」の合計が80%と、昨年度より2%アップした。このトップ2の評価を高めていかないと存在感のある活動とは言えないと考えている。「明日は今日より昨日より」の生産性の精神“改善魂”で、会員や社会にとってなくてはならない存在、つまり関西No.1の交流拠点を目指して、役員、会員の皆様のご指導とご支援を得て一層の活動の充実を図っていききたい。

Q：2013年度、当本部は「生産性運動を推進し、未来を切り拓く人材の育成」「労使の信頼と協力関係を基軸とした国づくり、活力ある組織づくり」「経営革新と経営品質の向上」・「生産性の精神「改善魂」の浸透」の4項目を事業の柱として、関西No.1の交流拠点となることを経営ビジョンにおいて、多様な事業を実施してまいりました。当本部が展開する各種事業活動をどのように評価いただいておりますか。

	2008年	2009年	2010年	2011年※	2012年	2013年
高く評価している	13%	12%	15%	17%	21%	22%
評価している	69%	73%	72%	63%	57%	58%
どちらともいえない	17%	13%	13%	20%	22%	18%
不十分である	0%	1%	1%	0%	0%	0%
その他	1%	1%	0%	0%	0%	0%

・ 対象：2010年までは当本部運営幹部会メンバー、委員等約280名。

※2011年からは全会員を対象にした(2013年度調査実施 回答率11.1%)。

事 業 項 目

I. 経営革新	(実施日数)	(掲載ページ)
中堅企業経営委員会	2	8
中堅企業研究会	5	9
第23期 K P C 中堅企業「経営塾」	13	10
価値創造フォーラム	1	12
決断力セミナー	1	12
経営革新支援セミナー	5	12
経営研究会	10	13
ロジスティクス研究会	10	13
営業・マーケティング研究会	8	14
産業経理研究会	8	15
「技術経営」交流研究会	8	16
CSR・コンプライアンス研究部会	12	17
ビジネスロー・フォーラム	22	17
法人税研究講座	22	18
営業基礎力向上セミナー	1	19
新任営業担当者セミナー	1	20
営業マン実務知識入門講座	3	21
産学フロンティア会議	3	21
関西経営品質協議会	—	22
・幹事、企画実践委員会	1	22
経営品質エグゼクティブ・コンファレンス	4	23
KQCフォーラム	6	24
アセスメントコース	12	24
アセッサー認定更新研修	4	25
経営イノベーション・フォーラム2013 (2012年度 関西経営品質賞 報告会)	1	25
関西経営品質賞	—	26
1. 審査員研修	1	26
2. 賞審査	10	26
3. 賞制度企画委員会	1	27
4. 関西経営品質賞判定委員会	2	27
5. 関西経営品質賞委員会	1	27
経営品質・組織革新サーベイ	—	28
経営品質トップセミナー	4	28
経営品質セミナー	12	28
学校「経営品質」向上研究会	8	29
神戸大学大学院「経営品質特殊研究」講座	12	30
関西インダストリアル・エンジニアリング (IE) 協会	—	31
・幹事会	1	31
・正副会長懇談会	1	32
・運営委員会	5	32
2013年度 関西モノづくり大会	2	34
・企画実行委員会	5	34
第54回 全国IE年次大会	3	35
・(2014年度)第55回全国IE年次大会」企画実行委員会	5	38
2013年度 関西5S大会	3	39
関西モノづくりフォーラム	5	39
会員誌『IEレビュー』	—	40
海外赴任者・応援者のための海外赴任前研修	1	40
《“実践型”改善リーダー育成スクール》 “改善実践” 入門セミナー	2	41
《“実践型”改善リーダー育成スクール》 “改善実践” 基礎セミナー	2	41
《“実践型”改善リーダー育成スクール》 “改善実践” 中級セミナー	3	42
工場長・製造幹部のための生産現場改革実践セミナー	1	43
5S・見える化セミナー	1	44
生産現場のリーダー力強化セミナー	1	44
「なぜなぜ分析」活用による問題解決力向上セミナー	1	45

生産計画・工程管理力強化セミナー	1	46
実践不良ゼロへのアプローチセミナー	2	47
実践ヒューマンエラーゼロへのアプローチセミナー	1	48
5S・ファイリング実践セミナー	1	49
実践！ビデオ活用による「作業標準書作成」入門セミナー	1	50
製造リードタイム短縮セミナー	1	50
“周辺視”目視検査法セミナー	2	51
第25期SIGMA（戦略的統合生産システム）研究会	7	51
生産現場研究会	5	52
モノづくり視察会	4	53
香港生産性協議会クイック・レスポンス・マニュファクチャリング調査受け入れ	5	53

II. ユニオン・イノベーション

(実施日数)

(掲載ページ)

労働政策委員会	3	56
第24回労働トップフォーラム	1	58
・企画実践委員会	7	58
労働組合研究会	10	59
ユニオン度診断システム	—	60
ユニオン・イノベーション・リーダー養成プログラム（初級）	1	60
ユニオン・イノベーション・リーダー養成プログラム（上級）	—	61
eユニオン・メニュー	—	61

III. 雇用開発・労使関係

(実施日数)

(掲載ページ)

労使関係委員会	3	62
労使政策研究会	6	63
人事労務研究会	10	63
賃金基礎講座	2	64
第41回西日本生産性会議2013	2	65
・事前打合せ会	2	65
・首脳者昼食懇談会	1	66
関西労使政策フォーラム	2	66
人事考課の基本スキル向上セミナー	2	67
メンタルヘルス研究会	8	67
キャリア・コンサルタント養成講座	13	68
キャリア・コンサルタント資格試験・資格更新研修	6	68
キャリア・クロス会	9	69
要員管理と総額人件費マネジメントセミナー	1	70
ダイアログ型人事制度の設計と運用セミナー	1	70
管理部門生産性向上セミナー	1	70
労働法研究会	11	71
労働法基礎講座	4	71
2014年版活用労働統計発表会	1	72
労使交渉と統計活用特別セミナー	1	72
グローバル人材マネジメント講座	3	72
アサーション・トレーニング講座	2	73

IV. 人材育成

(実施日数)

(掲載ページ)

人材開発委員会	2	74
内外のトップを囲む懇談会	10	75
第35期経営幹部交流セミナー	34	76
関西経営幹部交流懇談会（MEST）	191	79
KPCマネジメントスクール2012（全体）	—	83
・PTA会	1	84
KPCマネジメントスクール「経営戦略コース」	15	84
KPCマネジメントスクール「経営人事イノベーションコース」	16	86
KPCマネジメントスクール「マーケティングコース」	18	87
KPCマネジメントスクール「技術・イノベーションマネジメントコース」	17	89
KPCマネジメントスクールフォローアップ研修	18	91
第49期グローバルマインド養成講座	10	91
第11回アジア・ビジネススクール	10	92

第11回アジア・ビジネススクール実施報告会・フォローアップ会	1	93
訪米組織開発調査団	16	94
訪米組織開発調査団報告会	1	95
人材開発研究会	10	96
厚生労働省ビジネス・キャリア検定認定講座（通信講座）	—	96
インテリジェントアレー撰壇塾	21	97
教育研修用視聴覚・ビデオ販売	—	98
入社前研修（通信教育）	15	98
新任マネージャーベーシックコース	2	99
係長・主任基礎コース	6	100
管理者基礎コース	6	100
研修総点検セミナー	1	101
女性部下マネジメントセミナー	1	102
“グローバルリーダー”育成セミナー	1	102
ロジカルシンキングコース	2	103
ロジカルライティングコース	1	103
ロジカルプレゼンテーションコース	2	103
ロジカルファシリテーション&ネゴシエーションコース	1	103
ビジネスディベート	2	104
女性リーダー交流フォーラム	7	104
関西キャリア教育支援協議会	32	105
留学生向け合同企業説明会	1	108
産学官交流シンポジウム・京阪神学生ビジネスプランコンテスト	1	108

V. 診断指導・受託

(実施日数)

(掲載ページ)

経営診断・指導	53	110
企業内教育訓練受託	122	110
経営品質向上支接受託	42	111
労働組合受託	17	111

VI. 会員交流・広報

(実施日数)

(掲載ページ)

関西生産性大会2013	1	114
賛助会員集会「KPCフォーラム」	3	114
機関誌「KPCNEWS」	—	114
第26回 KPC定期調査	—	115
KPC賛助会員アンケート	—	115
21世紀全国生産性フォーラム	1	115
情報化シンポジウム・イン・関西	1	116
全国機関誌「生産性新聞」（発行元：(公財)日本生産性本部）	—	116
生産性手帳販売	—	117
各種刊行物など	—	117
神戸大学「生産性講座」	14	117
関西学院大学「生産性講座」	14	118
大阪市立大学「生産性講座」	13	119

VII. 運営

(実施日数)

(掲載ページ)

理事会	2	122
評議員会	2	123
顧問・参与	—	124
運営幹部会	2	125
大阪経済記者クラブとの懇談会	1	125
総務政策委員会	5	126

合計

1163日

I . 經營革新

中堅企業経営委員会

概要：中堅・中小企業の振興・活力化に関する事項を審議した。

委員長	太陽工業(株) 代表取締役会長兼社長	能村光太郎
副委員長	オーケー化成(株) 代表取締役会長兼社長	花谷 修
	塩野香料(株) 代表取締役社長	塩野 秀作
	日本ビラー工業(株) 代表取締役社長	岩波 清久
	松尾産業(株) 代表取締役社長	松尾 俊彦
	大阪商業大学 総合経営学部教授	金井 一頼
委員	名古屋市立大学 大学院経済学研究科教授	角田隆太郎
	アースインターシステムズ(株) 代表取締役	上野 勝
	アートコーポレーション(株) 専務取締役	村田 省三
	アイ企画(株) 取締役大阪営業部部門長	信川 昌哉
	朝日ゴルフ用品(株) 取締役会長	内本 芳明
		(2013年6月退任)
	荒川化学工業(株) 代表取締役社長	谷奥 勝三
		(2013年6月退任)
	荒川化学工業(株) 常務取締役	宇根 高司
		(2013年7月就任)
	因幡電機産業(株) 代表取締役社長	守谷 承弘
	エスペック(株) 代表取締役社長	石田 雅昭
		(2013年6月退任)
	エスペック(株) 開発担当取締役	村上 精一
		(2013年7月就任)
	岡野食品産業(株) 代表取締役社長	岡野 吉純
	音羽電機工業(株) 代表取締役社長	吉田 修
	(株)近畿大阪銀行 代表取締役兼専務執行役員	中前 公志
		(2013年6月退任)
	(株)近畿大阪銀行 代表取締役専務執行役員	酒井 真樹
		(2013年7月就任)
	(株)コーナン・メディカル 代表取締役社長	池上 哲治
	シプロ化成(株) 代表取締役社長	白石 泰章
	(株)昭和丸筒 代表取締役社長	岩本 泰典
	(株)スギモト 代表取締役	杉本 直広
		(2013年7月新任)
	住友精密工業(株) 代表取締役副社長	彦惣 憲治
		(2013年6月退任)
	(株)田邊空気機械製作所 代表取締役社長	田邊 照
	田村駒(株) 取締役相談役	富士 智之
		(2013年6月退任)
	中京大学 経営学部教授	寺岡 寛
		(2013年6月退任)
	ツジカワ(株) 代表取締役社長	辻川 豊
	ニッタ(株) 代表取締役会長	新田 長彦
	(株)日本ネットワークサポート 代表取締役社長	岸田 哲二
		(2013年6月退任)
	(株)日本ネットワークサポート 取締役社長	井狩 雅文
	(株)ハークスレイ 代表取締役会長兼社長	青木 達也
	(株)ヒガントウエンティワン 代表取締役社長	金森 滋美
	プライミクス(株) 代表取締役社長	古市 尚
	ベルモントコミュニケーションズ(株) 代表取締役社長	吉川 邦英
	(株)堀内機械 代表取締役社長	堀内 晋平
	Man to Man(株) 代表取締役会長兼社長	田中 正次
	(株)りそな銀行 専務執行役員	根来 茂樹
	ローランド(株) 専務取締役	西澤 一朗
		(2013年6月退任)

	月日・場所	議 案
1回	10月18日 リーガロイヤルNCB	1. 「2013年度当委員会実績」報告 (13名) ・「KPC中堅企業『経営塾』」 ・「中堅企業研究会」

		<ul style="list-style-type: none"> ・その他 2. 質疑応答 3. 自己紹介、経済情勢・経営に関する意見交換 4. 全体総括 	
特別	2月13日～14日 高知県 高知市 南国市	『四国視察』 1. ネットヨタ南国(株) 「人が輝く人間性尊重の組織づくり」 ～社員のやりがいを高めて顧客満足を実現～ ネットヨタ南国(株) 取締役相談役 2. 大型屋台村「ひろめ市場」 「アイデアと行動で地域活性化に成功」 ～年間300万人が訪れる、ひろめ市場～ ひろめ市場発案者 3. ミロクグループ 「地方の中小企業 生き残り戦略の軌跡」 ～製品を芸術品に近づけるモノづくり～ (株)ミロク 代表取締役社長 [中堅企業研究会と合同]	(総数13名) 横田 英毅 岩目 一郎 弥勒 美彦
2回	2月24日 当本部会議室	1. 「2013年度当委員会実績」報告 2. 「2014年度当本部事業計画大綱」について 3. 「2014年度委員会活動計画(案)」審議 4. 経済情勢・経営に関する意見交換	(14名)
特別	3月25日 梅田スカイビル	《価値創造フォーラム》 [価値創造フォーラムの欄参照]	(総数28名)

中堅企業研究会

概要：全国より先進的企業経営者を招聘し、会員間の忌憚のない意見交換を通じて、これからの企業経営の方向性やリーダーシップのあり方を展望した。

統一テーマ：「独自価値を生み出す経営」～環境変化の波に乗れ～

幹事長：プライミクス(株) 代表取締役社長

古市 尚

幹事：岡野食品産業(株) 代表取締役社長

岡野 吉純

ツジカワ(株) 代表取締役社長

辻川 豊

(株)堀内機械 代表取締役社長

堀内 晋平

アドバイザー：大阪商業大学 総合経営学部経営学科教授

金井 一頼

回数：定例会5回、特別例会5回

会員数：23名

	月日・場所	内 容	
特別	6月12日 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)	《経営イノベーション・フォーラム2013》 [経営品質エグゼクティブ・コンファレンスの欄参照]	(総数139名)
特別	8月2日 リーガロイヤルホテル	《経営品質エグゼクティブ・コンファレンス 第2回》 [経営品質エグゼクティブ・コンファレンスの欄参照]	(総数23名)
1回	8月8日 ホテル阪急インターナショナル	「社員の心に主軸を置いた経営」 ～紡績業からの事業転換で学んだこと～ ヒロボー(株) 代表取締役社長	(13名) 松坂晃太郎
2回	10月16日 ホテル阪急インターナショナル	「『高学歴大工集団』の平成建設」 ～職人を内製化した独自のビジネスモデル～ (株)平成建設 代表取締役社長	(17名) 秋元 久雄
3回	11月12日 (株)傳來工房	「徹底した環境整備の傳來工房」 ～社員全員を最高の営業マンに変える力～ (株)傳來工房 代表取締役社長	(15名) 橋本 和良
特別	11月15日 リーガロイヤルホテル	《経営品質エグゼクティブ・コンファレンス 第3回》 [経営品質エグゼクティブ・コンファレンスの欄参照]	(総数30名)
4回	12月10日	「高度外国人材活用とわが社のグローバル展開」	(17名)

	リーガロイヤルホテル	～海外に負けないモノづくり、本多機工～ 本多機工(株) 代表取締役社長	龍造寺健介
特別	1月15日 NCB会議室「緑」	《KQCフォーラム 第5回例会》 [KQCフォーラムの欄参照]	(総数55名)
特別	1月21日 リーガロイヤルホテル	《経営品質エグゼクティブ・コンファレンス 第4回》 [経営品質エグゼクティブ・コンファレンスの欄参照]	(総数24名)
特別	2月13日～14日 高知県 高知市 南国市	『四国視察』 1. ネットヨタ南国(株) 「人が輝く人間性尊重の組織づくり」 ～社員のやりがいを高めて顧客満足を実現～ ネットヨタ南国(株) 取締役相談役 2. 大型屋台村「ひろめ市場」 「アイデアと行動で地域活性化に成功」 ～年間300万人が訪れる、ひろめ市場～ ひろめ市場発案者 3. ミロクグループ 「地方の中小企業 生き残り戦略の軌跡」 ～製品を芸術品に近づけるモノづくり～ (株)ミロク 代表取締役社長 [中堅企業経営委員会と合同]	横田 英毅 岩目 一郎 弥勒 美彦
5回	3月7日 当本部会議室	「世界中の人の移動にバリューイノベーションを起こす」 ～全国ネットワークを創造するWILLER GROUP～ WILLER GROUP 代表	(13名) 村瀬 茂高

第23期 KPC中堅企業「経営塾」

概要：中堅企業の経営幹部育成のための合宿形式のマネジメントスクールとして実施した。

期間：7月12日～10月18日

塾長：オーケー化成(株) 代表取締役会長兼社長

花谷 修

コーディネータ：大阪商業大学 総合経営学部教授、大阪大学 名誉教授

金井 一頼

ブリシス経営研究所 代表取締役・公認会計士

谷川 昌司

大阪経済大学 経営学部准教授

吉野 忠男

関西大学 商学部教授

川上 智子

回数：定例会13回

参加者数：19名

	月日・場所	内 容	
1回	7月12日 当本部会議室	《主催挨拶》 太陽工業(株) 代表取締役会長兼社長 (公財)関西生産性本部 中堅企業経営委員会委員長 《オリエンテーション》 「今期の目的と特色」 KPC 中堅企業『経営塾』コーディネータ (大阪商業大学 総合経営学部教授) 塾メンバー自己紹介 《塾長挨拶・講話》 KPC 中堅企業『経営塾』塾長 (オーケー化成(株) 代表取締役会長兼社長) PTA から一言 経営トップの会 開講式終了 《経営トップ 夕食懇談会》 《塾生 オリエンテーション・懇親会》 事務局オリエンテーション 夕食懇親会	能村光太郎 金井 一頼 花谷 修
2回	7月26日 ホテルサルート梅田	「経営戦略の基本1」 「自社の戦略転換を考える」 大阪商業大学 総合経営学部教授	金井 一頼
3回	7月27日	「自社の戦略転換を考える」	

	ホテルサルト梅田	講義「経営戦略とドメイン」～企業ドメインの意義～ 大阪商業大学 総合経営学部教授	金井 一頼
4回	8月23日 当本部会議室	ステップ1「マーケティングと価値創造」 関西大学 商学部教授 塾長との懇談会（経営トップとの問答1） オーケー化成(株) 代表取締役会長兼社長 夕食懇親会	川上 智子 花谷 修
5回	8月24日 当本部会議室	ステップ2「失敗の研究」 1. 「ケーススタディ/10社」 グループ討議・発表・コメント 2. 講義「どこで、どうして失敗したのか、失敗をしないためには・・・」 大阪経済大学 経営学部准教授 次回のオリエンテーション	吉野 忠男
6回	9月5日 ホテルサルト梅田	経営数字の把握1 1. 講義「経営数字の把握」 (株)ブリシス経営研究所 代表取締役 2. グループ演習「経営数字の分析」（企業比較）	谷川 昌司
7回	9月6日 ホテルサルト梅田	3. 発表・講義「経営数字の把握」 (株)ブリシス経営研究所 代表取締役 4. 自社分析演習 経営トップとの問答2 「『ノアイズム』で社員と顧客に感動を」 ～ノアインドアステージの7つの信条～ ノアインドアステージ(株) 代表取締役社長	谷川 昌司 大西 雅之
8回	9月7日 ホテルサルト梅田	ドメインの把握2 (株)ブリシス経営研究所 代表取締役	谷川 昌司
9回	9月17日 中部マーケティング 協会伏見東会 議室	1. 経営トップとの問答3 「経営者の決断」～視野は広く、想いは熱く～ (株)金トビ志賀 代表取締役社長 2. 研修	志賀 重介
10回	9月18日 中部マーケティング 協会伏見東会 議室 (株)メニコン関工場	3. 研修 4. 経営トップとの問答4 「国内最大手コンタクトレンズメーカー メニコンの経営戦略」 ～経営トップに必要な決断力・リーダーシップとは～ (株)メニコン 取締役代表執行役社長 メニコン関工場 視察 質疑応答・まとめ	田中 英成
11回	10月4日 当本部会議室	1. 講義「前回復習」 2. 講義「投資と回収」 (株)ブリシス経営研究所 代表取締役 3. 投資内容の発表（ドメインシート） 4. 個人演習「自社のドメインチェンジにおける投資・回収計画策定」 経営トップとの問答5 「モノづくりの喜びを社員とともに」 ～正直な経営を目指す、辰巳工業～ 辰巳工業(株) 代表取締役社長	谷川 昌司 辰巳施智子
12回	10月5日 当本部会議室	4. 個人演習 発表 まとめ (株)ブリシス経営研究所 代表取締役 次回のオリエンテーション	谷川 昌司
13回	10月18日 当本部会議室	《成果報告会》 全体報告・塾生成果報告 本塾コーディネータ（大阪商業大学 総合経営学部教授） 塾生報告 《閉講式》 主催者挨拶 太陽工業(株) 代表取締役会長兼社長	金井 一頼

	(公財)関西生産性本部 中堅企業経営委員会委員長	能村光太郎
	修了証書授与 塾長挨拶 オーケー化成(株) 代表取締役会長兼社長	花谷 修
	所感 経営トップの会 《 閉講記念パーティー 》	

価値創造フォーラム

概 要：インターネットを使ったモノづくりと資金調達におけるイノベーションの最先端事情を、日本のトップランナーの講演を通じて学んだ。

月 日：3月25日

場 所：梅田スカイビル タワーウエスト

テ マ：「アイデアひとつで資金調達・モノづくり」～誰もがイノベーションを起こせる時代～

講 師：(株)ハイパーインターネット 代表取締役 石田 光平
(株)DMM.com 3Dプリント事業部事業部長 白井 秀範

参加者数：25名

「3Dプリンターが変えるモノづくり」 (株)DMM.com 3Dプリント事業部事業部長	白井 秀範
「クラウドファンディングが拓く未来」 (株)ハイパーインターネット 代表取締役	石田 光平
〈質疑応答〉 (株)アントレプレナーファクトリー 代表取締役	嶋内 秀之

決断力セミナー

概 要：マネージャーに必要な決断力を、数字力、論理的思考、感情コントロールの3つの側面から学んだ。

月 日：3月12日

場 所：当本部会議室

講 師：(株)決断力 決断力プロデューサー 高島 徹

参加者数：17名

<p>リーダー・マネージャーをとりまく環境変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス決断力が重要になった背景 ・時代の変化を振り返ってみよう ・デキる課長とデキない課長の違いとは <p>決断力の「守」：数字力 決断の基準を明確にしよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケーススタディ (1) 企業事例に学ぶ <p>決断力の「破」：論理的思考、「離」：感情コントロール 決断に至る「仕組み」とは</p> <p>総合演習・ケーススタディ (2) 「プロジェクトX」、あなたならどうしますか？</p> <p>質疑、まとめ</p>
--

経営革新支援セミナー

概 要：企業経営に携わる皆様の関心の高いテーマを指導実績のあるコンサルタントが解説した。

期 間：4月24日～9月10日

回 数：5回

参加者数：第1回8名、第2回15名、第3回11名、第4回6名、第5回10名

	月日・場所	内 容	
1回	4月24日	「明日を拓く事業成長戦略の策定と実践化」	(8名)

	当本部会議室	～経営戦略の視点から～ (公財)日本生産性本部 参与経営コンサルタント 同認定経営コンサルタント	越谷 重友
2回	6月17日 当本部会議室	「収益構造を変革するための今後の経営計画」 ～厳しい経済環境を勝ち抜いていくために～ アクト経営会計事務所 所長	(15名) 中嶋 崇
3回	7月17日 当本部会議室	「不況を斬る！商品開発マネジメントシステムの実践的手法」 (株)ワイズコンサルティング 代表取締役	(11名) 山川 裕之
4回	8月7日 当本部会議室	「繁盛店には理由がある。そこから学ぼう店づくり！」 コンサルティング・パートナー “AUBE”	(6名) 志賀 公治
5回	9月10日 当本部会議室	「経営計画に適合し組織の活性化を実現する人事革新の進め方」 (公財)関西生産性本部 経営革新部長・経営コンサルタント	(10名) 安田 弘

経営研究会

概 要：企業・組織活動の一助となるよう経営に携わる様々な分野の統括者・担当責任者、研究者等を招聘し、その本質を探った。

統一テーマ：「革新への戦略を探る」

回 数：定例会10回

会 員 数：51名

	月日・場所	内 容	
1回	6月24日 NCBスカイルーム	「『模倣の経営学』～偉大なる会社はマネから生まれる～」 早稲田大学 商学学術院教授 [「技術経営」交流研究会と合同]	(総数41名) 井上 達彦
2回	7月8日 当本部会議室	「ライフネット生命の経営戦略」 ライフネット生命保険(株) 代表取締役会長兼CEO	(29名) 出口 治明
3回	8月22日 NCBスカイルーム	「『ソフトバンクグループの人材育成』 ～孫正義氏の後継者育成機関の取り組み～」 ソフトバンクBB(株) 人事本部人材開発部人材開発1課 課長	(30名) 沢田 清恵
4回	9月20日 NCB会議室「光」	「『Tポイント』によるデータベースマーケティング」 (株)Tポイント・ジャパン DBマーケティング 事業本部 アライアンスコンサルティング 本部 コンサルティング 第6ユニットユニット長	(23名) 石川 大介
5回	10月10日 帝国ホテル大阪	《ロジスティクス研究会 第7回例会》 [ロジスティクス研究会の欄参照]	(総数127名)
6回	11月7日 中之島インテス	「『ホンダ イノベーションの真髄』 ～イノベーションが生まれる風土・経営～」 中央大学大学院 戦略経営研究科客員教授	(28名) 小林 三郎
7回	12月10日 当本部会議室	「『分析力を武器とする企業になるには』 ～データ分析による現場力強化～」 大阪ガス(株) 情報通信部 ビジネスアナリシスセンター 所長	(30名) 河本 薫
8回	1月15日 中之島インテス	「グローバルリーダーを育てるには」 GLOBALEX 社長 エグゼクティブコーチ	(20名) 村治 孝浩
9回	2月7日 NCBスカイルーム	「ダイキン工業のグローバル展開と国内市場での生き残り」 ダイキン工業(株) 専任役員 SCM担当 空調営業本部副本部長 (事業戦略担当)	(28名) 竹中 直文
10回	2月26日 当本部会議室	「組織改革とモチベーションアップで日本一のチームをつくる」 近畿大学 経営学部 教授 (前 (株)北海道日本ハムファイターズ 社長)	(23名) 藤井 純一

ロジスティクス研究会

概 要：SCM、在庫削減、コスト削減、物流戦略、人材育成、環境、3PL等、ロジスティクス業務に携わる方々にとって関心のあるキーワードをベースに、各企業のベストプラクティスを紹介するとともに、現場視察を通じて、さらに見識を深める。

統一テーマ：「SCMを考える」～シームレス化と業務プロセスの効率化～

回数：定例会10回、特別例会1回

共催：(公社)日本包装技術協会

会員数：48名

	月日・場所	内 容	
1回	4月23日 神戸市 尼崎市	《見学会》 アイエイチロジスティクスサービス(株) 六甲ロジスティクスセンター パナソニックロジスティクス(株) 西日本グローバル物流センター	(28名)
2回	5月24日 当本部会議室	「ハウス食品におけるS&OPの現状と今後の展開」 ハウス食品(株) SCM部SCM二課長	(30名) 若狭 秀岳
3回	6月14日 当本部会議室	「東京生産を実現するSCMと生産体制」 日本ヒューレット・パッカーD(株) 昭島事業所長	(31名) 清水 直行
4回	7月19日 当本部会議室	「見える化マネジメントツール(RTM)による 生産性改善・物流コスト改善」 (有)オール 代表	(25名) 青木 好美
5回	8月9日 当本部会議室	「キリンビールにおけるロジスティクス戦略」 キリンビール(株) SCM本部SCM推進部長	(24名) 中尾 稔
6回	9月27日 当本部会議室	「日本アクセスにおけるロジスティクス事業の役割」 (株)日本アクセス 取締役常務執行役員ロジスティクス本部長	(32名) 中井 忍
7回	10月10日 帝国ホテル大阪	「クロネコヤマトの満足創造経営」 ヤマトホールディングス(株) 代表取締役社長 [経営研究会、人材開発研究会、CSRコンプライアンス研究会、 人事労務研究会と合同]	(総数127名) 木川 眞
8回	10月22日 甲賀市	《見学会》 TOTOサニテクノ(株) 滋賀工場 TOTO(株) 滋賀物流センター	(34名)
9回	11月1日 当本部会議室	「顧客満足を高める物流改善」 オルビス(株) フルフィル・CRM推進部部長	(29名) 芳永 直樹
10回	12月11日 当本部会議室	「アデランスにおけるSCM改革の変遷」 (株)アデランス SCM部兼業務センター部長	(24名) 平尾 彰敏
特別 例会	1月15日 リーガロイヤルNCB	《(公社)日本包装技術協会主催 新春会員交流会》 「楽天におけるロジスティクス戦略」 楽天物流(株) 代表取締役社長	(23名) 恵谷 洋

営業・マーケティング研究会

概 要：営業マーケティング部門の抱える様々な課題について、先進事例から学ぶとともに、会員相互の交流を深め、異業種から学ぶだけでなく異業種と組んでビジネスを発展させるきっかけづくりを行った。

統一テーマ：「異業種に学び、異業種と組む」

アドバイザー：流通科学大学 学長

神戸大学大学院 経営学研究科教授

(公財)日本生産性本部 主任経営コンサルタント

石井 淳蔵

栗木 契

太田 昌宏

幹 事：5名

回数：定例会8回、特別例会1回、幹事会1回

会員数：37名

	月日・場所	内 容	
1回	6月7日 レッジキャピタル レッジサロン・クラ ンフロント大阪	「うめきた全体構想とナレッジキャピタルの目指すもの」 オリックス不動産(株) 執行役員西日本事業本部長 《見学》 SUNTORY WHISKY HOUSE ダイキンソリューションプラザ「フーハ大阪」 ネットワーク懇親会	(24名) 高橋 豊典

2回	7月11日 当本部会議室	「富士ゼロックスにおける製販協業によるソリューション実践事例」 富士ゼロックス大阪(株) ソリューション営業部課長	(25名) 鈴木 雅人
3回	8月27日 瀬戸内市 牛窓オリーブ園	《見学会およびレクチャー》 「メガソーラー事業による瀬戸内市の永続的な発展に向けて」 瀬戸内市 市長 「錦海塩田跡地でのメガソーラー実現に向けて」 日本アイ・ビー・エム(株) スマーターシティ事業部長 牛窓オリーブ園・山頂広場から着工予定の「錦海塩田跡地」を見学	(20名) 武久 顕也 岡村 久和
4回	9月18日 当本部会議室	「ファンタジー営業部によるブランド力向上への取り組み」 前田建設工業(株) 総合企画部広報グループ長	(20名) 岩坂 照之
5回	10月4日 当本部会議室	「わが社の中国でのマーケティング戦略」 TOTO(株) 執行役員国際事業本部長	(19名) 安部 壮一
6回	11月19日 倉敷中央病院	「東洋一の理想の病院を目指して～倉敷中央病院の顧客視点経営」 倉敷中央病院 副理事長	(22名) 相田 俊夫
特別 例会	12月6日 当本部会議室	《KPCマネジメント・スクール2013マーケティングコース グループ成果発表会》 [KPCマネジメント・スクール2013マーケティングコース グループ成果発表会の欄参照]	(総数25名)
7回	12月11日 NCBスカイルーム	「パナホームにおけるスマートフォンの営業への活用」 パナホーム(株)執行役員情報企画。情報セキュリティ担当	(17名) 永田 博彦
8回	1月17日 当本部会議室	「ワールド・カフェによる全メンバーでの議論と発表」 「ワールド・カフェ」で考える“ソーシャル・イノベーション”	(16名) 栗木 契 太田 昌宏

産業経理研究会

概要：経済界・官学界の第一人者の講話と会員相互の情報交換を通じ、経営環境の変化に対応した会計・経理システムの構築を考えた。

統一テーマ：「企業価値向上に向けた経理の役割」

コーディネータ：関西学院大学 商学部教授

梶浦 昭友

回数：2012年度 定例会2回、2013年度 定例会6回

会員数：2012年度 23名、2013年度 17名

(2012年度)

回数：定例会2回

	月日・場所	内 容	
7回	5月30日 当本部会議室	「アサヒグループにおける経理部門の組織と役割」 ～持株会社化とグローバル展開が進む中で～ アサヒプロマネジメント(株) 財務企画部長	(18名) 福田 行孝
8回	6月17日 当本部会議室	「会社法改正の動向とその概要」 関西学院大学大学院 司法研究科教授	(16名) 西尾 幸夫

(2013年度)

回数：定例会6回

	月日・場所	内 容	
1回	9月24日 関西学院大学 大阪梅田キャンパス	「国際的な会計基準の動向と日本基準への影響」 ～リース会計と収益の基準を中心に～ 有限責任監査法人トーマツ パートナー・公認会計士	(13名) 佃 弘一郎
2回	11月21日 関西学院大学 大阪梅田キャンパス	「中外製薬におけるIFRS移行への取り組み」 ～投資家の利便性の向上と経営管理指標の一本化を図る～ 中外製薬(株) 専務執行役員CFO財務経理統括部門長 兼 財務経理部長	(15名) 板谷 嘉夫
3回	12月5日 関西学院大学	「企業価値向上に向けた企業経営のあり方」 ～東証「企業価値向上表彰」受賞企業の事例から～	(11名)

	関西学院大学 大阪梅田キャンパス	エーザイ(株) 執行役DeputyCFO & ChiefIROfficer みずほ証券(株) 経営調査部上級研究員	柳 良平 杉浦 秀徳
4回	12月19日 関西学院大学 大阪梅田キャンパス	「IFRS適用が進む中での情報システム面での課題と対応」 ～世界的な動向と先進事例から今後の対応を考える～ SAPジャパン(株) IVE&ソリューション本部アプリケーションエンジニアリング部 経営管理ソリューションズダイレクター	(10名) 佐々木直人
5回	3月7日 関西学院大学 大阪梅田キャンパス	「エンドースメントIFRS（日本版IFRS）の策定状況」 一橋大学大学院 商学研究科教授	(10名) 万代 勝信
6回	3月24日 当本部会議室	「平成26年度税制改正の概要」～法人税制を中心に～ 税理士岸田光正事務所 税理士	(13名) 岸田 光正

「技術経営」交流研究会

概 要： 研究・開発をめぐる様々な課題についての先進的な事例研究と異業種による経験交流を進め、利益を生む技術や商品の開発マネジメントのあり方を考えた。

統一テーマ： 「戦略的“技術経営”の構築」
～研究・開発の生産性向上と持続的優位を探る～

幹 事： 神戸大学大学院 経営学研究科教授 原 拓志
滋賀県立大学 人間文化学部生活デザイン学科助教 宮尾 学
(株)カネカ 生産技術本部技術部長 古川 直樹
積水化学工業(株) 環境・ライフラインカンパニー技術・開発センター基盤技術研究所所長 出口 好希
西日本電信電話(株) 研究開発センター所長 伊藤 新
パナソニック(株) R&D本部人事・総務グループ 技術人材育成担当 林 卓生

回 数： 定例会8回、特別例会2回

会 員 数： 14名

	月日・場所	内 容	
1回	6月7～8日 クロス・ウェブ 梅田	1日目 〈コーディネータ問題提起〉 「技術経営の視点」 神戸大学大学院 経営学研究科教授 〈グループ討議・発表〉 「技術・商品戦略をいかにつくるのか？」 「利益を生み出す商品開発にはどのような組織をつくるのか？」 2日目 〈グループ討議・発表〉 「技術人材をいかに育成するのか？」 「グループ討議を受けての総括」 〈サブコーディネータ〉 滋賀県立大学 人間文化学部生活デザイン学科助教	(12名) 原 拓志 宮尾 学
2回	6月24日 NCBスカイルーム	《経営研究会 第1回例会》 [経営研究会の欄参照]	(総数41名)
3回	7月17日 NCB会議室「光」	「新規事業四方山話 タツタ電線における新事業開発と人材育成」 タツタ電線(株) 専務取締役システム・エレクトロニクス事業本部長	(13名) 橋本 和博
4回	8月22日 NCB会議室「光」	「富士フィルムのDNA。チャレンジする化粧品事業」 富士フィルム(株) ライフサイエンス事業部商品グループ長 R&D統括本部医薬品・ヘルスケア研究所研究担当部長	(12名) 中村 善貞
5回	9月20日 NCBスカイルーム	「値段から価値への転換、創造する人と組織を考える」 元 日産GT-R開発責任者 [オープン講座として公開]	(14名) 水野 和敏 (13名)
6回	10月30日 当本部会議室	「高付加価値商品を生み出す商品開発マネジメント」 コンセプト・シナジー(株) 代表取締役	(13名) 高杉 康成
特別	11月18日 大阪市立大学	大阪市立大学商学部・経済学部共通講座「生産性講座」特別聴講 「日東電工の研究開発戦略と生産性向上」 日東電工(株) 取締役上席執行役員・CTO・全社技術部門長	(12名) 表 利彦
特別	12月14日	《KPCマネジメントスクール2013技術・イノベーションマネジメント》	(総数54名)

	NCB会議室「緑」	トコースグループ研究成果発表・討論会》 [KPCマネジメントスクール2013技術・イノベーションマネジメントコースの欄参照]	
7回	1月30日 当本部会議室	「ものづくり崩壊：「シャープ危機」の深層」 立命館アジア太平洋大学大学院 経営管理研究科教授 アジア太平洋イノベーション・マネジメント・センター センター長	(10名) 中田 行彦
8回	2月7～8日 コスモスクエア国際交流センター	1日目 〈グループ討議〉 2日目 〈グループ討議、グループ討議報告〉 〈コーディネータ総括〉 「技術経営の課題：グループ討議報告を受けて」 〈コーディネータ〉 神戸大学大学院 経営学研究科教授 滋賀県立大学 人間文化学部生活デザイン学科助教	(12名) 原 拓志 宮尾 学

CSR・コンプライアンス研究部会

概要：CSR・コンプライアンス推進活動をいかに実施していくかについて、先進企業の事例紹介、最新の動向にあわせた講演会、関西の実務担当者同士のグループワーク、などを通じて、メンバー企業各社・各自の課題解決と実践に活かせるアウトプットの創出を図った。

統一テーマ：「新たな進化に向けた実践取組み」

顧問：国士舘大学 教授（大阪市立大学 名誉教授）

吉川 吉衛

フェロー：立教大学大学院 教授

池田 耕一

回数：8回

会員数：26名

	月日・場所	内 容	
1回	6月4日 当本部会議室	「アジアで成功するために日本企業が取り組むべきCSR活動」 CSRアジア 東京事務所日本代表	(28名) 赤羽真紀子
2回	7月5日～6日 熊野古道	「ボランティア体験 熊野古道・環境保全活動」	(18名)
3回	8月6日 当本部会議室	「もうひとつのライフライン構築に向けて」 セブン&アイホールディングス 総務部グループ 渉外シニアオフィサー	(26名) 成田 庄二
4回	8月27日 中之島インテス	「CSR・コンプライアンスの研修スタイルの開発 ゲーミングによる体験型研修のススメ」	(18名)
5回	9月17日 当本部会議室	「コンプライアンスの研修スタイルの開発 パート2」	(14名)
特別 例会	9月17日 帝国ホテル大阪	《ロジスティクス研究会第7回例会》 [ロジスティクス研究会の欄参照]	
6回	10月24日 当本部会議室	「花王におけるソーシャルメディアポリシーの策定と教育」 花王(株) デジタルコミュニケーションセンターセンター長	(24名) 石井 龍夫
7回	11月20日 当本部会議室	「リスク、不祥事発生時における意志決定を考える」 ～近時の事例を参考に～	(20名)
8回	12月18日 当本部会議室	「なぜ企業は不祥事に手を染めるのか？」 山口利昭法律事務所 弁護士	(27名) 山口 利昭

ビジネスロー・フォーラム

概要：近時の法改正を中心に、立法の趣旨を理解し、実務上の注意点や課題などについて研究を行った。

統一テーマ：「企業法務の視点をマネジメントに」

コーディネータ：弁護士法人大江橋法律事務所 弁護士

金井美智子

回数：定例会12回

会員数：21名

	月日・場所	内 容	
1回	4月24日 当本部会議室	「独禁法をめぐる最近の動き」 甲南大学法科大学院 教授・弁護士	(13名) 根岸 哲
2回	5月13日 当本部会議室	「ビジネス保険における企業の法的リスク」 ～保険に潜む落とし穴と保険金請求時の留意点～ 弁護士法人大江橋法律事務所 弁護士	(12名) 嶋寺 基
3回	6月6日 当本部会議室	「民法改正の方向性と実務への影響（民法シリーズ①）」 京都大学大学院 法学研究科教授	(29名) 潮見 佳男
4回	7月2日 当本部会議室	「取引先倒産対応と法的手続きにおける債権者」 弁護士法人大江橋法律事務所 弁護士	(19名) 野上 昌樹
5回	8月30日 当本部会議室	「民法改正の方向性と実務への影響（民法シリーズ②）」 京都大学大学院 法学研究科 教授	(24名) 潮見 佳男
6回	9月26日 当本部会議室	「グループ再編の法務対応」 弁護士法人大江橋法律事務所 弁護士	(18名) 竹平 征吾
7回	10月16日 当本部会議室	「民法改正の方向性と実務への影響（民法シリーズ③）」 京都大学大学院 法学研究科 教授	(15名) 潮見 佳男
8回	11月25日 当本部会議室	「合弁契約交渉のポイント」 弁護士法人大江橋法律事務所 弁護士	(13名) 小林 和弘
9回	12月26日 当本部会議室	「民法改正の方向性と実務への影響（民法シリーズ④）」 京都大学大学院 法学研究科 教授	(15名) 潮見 佳男
10回	1月22日 当本部会議室	「消費税法改正をめぐる実務対策」 ～トラブル回避のための留意点～ 弁護士法人大江橋法律事務所 弁護士	(12名) 河野 良介
11回	2月18日 当本部会議室	「従業員のメンタルヘルス対応をめぐる法的留意点」 弁護士法人大江橋法律事務所 弁護士	(16名) 牟礼 大介
12回	3月25日 当本部会議室	「今年の株主総会準備の留意点」 弁護士法人 大江橋法律事務所 弁護士	(17名) 池田 裕彦

法人税研究講座

概 要：国税局OBの税理士を中心にした講師陣による豊富な実例と計算例を織り込んだ講義を通じ、法人税務に関する理解の向上と実務能力を養成した。

統一テーマ：「最新の税制改正に対応した決算調整・申告実務を学ぶ」

期 間：11月18日～2月10日

回 数：22回

参加者数：12名

	月日・場所	内 容	
1回	11月18日 当本部会議室	法人税の基礎事項および営業収益・営業外収益計上時期の原則と特例、修正等	税理士 戸島 利夫
2回	11月20日 当本部会議室	有価証券（評価損の特例を含む）	税理士 北島 昭二
3回	11月25日 当本部会議室	棚卸資産、短期売買商品、繰延資産（評価損の特例を含む）	税理士 岸田 光正
4回	11月29日 中之島インテス	受取配当金等の益金不算入、資産の評価益、受贈益及び債務免除益、損害賠償金、災害による損失金及び会社更生等による債務免除等があった場合の欠損金	税理士 中山繁太郎
5回	12月2日 当本部会議室	固定資産Ⅰ（取得価額）	税理士 北島 昭二
6回	12月4日 当本部会議室	固定資産Ⅱ（減価償却費の計算）	税理士 北島 昭二
7回	12月9日 当本部会議室	固定資産Ⅲ（特別償却、評価損の特例を含む）	税理士 則枝 征克
8回	12月11日	圧縮記帳等Ⅰ	

	当本部会議室		税理士 吉田 真明
9回	12月16日 当本部会議室	圧縮記帳等Ⅱ	税理士 吉田 真明
10回	12月20日 中之島イテス	消費税等の取扱い、帳簿書類の電磁的記録による保存制度、保険料、リース取引	税理士 塩見 征夫
11回	12月24日 当本部会議室	交際費等	税理士 塩見 征夫
12回	12月26日 当本部会議室	寄付金、租税公課、海外渡航費、不正行為等による費用、引当金、準備金、貸倒損失	税理士 中山繁太郎
13回	1月7日 当本部会議室	借地権	税理士 戸島 利夫
14回	1月9日 当本部会議室	完全支配関係がある法人の取引の損益	税理士 岸田 光正
15回	1月14日 当本部会議室	海外取引の税務1	税理士 山本 武
16回	1月17日 当本部会議室	海外取引の税務2	税理士 山本 武
17回	1月20日 当本部会議室	給与（役員給与、使用人給与、退職給与ほか）	税理士 岸田 光正
18回	1月23日 当本部会議室	企業組織再編税制Ⅰ	税理士 岸田 光正
19回	1月27日 当本部会議室	企業組織再編税制Ⅱ、特定株主等によって支配された欠損法人の資産の譲渡等損失額の損金不算入、特定資産に係る譲渡等損失額の損金不算入、震災関連措置	税理士 岸田 光正
20回	1月30日 当本部会議室	連結納税制度	税理士 岸田 光正
21回	2月4日 当本部会議室	税額計算、申告、納付Ⅰ、復興特別法人税の扱い	税理士 松本 邦雄
22回	2月10日 当本部会議室	税額計算、申告、納付Ⅱ、復興特別法人税の扱い	税理士 松本 邦雄

営業基礎力向上セミナー

概 要：お客様との信頼関係を築くために必要となる印象の重要性とコミュニケーションの取り方や、新規開拓の仕方をテキスト、ロールプレイングを用いて学んだ。

月 日：10月9日

場 所：当本部会議室

テ マ：「営業の基本と実践力トレーニング」

講 師：(公財)日本生産性本部 主席経営コンサルタント

小林 定夫

参加者数：12名

1. 営業に求められるもの
 - ・顧客が求めるもの
 - ・自社が求めるもの
 - ・営業担当者として求められるもの
2. 第一印象
 - ・第一印象について
 - ・第一印象の基本
 - ・非言語のコミュニケーション
3. 聞く
 - ・聞くことについて
 - ・聞くことの基本
 - “きく”の違い、質問、聞く姿勢
4. 話す

- ・話すことについて
- ・話すことの基本
 - 話の構成、印象に残る、確認する
- 5. 新規開拓
 - ・新規開拓の必要性
 - ・新規開拓が出来ない理由
 - ・新規開拓の留意点
 - ・新規開拓のターゲットによる違い
 - ・顧客企業を新規開拓する場合
 - ・販売会社を新規開拓する場合
- ロールプレイング

新任営業担当者セミナー

概 要：営業活動の基本的な知識やノウハウの習得から、新規開拓や既存取引先への深耕のための営業プロセスやポイントをケーススタディ通じて学んだ。

月 日：5月15日

場 所：当本部会議室

テ ー マ：「営業の基本と実行力トレーニング」

講 師：(公財)日本生産性本部 主席経営コンサルタント

小林 定夫

参加者数：32名

1. 営業担当者に求められるもの
 - (1)顧客が求めるもの
 - (2)自社が求めるもの
 - (3)営業担当者として求められるもの
 - (4)企業とは
2. 営業プロセス
 - (1)仕事の流れ
 - (2)営業の基本的なプロセス
 - ①アプローチ ②商談 ③成約 ④アフターフォロー
3. 営業マナー
 - (1)第一印象の基本
 - (2)身だしなみ
 - (3)名刺交換
 - (4)座る位置
4. 営業戦術
 - (1)方針・計画の重要性
 - (2)戦略と戦術
 - (3)採用サイクル・プロセス
 - (4)顧客別年度活動計画作成の留意点
5. 新規開拓
 - (1)新規開拓
 - (2)新規開拓が出来ない理由
 - (3)新規開拓の留意点
 - (4)顧客企業を新規開拓する場合
 スクリーン学習：「新規訪問の話法」
6. グループ討議「自己紹介・会社紹介」
7. ロールプレイング「顧客への初回訪問」
8. 既存取引先への深耕
 - (1)深耕の必要性
 - (2)固定化の方法
 - (3)訪問件数
 - (4)営業計画
 - (5)活動内容
 - (6)活動計画
 - (7)引継の計画
9. 報・連・相
 - ①報告 ②連絡 ③相談

営業マン実務知識入門講座

概要 要：営業マンに必須の実務知識である会計知識・与信管理、コンプライアンス、コミュニケーション力のエッセンスを習得した。

期間：6月6日～20日

回数：3回

参加者数：第1回11名、第2回5名、第3回11名

	月日・場所	内 容	
1回	6月6日 当本部会議室	営業マンのための会計と会社の見方入門～危ない会社の見分け方 (1)財務諸表ではわからない会社の見方と与信管理 ㈱帝国データバンク 大阪支社調査第2部部长 (2)財務諸表の読み方のコツ ㈱帝国データバンク 大阪支社調査第2部課長	大森 良二 高橋 研一
2回	6月11日 当本部会議室	「営業マンのためのコンプライアンス・リテラシー向上入門」 (1)世知辛い世の中における「コンプライアンス」の理解と活用 (2)営業におけるコンプライアンス違反のいろいろ (実践、コンプライアンス・リテラシー向上演習) (公財)関西生産性本部 人材開発部プログラムディレクター	富士野裕之
3回	6月20日 当本部会議室	「営業マンのためのコミュニケーション力向上入門講座」 ㈱ネグジット総研 取締役常務執行役員 経営コンサルタント 米国NLP協会認定NLPマスタープラクティショナー	久保 隆

産学フロンティア会議

概要 要：産学連携の効果的なあり方を探るとともに、相互に交流できるようなスキームづくりが必要との認識の下、“人材”をテーマに多角的な情報交流と議論を展開した。

統一テーマ：「グローバル時代における人材戦略」
～変革期を迎えた“人材の採用と育成”～

回数：定例会3回

参加者数：88名

	月日・場所	内 容	
1回	9月27日 グランフロント大阪	グランフロント大阪 代表者挨拶 <講演> 「グローバル時代における人材育成」 同志社大学 学長 <見学> 「感性と技術の融合による、新たな知的価値創造」 ダイキンソリューションプラザ「フーハ大阪」 <グループ懇談・質疑応答> <懇親会> [学校「経営品質」向上研究会と合同]	(総数46名) 村田 昭嗣
2回	11月15日 NCBスカイルーム	<主催・コーディネータ挨拶> <講演①> 「日産自動車と早稲田大学による、Win-Winのインターンシップ」 (公財)日産財団 常務理事・元日産自動車㈱ <講演②> 「産学共同教育としてのインターンシップ」 京都産業大学 経営学部教授 <グループ懇談・質疑応答> <懇親会> [学校「経営品質」向上研究会と合同]	(総数53名) 曾根 公毅 井上 一郎
3回	2月5日 NCBスカイルーム	<主催・コーディネータ挨拶> 【問題提起】 「産学連携による20歳代の育成-大学のキャリア教育を再考する-」 法政大学経営大学院 インベーション・マネジメント研究科教授	(総数44名) 藤村 博之

	<p>(公財)関西生産性本部 労働政策委員会副委員長)</p> <p>【パネル討論】</p> <p>「変革期を迎えたキャリア教育と、企業の採用活動 ～就職・採用のミスマッチを減らすためにすべきこと～」</p> <p>法政大学経営大学院 インベーション・マネジメント研究科教授 大阪ガス(株) 人事部採用チームマネージャー 東洋紡(株) 人事労政部人材グループマネージャー 桃山学院大学 キャリアセンター事務課課長 立命館大学 キャリアセンター次長</p> <p><グループ懇談・質疑応答> <懇親会> [学校「経営品質」向上研究会と合同]</p>	<p>藤村 博之 田丸 亮治 山東 尚央 井峯 武 宮下 明大</p>
--	---	---

〈主催 産経新聞社〉

関西経営品質協議会

概 要：関西地域の企業をはじめとする様々な組織の経営品質向上活動の支援、全国各地の経営品質協議会との連携を通じ、経営品質向上プログラムの普及・促進をはかった。

期 間：2013年6月1日～2014年5月31日

回 数：定例会1回

会 員 数：法人会員61組織、個人会員6名

【幹 事】

代表幹事：(公財)関西生産性本部 会長 (レンゴー(株) 代表取締役社長)

幹 事：大阪ガス(株) 代表取締役社長

(株)京進 代表取締役会長

(株)島津製作所 代表取締役会長

(株)スーパーホテル 会長

住友電気工業(株) 代表取締役社長

積水化学工業(株) 代表取締役社長

積水ハウス(株) 代表取締役社長兼COO

ダイキン工業(株) 相談役

(株)ノーリツ 代表取締役社長兼代表執行役員

富士ゼロックス大阪(株) 代表取締役社長

プライミクス(株) 代表取締役社長

(株)森長工務店 代表取締役社長

ヤチヨコアシステム(株) 代表取締役

リコージャパン(株) 代表取締役社長執行役員

リコージャパン(株) 常務執行役員

パナソニックグループ労働組合連合会 中央執行委員長

パナソニックグループ労働組合連合会 中央執行委員長

大坪 清

尾崎 裕

立木 貞昭

服部 重彦

山本 梁介

松本 正義

根岸 修史

阿部 俊則

岡野 幸義

國井総一郎

望月 俊之

古市 尚

森長 敬

(2013年6月就任)

前田 正夫

(2013年6月就任)

佐藤 邦彦

(2013年5月退任)

坂主 智弘

(2013年6月就任)

山崎 弦一

(2013年11月退任)

廣田 典昭

(2013年12月就任)

【企画実践委員会】

委 員 長：甲南大学 特別客員教授・関西経営品質賞判定委員長

副 委 員 長：神戸大学大学院 教授・関西経営品質賞判定副委員長

委 員：アシックス労働組合 執行委員長

大阪ガス(株) 理事リビング事業部お客さま部長

(株)京進 取締役企画本部長兼経営企画部長 京進これから研究所長

(株)京進 取締役企画本部長兼経営企画部長

神戸商工会議所 経営支援センター課長経営指導員

(株)神戸ポートピアホテル 経営企画部品質戦略副支配人

(株)島津製作所 取締役経営戦略室長

加護野忠男

原田 勉

福成 忠

山村 功

福澤 一彦

(2013年5月退任)

高橋 良和

(2013年6月就任)

住谷 崇樹

(2013年5月退任)

万年 美恵

藤野 寛

㈱スーパーホテル 経営品質部部长	山本 智英 (2013年10月退任)
㈱スーパーホテル 取締役経営品質部部长	山本 健策 (2013年11月就任)
住友電気工業㈱ 品質管理部部长	西出 裕 (2013年5月退任)
住友電気工業㈱ 生産技術部品質管理部・部長	小村 寿郎 (2013年6月就任)
積水化学工業㈱ CSR部人事グループ人材開発担当部長	岸上 宏
積水ハウス㈱ コーポレート・コミュニケーション部CSR室長	広瀬 雄樹
ダイキン工業㈱ 人事本部人事企画グループ長部長	山田 智彦
㈱竹中工務店 財務室財務部長	村上 憲二 (2013年5月退任)
㈱竹中工務店 財務室財務部長	藤木 茂美 (2013年6月就任)
西日本高速道路㈱ CS推進本部CS推進部CS推進課長	関戸 庸徳
㈱ノーリツ 執行役員経営企画室長	小関 良之
パナソニック㈱ 経営企画グループ政策企画チーム参事	柿ヶ原康二 (2013年5月退任)
富士ゼロックス西日本㈱ 人事総務部CSRグループグループ長	荒川 隆
プライミクス㈱ マーケティング本部経営企画部執行役員	永井 康子
兵神装備㈱ 総務部工場総務グループ課長	渡辺 勝之
三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱ コンサルティング・国際事業本部経営戦略部部长兼チーフコンサルタント	久賀田全計
リコージャパン㈱ 内部統制室内部統制2グループリーダー	水口 雅之 (2013年5月退任)
リコージャパン㈱ 関西営業本部事業戦略センター販売戦略G シニアマネージャー	那波大三郎 (2013年6月就任)
㈱りそな銀行 地域サポート部サービス改革グループ担当マネージャー	山本 英司
㈱リブドゥコーポレーション ライフケア営業本部大阪支店支店長	種子島時良
レンゴー㈱ 理事総務部長	香川 義弘

	月日・場所	議件	
1回	2月27日 当本部会議室	1. 【報告】2013年度の活動報告について 2. 【意見交換】2014年度の活動計画について (懇親会)	(13名)

経営品質エグゼクティブ・コンファレンス

概要 要：経営品質向上プログラムを活用して経営革新に継続的に取り組んでいる企業・組織の経営トップなどを招聘し、目指すべき「良い経営」についてコーディネータとの対談によって理解を深めたほか、経営品質の考え方を深く理解するために講演会を開催した。

コーディネータ：神戸大学大学院 教授（関西経営品質賞判定副委員長） 原田 勉
 ㈱マネジメントイノベーション 代表取締役 坂本 崇

回数：定例会4回
 会員数：67名

	月日・場所	内 容	
1回	6月12日 大阪商工会議所	経営イノベーション・フォーラム2013 (2012年度関西経営品質賞報告会) [経営イノベーション・フォーラム2013 (2012年度関西経営品質賞報告会)、KQCフォーラム合同] [経営イノベーション・フォーラム2013の欄参照]	(総数139名)
2回	8月2日 リーガロイヤルホテル	「1からの経営改革、経営品質」 ～関西経営品質賞受賞トップとの問答～ ㈱森長工務店 代表取締役社長 ヤチコアシステム㈱ 代表取締役社長	(総数23名) 森長 敬 前田 正夫
3回	11月15日	「社員が自分の夢を持ち、語れる会社」	(総数30名)

	リーガロイヤルホテル	～四国管財の組織風土づくり～ 四国管財(株) お客様係&代表取締役社長氏	中澤 清一
4回	1月21日 リーガロイヤルホテル	『経営計画と経営品質向上活動で企業の進化を求め、 「夢と活力に満ちたい会社」を目指す』 セラテックジャパン(株) 代表取締役会長	(総数24名) 平林 直樹

KQCフォーラム

概要 要：経営品質向上活動を進める上で担当者が抱える課題からテーマを設け、各テーマにおいて効果的な成果を上げておられる企業の実践事例を学んだ。

コーディネータ：真風マネジメントオフィス 代表 中山 真
積水ポリマテック(株) ビジネスオペレーション部 沖田 直
リコーテクノシステムズ(株) 関西事業本部本部長室事業統括部 田村 満

回数：定例会6回

会員数：68名

	月日・場所	内 容	
1回	6月12日 大阪商工会議所	経営品質イノベーション・フォーラム2013 (2012年度関西経営品質賞報告会) [経営品質イノベーション・フォーラム2013 (2012年度関西経営品質賞報告会) エグゼクティブ・コンファレンスと合同] [経営品質イノベーション・フォーラム2013の欄参照]	(総数139名)
2回	7月19日 NCB会議室「光」	「残念な会議から効率的な会議への脱出法」 (株)アジルパートナーズ 代表取締役	(25名) 山崎 将志
3回	9月13日 NCB会議室「緑」	「お客さまの思い出となる感動のサービスを実現 ～成熟産業のサービスイノベーション～」 (株)ハッピー 代表取締役	(20名) 橋本 英夫
4回	11月5日 NCB会議室「緑」	「事業を成功に導く組織マネジメント」 (株)ベネッセコーポレーション 家庭学習事業本部副本部長	(40名) 成島 由美
5回	1月15日 NCB会議室「緑」	「良品計画の経営改革～V字回復へのリーダーシップ～」 (株)良品計画 代表取締役会長	(総数55名) 松井 忠三
6回	2月5日 NCB会議室「緑」	「3つのコミュニケーションによる チームファシリテーション とは？」 (株)ネグジット総研 取締役常務執行役員 経営コンサルタント	(18名) 久保 隆

アセスメントコース

概要 要：経営品質向上プログラムの考え方にに基づき、セルフアセスメントの方法論を駆使して、組織の変革を推進する人材（セルフアセッサ）を育成した。

回数：A1基礎編×2回・A2知識編×2回・A3評価編×2回

参加者数：143名

	月日・場所	内 容	
A1 基礎編	7月22日～23日 当本部会議室	組織能力を変革するためにはどのように考え、話し合い、行動するかを、講義と演習を通して身につけた。	(総数50名)
	11月6日～7日 当本部会議室	指導講師：経営品質協議会 インストラクター	(30名) 足立 裕
		指導講師：経営品質協議会 インストラクター	(20名) 森岡 亮一
A2 知識編	8月20日～21日 当本部会議室	経営知識を体系的に身につけ、身につけた経営知識を活用して経営課題を考える力を身につけることを講義と演習を通じて身につけた。	(総数47名)
	11月21日～22日 当本部会議室	指導講師：経営品質協議会 インストラクター	(28名) 山本 知美

		指導講師：経営品質協議会 インストラクター	(19名) 森岡 亮一
A 3 評価 編	9月10日～11日 当本部会議室	経営品質のクライテリアに基づき論理思考と対話を用いた、経営革新を推進するためのセルフアセスメントの基本的な考え方を修得した。	(総数46名)
	12月19日～20日 当本部会議室		
	指導講師：経営品質協議会 インストラクター		
		指導講師：経営品質協議会 インストラクター	(21名) 森岡 亮一

セルフアセッサー認定更新コース

概要 要：認定セルフアセッサーの方を対象に、2年に一度、セルフアセッサーとしての役割の再確認と、経営品質向上プログラムにおける最新の考え方の理解やアセスメントスキルのブラッシュアップを図って頂く研修。

回数：4回
参加者数：126名

	月日・場所	内 容	
1回	6月19日 NCBカイルーム	【2013年度 認定更新コース】 指導講師：経営品質協議会 インストラクター	(35名) 足立 裕
2回	10月17日 NCBカイルーム	【2013年度 認定更新コース】 指導講師：経営品質協議会 インストラクター	(23名) 山本 知美
3回	12月13日 NCBカイルーム	【2013年度 認定更新コース】 指導講師：経営品質協議会 インストラクター	(42名) 足立 裕
4回	12月2日 NCBカイルーム	【2013年度 認定更新コース(第3回追加開催)】 指導講師：経営品質協議会 インストラクター	(26名) 山本 知美

経営イノベーション・フォーラム2013 (2012年度 関西経営品質賞 報告会)

概要 要：関西経営品質賞2012年度受賞企業の経営トップを招き、取組み事例から経営品質向上プログラムによる経営革新の進め方を探った

月 日：6月12日
場 所：大阪商工会議所
参加者数：139名

[トップ講演]		
「『ありがとう』の溢れる会社づくり」 株式会社森長工務店 代表取締役社長 (2012年度 関西経営品質賞 受賞)		森長 敬
[トップ講演]		
「顧客志向型経営による戦略的人材マネジメント」 ヤチココアシステム株式会社 代表取締役社長 (2012年度 関西経営品質賞 受賞)		前田 正夫
[パネルセッション]		
「組織を元気にするリーダーの役割とは？」 (パネラー)		
株式会社伍魚福 代表取締役社長 (2012年度 関西経営品質賞優秀賞 受賞)		山中 勲
株式会社シティー・エステート 代表取締役 (2012年度 関西経営品質賞優秀賞 受賞)		山本 晃嘉
浜理薬品工業株式会社 代表取締役社長 (2012年度 関西経営品質賞奨励賞 受賞)		高美 時郎
(コーディネータ)		
神戸大学大学院 経営学研究科教授		原田 勉
[交流パーティ (立食形式)]		

関西経営品質賞

1. 審査員研修

概要： 要： 関西経営品質賞申請組織を担当する審査員にとって必要な能力を向上させることを目的として研修を実施した。（福井県・三重県と合同開催）

講師： 関西経営品質賞 賞制度企画委員会委員 宇高 育男

回数： 定例会1回

参加者数： 9名

月日・場所	議 案
8月31日 当本部会議室	<p>オリエンテーション</p> <p>13年度の各地域の審査プロセスについて</p> <p>講話「経営戦略の基礎」 ～経営品質審査において戦略を考える重要性～</p> <p>【演習1】グループワーク 【演習テーマ】重要成功要因を導き出す” 【演習1】全体シェア&質疑応答</p> <p>解説&講話「重要成功要因を導き出す」 【演習2】グループワーク 【演習テーマ】cat.1の審査の視点を導き出す” 【演習2】全体シェア&質疑応答</p> <p>解説&講話「審査の視点を導き出す」 【演習3】グループワーク 【演習テーマ】cat.1のフィードバックレポートを作成する” 【演習3】全体シェア&質疑応答</p> <p>解説&講話「価値あるフィードバックレポートとは」 【演習4】グループワーク 【演習テーマ】cat.8.1のフィードバックレポートを作成する” 【演習4】全体シェア&質疑応答</p> <p>解説&講話「Cat.8の評価について」 今後の審査員任命などについて</p>

2. 賞審査

概要： 要： 関西のあらゆる組織が顧客本位に基づいた自己革新を果していく動機づけとなるよう、イノベーションに継続的に取り組み、優れた業績をあげている組織を表彰し、関西全域に経営品質向上プログラムの視点に立った経営革新を推進した。

審査員： 関西経営品質賞審査員研修等により認定された32名の内、19名が審査を担当した。

回数： 10回

申請組織数： 4組織

①応募要領の配布	4月19日
②申請組織説明会	7月2日 or 7月5日
③資格確認書の提出	8月1日〆切
④申請書の提出	9月30日〆切
⑤書類（個別）審査	10月1日～11月10日
⑥申請組織とのコミュニケーションによる組織理解（1日）	10月10日～10月16日
⑦合議審査（連続3日間）	11月11日～11月23日
⑧第1回判定委員会	11月27日
⑨現地審査（1～3日）	12月9日～12月21日

⑩第2回判定委員会	1月11日
⑪関西経営品質賞委員会	2014年1月22日
⑫フィードバック会議（各1日）	1月下旬～
⑬表彰式	4月11日
⑭関西経営品質賞報告会	6月12日

3. 賞制度企画委員会

概 要：賞制度、審査プロセス、審査員養成、経営革新への支援活動などの本賞に関する制度について担当委員からの提案を受け、検討し、賞委員会に答申した。

委 員 長：元オムロン(株) 副社長 平井 紀夫
副 委 員 長：甲南大学 特別客員教授 加護野忠男
委 員：パナソニック(株)モノづくり本部モノづくり強化センター 宇高 育男
設計力強化グループ企画チームチームリーダー 沖田 直
積水ポリマテック(株) ビジネスオペレーション部 田村 満
リコーテクノシステムズ(株) 関西事業本部本部長室事業統括部 長友 隆司
(株)Kairos 代表取締役

回 数：定例会1回

	月日・場所	議 案
1回	3月19日 当本部会議室	「2013年度 関西経営品質賞の振り返りと今後に向けて」 1. 報告「2013年度 関西経営品質賞 報告」 2. 報告「2013年度 日本経営品質賞、及び地方賞の状況」 3. 報告「2013年度 関西経営品質賞の振り返りと課題」 4. 意見交換「2014年度 関西経営品質賞に向けて」

4. 関西経営品質賞判定委員会

概 要：審査員による申請組織の審査結果および評価レポートの妥当性、さらに表彰組織候補を判定し、関西経営品質賞委員会に推薦した。

委 員 長：甲南大学 特別客員教授 加護野忠男
副 委 員 長：神戸大学大学院 経営学研究科教授 原田 勉
委 員：流通科学大学 学長 石井 淳蔵
関西学院大学 商学部教授 小菅 正伸
眞風マネジメントオフィス 代表 中山 眞

回 数：定例会2回

	月日・場所	議 案
1回	11月27日 当本部会議室	1. 委員長挨拶 2. 審査チームによる合議審査報告 3. 今後のスケジュール確認
2回	1月11日 当本部会議室	1. 委員長挨拶 2. 審査チームによる現地審査報告 3. 審議 4. 今後のスケジュール確認

5. 関西経営品質賞委員会

概 要：賞全体における最高意思決定機関として、表彰組織の最終審査を行った。

委 員 長：(公財)関西生産性本部 会長（レンゴー(株) 代表取締役社長） 大坪 清
委 員：(株)りそな銀行 代表取締役副社長兼執行役員西日本担当統括 池田 博之
連合大阪 会長 川口 清一
(2013年10月退任)
連合大阪 会長 山崎 弦一
(2013年10月就任)
関西学院大学 商学部教授 平松 一夫
元オムロン(株) 副社長 平井 紀夫

回数：定例会1回

	月日・場所	議 案
1回	1月22日 当本部会議室	1. 2013年度 関西経営品質賞委員会 新任委員のご紹介 2. 2013年度 関西経営品質賞 概要の説明 3. 各申請企業の概要と表彰理由の説明 4. 判定委員会審議結果の報告 関西経営品質賞 判定委員会委員長 5. 審議
関西経営品質賞 優秀賞		(株)京進 ノアインドアステージ(株)
		加護野忠男

経営品質・組織革新サーベイ

概要：「経営品質の観点」で社員満足度を測定する簡易Webサーベイにより、組織の実態把握を行うとともに、データ分析から組織の課題を報告した。

実施数：2組織

経営品質トップセミナー

概要：経営トップ限定の場にて、自社のビジョン・ベクトルを「顧客」「社員」「社会」の立場から振り返り、経営と社員が一体的に仕事に取り組む経営のあり方を考えた。

月 日：Ⅰ.8月9日～10日、Ⅱ.9月20日～21日 4日間（合宿）

場 所：当本部会議室

テ ー マ：「どんな会社・組織にしたいのか？」

講 師：甲南大学 特別客員教授 加護野忠男

(関西経営品質協議会 企画実践委員長、関西経営品質賞 判定委員長)

元オムロン(株) 副社長 平井 紀夫

(関西経営品質賞 制度企画委員長)

同志社大学ビジネススクール 客員教授 明致 親吾

参加者数：4名

Ⅰ. 講義「組織と経営理念・ビジョン」
討議「自組織の経営ビジョン」
講義「経営品質4つの理念と実際」
討議「自組織が進む道」
Ⅱ. 講義「経営の意思決定」
討議「取締役会議」(Ⅰ)
討議「取締役会議」(Ⅱ)
討議「自組織の経営ビジョンと進む道」(再)

経営品質セミナー

概要：経営品質向上プログラムに初めて触れられる方を対象に、プログラムが生まれた経緯、日本経営品質賞アセスメント基準の構造、また、顧客価値という観点から経営全体を体系的に捉え潜在的な問題を顕在化させ、改善・革新の取り組みに繋げるツールの一つとして、講義によって理解を深めた。

回数：定例会8回

2014年度アセスメント基準書改訂版説明会1回

WAYマネジメント体験セミナー1回

マネジメント強化プログラム体験セミナー1回

エンゲージメント・セミナー1回

参加者数：380名

月日・場所	内 容
6月18日	【2014年度アセスメント基準書 (25名)】

当本部会議室	改訂版（パイロット版） 説明会（大阪会場）】	足立 裕
7月2日 龍谷大学大阪 梅田キャンパス	「顧客満足ってどうやるの？」 経営品質協議会 コミュニケーションセンターセンター長	(74名) 田村 均
7月24日 当本部会議室	【WAYマネジメント体験セミナー】 「グローバル&効果的な戦略策定づくり」 ～戦略の作り方・展開の方法に困っている方へ～ (公財)日本生産性本部 経営コンサルタント 元 パナソニック(株) 人材開発カンパニー参事	(33名) 谷口 弘之
8月8日 奈良県地域産 業振興センター	「トヨタの改善と経営品質」 YMマネジメントオフィス 代表	(29名) 眞鍋陽一郎
8月27日 当本部会議室	【マネジメント強化プログラム体験セミナー】 「半年間のアクションプラン（行動計画）を「やりきる」ためのマ ネジメント」 ～計画倒れに陥らないために～ (公財)関西生産性本部 経営革新部経営コンサルタント マネジメント強化プログラム認定アドバイザー	(22名) 新田町尚人
9月6日 龍谷大学大阪 梅田キャンパス	「対話ができる方法」～対話は革新エンジン！～ NPO京都ソリューションダイアログ協会 理事長	(25名) 森山 祐輔
10月16日 龍谷大学大阪 梅田キャンパス	「経営品質の基礎知識」 パナソニック(株) モノづくり本部設計力強化グループ企画チームチームリーダー	(22名) 宇高 育男
11月11日 龍谷大学大阪 梅田キャンパス	「持続的変革を起こしている老舗企業とは？」 龍谷大学 経営学部教授	(14名) 大西 謙
11月22日 NCBスカイルーム	「“社員満足”だけでは組織は良くならない！」 ～社員がイキイキ働く会社づくりに必要なポイント～ 安倍クオリティーマネジメント(株) 代表取締役 前関西学院大学 専門職大学院 経営戦略研究科教授	(60名) 安倍 泰生 北村 秀実
12月5日 龍谷大学大阪 梅田キャンパス	「人が育つ組織とは？」 (株)Kairos 代表取締役社長	(17名) 長友 隆司
1月14日 龍谷大学大阪 梅田キャンパス	「チームワークに必要なもの—『歎異抄』の思想から—」 浄土真宗本願寺派 僧侶/龍谷大学 文学部教授	(26名) 杉岡 孝紀
2月6日 龍谷大学大阪 梅田キャンパス	「経営トップとしての経営品質 活用方策」 元 パナソニック電工解析センター(株) 代表取締役社長	(33名) 吉田 和久

学校「経営品質」向上研究会

概要：「学校の組織変革」を行ううえで参考に資する様々な組織の実践事例を通して、いかにして経営品質の高い学校をつくるかについて、産業界とも意見交換しながら考えていった。

コーディネータ：(株)メディン 代表取締役・代表経営コンサルタント

西村 聡

回数：定例会8回、特別例会3回

会員数：24名

	月日・場所	内 容	
1回	7月29日 当本部会議室	「『経営を見る8つの視点』～日本経営品質賞アセスメント 基準を知る～」 (株)メディン 代表取締役・代表経営コンサルタント (懇親会)	(14名) 西村 聡
2回	8月19日 (株)開倫塾	「『教え方日本一』に向けた経営品質の実践」 (株)開倫塾 代表取締役社長 (懇親会)	(8名) 林 明夫

3回	9月18日 金沢工業大学	「教育付加価値日本一の大学を目指した経営品質活動の取り組み」 金沢工業大学 常任理事産学連携推進部長 〈懇親会〉	(12名) 谷 正史
特別	9月27日 グランフロント大阪	《産学フロンティア会議 第1回例会》 [産学フロンティア会議の欄参照]	(総数46名)
特別	11月15日 NCBスカイルーム	《産学フロンティア会議 第2回例会》 [産学フロンティア会議の欄参照]	(総数53名)
4回	11月25日 龍谷大学 大阪 梅田キャンパス	「明治大学における建学の精神に基づいたグランドデザイン の立案と実践」 明治大学 経営学部教授 学長室専門員 〈懇親会〉	(15名) 歌代 豊
5回	12月12日 サイバー大学	「サイバーと株式会社立によるこれからの大学教育」 (株)日本サイバー教育研究所 サイバー大学 学長 兼 取締役 〈懇親会〉	(10名) 川原 洋
6回	1月16日 福井大学	「就職率No.1を実現するキャリア支援活動」 福井大学 学務部 就職支援室長 総合戦略部門 地域連携推進主幹 〈懇親会〉	(8名) 大橋 祐之
特別	2月5日 リーガロイヤルNCB	《産学フロンティア会議 第3回例会》 [産学フロンティア会議の欄参照]	(総数44名)
7回	2月5日 広島国際大学 広島キャンパス	「総合学園化に向けた是非を問う！」 中央学院大学 学長 常翔学園 理事 〈懇親会〉	(8名) 椎名 市郎 中澤 和夫
8回	3月14日 当本部会議室	「ベンチマーク先を振り返り、自校に活かす！」 (株)メディオン 代表取締役・代表経営コンサルタント 〈懇親会〉	(10名) 西村 聡

神戸大学大学院「経営品質特殊研究」講座

概 要：経営品質向上プログラムの考え方を世間に広めるべく、神戸大学大学院 原田勉教授の協力のもと、神戸大学大学院における講義の中で、様々な実務家の方から経営品質の考え方に基づいた実践活動について講義を行った。

講 師：元オムロン(株) 副社長 平井 紀夫
パナソニック(株) モノづくり強化センター設計力強化グループ 企画チームリーダー 宇高 育男
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) コンサルティング・国際事業本部
経営戦略部部長兼チーフコンサルタント 久賀田全計
(株)Kairos 代表取締役社長 長友 隆司

回 数：定例会11回

参加者数：12名

	月日・場所	内 容	
1回	4月15日 神戸大学	経営革新とは何か 神戸大学大学院 経営学研究科教授	原田 勉
2回	4月22日 神戸大学	組織が変革せざるを得ない背景と現実 パナソニック(株) モノづくり強化センター設計力強化グループ 企画チームチームリーダー	宇高 育男
3回	5月13日 神戸大学	強い組織体質を作る上での7つのポイント パナソニック(株) モノづくり強化センター設計力強化グループ 企画チーム チームリーダー	宇高 育男
4回	5月20日 神戸大学	リーダーシップの役割と経営における社会的責任 元オムロン(株) 副社長	平井 紀夫
5回	5月27日 神戸大学	顧客・市場の理解 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) コンサルティング・ 国際事業本部経営戦略部部長兼チーフコンサルタント	久賀田全計

6回	6月3日 神戸大学	顧客価値創造のプロセス (株)Kairos 代表取締役社長	長友 隆司
7回	6月10日 神戸大学	戦略の策定と展開 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) コンサルティング・ 国際事業本部経営戦略部部長兼チーフコンサルタント	久賀田全計
8回	6月17日 神戸大学	組織と人材の能力向上 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) コンサルティング・ 国際事業本部経営戦略部部長兼チーフコンサルタント	久賀田全計
9回	6月24日 神戸大学	経営情報マネジメント (株)Kairos 代表取締役社長	長友 隆司
10回	7月1日 神戸大学	プロセス結果と財務結果の繋がり (株)Kairos 代表取締役社長	長友 隆司
11回	7月8日 神戸大学	セルフアセスメントのプロセスとその実践 パナソニック(株) モノづくり強化センター設計力強化グループ 企画チームチームリーダー	宇高 育男

関西インダストリアル・エンジニアリング (IE) 協会

概要：「関西の『モノづくり力の向上』と『収益力向上』に貢献します。」を活動のミッションとして、幹事会、運営委員会の協力・支援のもと、協会会員等の交流事業と、各種研修事業を開催した。
(法人会員74組織、個人会員21名／活動期間：2013年4月1日～2014年3月31日)

【幹事会】

概要：当協会の運営や事業活動などについて検討するほか、IE やモノづくりなどに関する最新の話題について、意見交換を行った。また、幹事・運営委員相互での「モノづくり視察会」や「関西モノづくり大会」等の機会を通して、生産革新や経営革新への取り組みについて経験交流した。

会長：新日鐵住金(株) 執行役員交通産機品事業部製鋼所長 仲田 摩智

副会長：(株)神崎高級工機製作所 代表取締役社長 山岡 靖幸
東洋紡(株) 常務執行役員生産技術総括室長 鬼塚 眞一
パナソニック(株) 常務取締役 モノづくり本部長 野村 剛
(株)クボタ 常務執行役員品質・モノづくり本部長 安全衛生推進本部長 小川謙四郎
住友電気工業(株) 常務取締役生産技術本部長 野田 茂
(2013年6月退任)
住友電気工業(株) 常務取締役生産技術本部長 川井 文義
(2013年6月就任)

幹事：オムロン(株) 執行役員グローバルものづくり革新本部長 吉川 浄
大阪ガス(株) 理事・本社支配人 嘉数 隆敬
大阪工業大学 工学部ロボット工学科教授 本位田光重
(兼、(公社)日本経営工学会 関西支部支部長)
大阪市立大学大学院 経営学研究科教授 太田 雅晴
(株)カネカ 生産技術本部 技術部長 古川 直樹
(2013年7月就任)

京セラ(株) 執行役員研究開発本部生産技術開発統括部長 山下 洋一
甲南大学 経営学部教授 長坂 悦敬
積水化学工業(株) 執行役員生産力革新センター所長 近藤 賢
ダイキン工業(株) 常務執行役員 岡野 進
ダイハツ工業(株) 取締役専務執行役員 生産本部長兼技術本部副本部長 向田 慎一
大和ハウス工業(株) 執行役員生産部長 田中 彰二
(2013年9月退任)

大和ハウス工業(株) 生産購買本部生産部部長 河村 太郎
(2013年10月就任)

東レ(株) 生産本部顧問 武田 敏之
(公社)日本経営工学会 関西支部支部長 大坂 吉文
(2013年7月退任)

村田機械(株) 取締役副社長 村田 洋介
レンゴー(株) 取締役専務執行役員 後藤 貞明

	月日・場所	議 案	
1回	2月12日 当本部会議室	1. 会長挨拶 2. 今年度の事業活動について 3. 会則について 4. 役員・委員の一部選任（次年度の組織体制）について 5. 次年度の事業計画について ※「第55回 全国IE年次大会」（当協会担当）含む 6. その他 〈「関西モノづくり大会」打上会〉	(24名)

【正副会長懇談会】

	月日・場所	議 案	
1回	1月23日 当本部会議室	1. 2014年度からの組織体制について 2. 「第55回 全国IE年次大会」開催内容 3. その他 (1)「モノづくり視察会」（2/28～3/1開催） 〈正副会長懇親会〉	(8名)

【運営委員会】

概要：当協会の運営や事業の具体化（企画・実践）を行った。「関西モノづくり大会」企画実行委員会を兼ねた。
また、「関西モノづくり大会」等の機会を通して、生産革新や経営革新への取り組みについて経験交流した。

委員長：新日鐵住金(株) 交通産機品事業部製鋼所 上席主幹 四方田圭一
委員：大阪工業大学 工学部ロボット工学科教授 本位田光重
大阪市立大学大学院 経営学研究科教授 太田 雅晴
オムロン(株) グローバルものづくり革新本部 生産プロセス革新センター管理技術部長 福田 一喜
(株)カネカ 生産技術本部 技術部（モノづくり推進）幹部職 岡 正幸
(2013年7月就任)
(株)カネカ 生産技術本部 生産技術部 企画統括グループリーダー 大森 幹治
(2013年9月退任)
(2013年10月就任)
(株)神崎高級工機製作所 工作機械事業部営業部 溝部 康人
サービスエンジニアリンググループグループ長 小崎 勉
京セラ(株) 生産技術開発統括部 エンジニアリング部 グローバル調達企画課責任者 植野 良治
(株)クボタ 品質・モノづくり本部 品質保証統括部長 (2013年9月退任)
(株)クボタ 品質・モノづくり本部 モノづくり統括部 人材育成グループ長 大西 修一
(2013年10月就任)
甲南大学 経営学部教授 長坂 悦敬
(株)島津製作所 業務システム統括部業務プロセス革新室室長 小西 昭士
新日鐵住金(株) 交通産機品事業部製鋼所総務部IE室 田村 豊
住友電気工業(株) 生産技術本部生産技術部生産システム技術部部長 立田 浩
積水化学工業(株) 生産力革新センターモノづくり革新シニアコンサルタント 北廣 和雄
ダイキン情報システム(株) 顧問 平野 徹
ダイハツ工業(株) ダイハツ東大阪モビリティコラボレーションセンター主査 森口 真介
(2014年1月退任)
ダイハツ工業(株) グローバル生産センター 主査 白石 治
(2014年2月就任)
大和ハウス工業(株) 生産購買本部生産企画部部長 加藤 孝二
東洋紡(株) 生産技術部長 酒井 太市
東レ(株) 生産本部嘱託 技術士 永安 直人
パナソニック(株) モノづくり本部企画グループグループマネージャー 柳本 努
村田機械(株) 犬山事業所 製造本部管理部部長 田中 克典
レンゴー(株) 執行役員 パッケージングディビジョン生産本部長 横田 光政

	月日・場所	議 案	
1回	6月18日	1. 幹事・委員の交代について	(16名)

	(一財)大阪科学 技術センター	2. 入退会状況 3. 開催事業の状況 4. 「幹事会」フリーディスカッションへの対応 5. その他 (1)今年度「幹事会」開催日の決定 (2)募集事業の案内 (2014年度)「第55回 全国IE年次大会」第2回企画実行委員会 1. 大会構成の決定 2. 大会テーマ案、ならびに分科会テーマ案の決定 3. 講師の依頼状況 4. 事例&見学先の候補検討 5. 目標参加人数の検討 「関西モノづくり大会」第2回企画実行委員会 1. 開催要領の決定 2. 依頼・決定状況 3. 次回の本大会企画実行委員会③の開催確認 4. 「関西モノづくり大会」会場下見 〈懇親会〉	
2回	10月29日 京都府	1. 幹事、委員の異動、所属・役職のご変更 2. 入退会状況 3. 開催事業の状況 4. 次年度事業の検討 「関西モノづくり大会」第4回企画実行委員会 1. 申込状況 2. 役割分担 (2014年度)「第55回 全国IE年次大会」第3回企画実行委員会 1. 講師(1日目)の依頼状況 2. 大会テーマ案ならびに分科会テーマ案の決定 3. 見学先の候補検討 4. 目標参加人数の検討 5. 展示、催し物の検討 6. 会場下見 〈懇親会〉	(16名)
3回	12月12日 当本部会議室	1. 「2014年度 運営委員会」開催日の調整 2. 当協会の「会則」の検討 3. 今年度の会員・事業状況 4. 2014年度の年会費(年間参加費)、研修体系について 5. その他(募集事業の案内) 「関西モノづくり大会」第5回企画実行委員会 1. 評価 (2014年度)「第55回 全国IE年次大会」第4回企画実行委員会 1. 開催要領(案)の確定 ・大会のサブテーマ、分科会テーマ、・事例(特に関西分)候補 ・見学先候補、・展示、催し物、・目標参加人数 〈懇親会〉	(13名)
4回	2月6日 当本部会議室	1. 当協会の「会則」検討 2. 2013年度活動報告 3. 2014年度運営・事業計画 4. その他(募集事業の案内) (2014年度)「第55回 全国IE年次大会」第5回企画実行委員会 1. 開催要領の報告 2. 事例&見学先の依頼状況	(13名)

2013年度 関西モノづくり大会

概要：会員ならびに関西等のモノづくり部門等の関係者が一堂に会し、先進的・先駆的に活動されている各種改善・革新活動等に関する活動成果の発表を行うとともに交流を図った。また、2日目には見学会（オプション）を実施した。

月 日：11月13日～14日

場 所：(-財)大阪科学技術センター（14日：見学先）

テ マ：磨け！モノづくり技術力～新たな「日本のモノづくり」構築～

参加者数：248名（内アカデミー・学生計6名）

【全体会議】

〈開会挨拶〉

関西インダストリアル・エンジニアリング協会 会長
（新日鐵住金(株) 執行役員 交通産機品事業部 製鋼所長）

仲田 摩智

〈基調講演〉

「個の組織・人の活性化をはかり、その成果を全体の最適に結び付けるには」
（株）HANDY 代表取締役（技術経営）

西口 泰夫

〈特別講演〉

「『チームで勝つ時代』に求められるリーダー術」～秘訣はワークライフバランス～
（株）ワーク・ライフバランス 代表取締役社長

小室 淑恵

【事例分科会】

〈第1分科会〉『生産革新と現場力向上』

「積水化学グループのモノづくり革新」

積水化学工業(株) 生産力革新センター モノづくり革新センター ヘッド

河野 寿明

「生産性20%改善への取り組み」

大和ハウス工業(株) 生産購買本部 ものづくりセンター 生産プロセスグループ

駒井 清

「『イタコナ』思想による在庫削減活動」

パナソニック(株) モノづくり本部 モノづくり強化センター 製造力強化グループ
SCM革新エンジニアリングチーム 主任技師

御牧 信行

〈第2分科会〉『グローバル対応と人材育成』

「三菱重工の ものづくり戦略」～IEと人材育成、そしてグローバル化～

三菱重工業(株) 技術統括本部 ものづくり技術部部长

大坂 弘美

「グローバル対応と人材育成の取り組み」

東洋紡(株) 品質保証室

持田 充

「グローバルでのモノづくり体質の強化」

～人材育成を基本としたモノづくり体質の維持向上～

住友電工管理（上海）有限公司 生産技術部・高級経理

野崎 武彦

【見学会】

Aコース：村田機械(株) 犬山事業所（31名）

〔個別受注生産における生産革新の取り組み〕

Bコース：レンゴー(株) 新京都事業所（10名）

〔段ボール生産工程、受注から納入迄のリードタイム、環境対策〕

Cコース：産業技術記念館・トヨタ自動車(株) 元町工場（46名）

〔トヨタ生産方式と製造現場の見学〕

【企画実行委員会】

	月日・場所	内 容	
1回	4月4日 当本部会議室	1. 大会の構成案の検討 2. 大会ならびに分科会テーマの検討 3. 講演・事例&見学先候補の検討 4. 目標参加人数の検討 5. その他 〈懇親会〉	(16名)
2回	6月18日 (-財)大阪科学 技術センター	《「関西インダストリアル・エンジニアリング協会 第1回運営委員会」の欄参照》	(16名)
3回	7月23日 当本部会議室	1. 「関西モノづくり大会」(案内状(案))の内容確認 ・大会テーマ ・分科会テーマ ・講演 ・発表事例 ・見学 2. 役割分担 3. その他	(6名)
4回	10月29日	[「関西インダストリアル・エンジニアリング協会	(16名)

	京都テルサ	第2回運営委員会」の欄参照]	
5回	12月12日 当本部会議室	[「関西インダストリアル・エンジニアリング協会 第3回運営委員会」の欄参照]	(13名)

第54回 全国IE年次大会

概要 要：全国の生産革新・モノづくり担当部門等の役員・推進者が一堂に会し、戦略、マネジメント等の各レベルの課題と活動成果の事例研究を行うと共に交流を図った。また、3日目には現場研修会(工場見学、オプション)を実施した。

月 日：7月10日～11日、12日～19日(現場見学先)

場 所：パシフィコ横浜

テーマ：「モノづくりが拓く 日本の未来！」～グローバル時代における新たな価値創造～

参加者数：833名(うち関西：93名)

【全体会議】		
(開会挨拶)		
大会会長：日本インダストリアル・エンジニアリング協会 会長 (日本電気(株) 代表取締役 執行役員社長)		遠藤 信博
(第42回「日本IE文献賞」表彰式)		
(基調講演)		
「グローバル競争力向上と日本のモノづくりの役割」		
日産自動車(株) 取締役 副社長 (日本インダストリアル・エンジニアリング協会 副会長)		今津 英敏
(特別講演)		
「革命は辺境からしか起こらない」		
佐賀県 武雄市市長		樋渡 啓祐
(リフレッシュ講演)		
「IBMのグローバル経営とダイバーシティ・マネジメント」		
日本アイ・ビー・エム(株) 執行役員 インダストリー営業統括公共営業本部長		志済 聡子
(次期開催地会長挨拶)		
関西インダストリアル・エンジニアリング協会 会長 (新日鐵住金(株) 執行役員 製鋼所長)		仲田 摩智
(交流会)		
来賓祝辞		
横浜市 副市長		大場 茂美
【特別講演】		
「マクドナルドの経営改革」		
日本マクドナルドホールディングス(株) 代表取締役会長 兼 社長 兼 最高経営責任者 (CEO)		原田 泳幸
【事例発表会】		
(第1分科会) 『モノづくり戦略』		
～グローバル市場で勝ち残るためのモノづくり戦略とは～		
「韓国企業のものづくり戦略」		
～三星電子の成功の光と影～		
(株)野村総合研究所 経営企画部海外管理課課長		濱本 賢一
「多様化するニーズに応える産業用ロボット」		
～生産システムとともに進化するロボット～		
(株)デンソーウェーブ 執行役員 制御システム事業部事業部長		長島 良治
《コーディネータ》		
(公財)日本生産性本部 コンサルティング部生産革新センター長		横山 正之
富士通(株) 生産革新センターIE推進部シニアマネージャー		中島 裕司
「日産自動車九州の勝ち残り戦略」		
～グローバルにおける九州の役割～		
日産自動車九州(株) 工務部生産計画課課長		柚木 和彦
「三菱重工のものづくり戦略」		
～IEと人材育成、そしてグローバル化へ～		
三菱重工業(株) 技術統括本部ものづくり技術部部長		大坂 弘美
《コーディネータ》		
大同特殊鋼(株) 生産改革部部長		川西 邦仁
日本電気(株) 生産本部 エキスパート		福島 真智

〈第2分科会〉『人財力』～真のグローバル化対応と人財育成の再考～

「グローバル展開に向けた人材育成の取り組み」

トヨタ紡織(株) 技能育成センターセンター長

川窪 英夫

「Ever With You」

～限りなくあなたと共に「新幹線劇場」～

(株)JR 東日本テクノハート TESSEI 専務取締役 経営企画部長

矢部 輝夫

《コーディネータ》

キューピー(株) 生産本部課長

丸山 武志

富士ゼロックス(株) プロセスイノベーション部チーム長

清水目 勉

「一人ひとりがやりがいを持ち能力発揮できる企業へ」

～活躍する女性の育成と環境づくり～

(株)高島屋 人事部人事政策担当次長

中川 荘一郎

「クボタのモノづくりを支える現場重視の人材育成」

～「Made by Kubota」のグローバル展開を目指して～

(株)クボタ 品質・モノづくり本部モノづくり統括部人材育成グループ長

大西 修一

《コーディネータ》

東レ(株) 生産本部

永安 直人

日野自動車(株) 日野工場 工場長付教育チーム係長

山岸 真一

〈第3分科会〉『現場力』～激しい競争を支える鍛えられた現場～

「最強の現場力の高め方」～強い組織となるために～

早稲田大学ビジネススクール 教授

(株)ローランド・ベルガー 会長

遠藤 功

「YWK活動による生産効率向上と現場改善力の底力」

～激変する環境変化に追従した使用エネルギーの削減～

ヤンマー建機(株) 製造部 接課班長

前田 哲也

《コーディネータ》

三菱電機(株) 生産技術部生産企画グループグループマネージャー

山田 仁和

リコー光学(株) 生産管理部 KAIZEN 推進課課長

斉籾 隆芳

「ニーズに応えるモノづくり」

～「多品種・微量生産」への取り組み～

鍋屋バイテック会社 専務取締役

佐藤 雅英

「継続した生産革新活動による強い現場作り」

～中高速複写機生産における SCM 改革～

リコーインダストリー(株) 生産本部東北生産センター副所長

庄司 勝

《コーディネータ》

黒崎播磨(株) 技術管理部設備技術センターマネージャー

富田 昭人

(株)リコー 生産事業本部生産統括センター生産企画室グループリーダー

二文字屋進

〈第4分科会〉『拡がる IE 視点』～幅広い分野の新たな価値への気づき～

「旅館における経営の近代化」

～なぜ、どうやって、何のために生産性に着目したのか～

(株)一の湯 代表取締役社長

小川 晴也

「躍進のハウステンボス 現場から見える躍進のワケ」

～“世界初”を次々に打ち出すテーマパークの体質改善～

ハウステンボス(株) 取締役 営業統括本部長

田中 雅人

《コーディネータ》

(株)トプコン 生産改革推進部生産改革支援グループシニアエキスパート

田中 光男

(株)日立製作所 モノづくり戦略本部生産プロジェクト第1推進センター長

浜岡 昭夫

〈パネルディスカッション〉

『グローバル化が進む中で、日本のモノづくりの活性化を考える』

「これからのモノづくりを考える」

愛知工業大学 客員教授

加藤 典孝

「モノづくり強化の課題」

シチズン時計(株) 顧問

海野 幹夫

「日本のモノづくりをいかに活性化できるか??？」

トヨタ自動車(株) 生産管理部生産調査室室長

二之夕裕美

《コーディネータ》

慶應義塾大学大学院 経営管理研究科教授、研究科委員長

河野 宏和

【現場見学会】

- A コース：富士ゼロックスマニュファクチャリング(株) 竹松事業所 (38名)
〔消耗品 PULL 型生産プロセスの改善による在庫低減〕
- B コース：カルソニックカンセイ(株) 児玉工場 (31名)
〔からくり設備を活用した改善活動〕
- C コース：横浜ゴム(株) 三島工場 (36名)
〔TPS 活動・TPM 活動・人財育成の 3 本柱で取り組む工場の改善活動〕
- D コース：日産自動車(株) 栃木工場 (47名)
〔日産生産方式 (NPW) をベースとした改善活動〕
- E コース：東芝エレベータ(株) 府中工場 (25名) [7/17 開催]
〔全体最適をめざしたモノづくり力強化・人財育成への取り組み〕
- F コース：オグラ金属(株) 本社工場 (27名) [7/17 開催]
〔足利流 5S 活動の展開〕
- G コース：NEC コンピュータテクノ(株) 甲府事業所 (25名)
〔お客様を起点とした営業・生産・物流の三位一体改革〕
- H コース：JFE スチール(株) 東日本製鐵所 (千葉地区) (23名) [7/16 開催]
〔現場主体の小集団活動&間接業務改善〕
- I コース：コマツ 茨城工場 (44名) [7/17 開催]
〔『見える化』による改善活動〕
- J コース：JR 東日本 大宮総合車両センター (38名) [7/18 開催]
〔徹底した車両メンテナンスによる安全性・品質の確保〕
- K コース：東邦チタニウム(株) 本社・茅ヶ崎工場 (12名) [7/19 開催]
〔TPM を通じた全体改善活動〕
- L コース：サンデン(株) 赤城事業所 (21名) [7/19 開催]
〔リードタイム&現場改革活動〕
- M コース：ハウス食品(株) 静岡工場 (38名) [7/19 開催]
〔考える人をつくる全員参加型の改善活動〕
- N コース：(株)日立製作所 都市開発システム社 (31名)
〔「高効率生産の追求」
～少量多品種生産品の一台流しによるリードタイム短縮～〕
- O コース：トラスコ中山(株) プラネット東関東 (14名)
〔少量多品種プロツールを送信無料で迅速提供〕

【情報システム／モノづくりツール展】

- (株)エルネット／大阪ガス行動観察研究所
「現場の課題を見出し、解決策を提案する『行動観察』」
- (株)電通国際情報サービス
「日本のモノづくりを支える生産・原価管理システム『AMMIC Net シリーズ』」
- 東洋ビジネスエンジニアリング(株)
「製造現場データの活用ソリューション『Raku-Pad』」
- (株)日本生工技研
「作業分析ソフト『タイムプリズム』」
- 日本電気(株)
「ものづくり共創プログラム『アジャイル生産現場ソリューション』」
- 日立製作所グループ
「サプライチェーン管理のための可視化と計画・ソリューション
『Synapse Suite』」
- 富士通(株)
「仮想工程計画・生産ラインシュミレーター『GP4』」
- 富士通(株)／デジタルプロセス(株)
「デジタル生産準備は『VPS』」
- (株)ブロードリーフ
「作業分析／業務最適化ソフトウェア OTRS」
- (株)レクサー・リサーチ
「日本発・分散系クラウド型シュミレーション・システム『Space☆Finder』」

〈首脳者懇親会〉

- 概 要：全国 IE 協会の正・副会長、運営委員長、専務理事・事務局長が一堂に
会して相互交流する場
- 月 日：7月10日
- 場 所：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

(2014年度)「第55回 全国IE年次大会」企画実行委員会 (担当: 当協会)

概要: 当協会が担当事務局となり、2014年度7月9～11日、京都テルサにて開催の本大会の企画・実行に向けての検討を行った。

	月日・場所	内 容	
1回	4月4日 当本部会議室	1. 大会構成の検討 2. 大会ならびに分科会テーマの検討 3. 講演・事例&見学先候補の検討 4. その他 (懇親会)	(16名)
2回	6月18日 (一財)大阪科学 技術センター	[「関西インダストリアル・エンジニアリング協会 第1回運営委員会」の欄参照]	(16名)
3回	10月29日 京都テルサ	[「関西インダストリアル・エンジニアリング協会 第2回運営委員会」の欄参照]	(16名)
4回	12月12日 当本部会議室	[「関西インダストリアル・エンジニアリング協会 第3回運営委員会」の欄参照]	(13名)
5回	2月6日 当本部会議室	[「関西インダストリアル・エンジニアリング協会 第4回運営委員会」の欄参照]	(13名)

【企画実行委員会】

委員長: 新日鐵住金(株) 交通産機品事業部製鋼所 上席主幹 四方田圭一
 委員: 大阪工業大学 工学部ロボット工学科教授 本位田光重
 大阪市立大学大学院 経営学研究科教授 太田 雅晴
 オムロン(株) グローバルものづくり革新本部 生産プロセス革新センター管理技術部長 福田 一喜
 (株)カネカ 生産技術本部 技術部 (モノづくり推進) 幹部職 岡 正幸
 (2013年7月就任)
 (株)カネカ 生産技術本部 生産技術部 企画統括グループリーダー 大森 幹治
 (2013年9月退任)
 (株)神崎高級工機製作所 工作機械事業部営業部 溝部 康人
 サービスエンジニアリンググループグループ長 小崎 勉
 京セラ(株) 生産技術開発統括部 エンジニアリング部グローバル調達企画課責任者 植野 良治
 (株)クボタ 品質・モノづくり本部 品質保証統括部長 (2013年9月退任)
 (株)クボタ 品質・モノづくり本部 モノづくり統括部 人材育成グループ長 大西 修一
 (2013年10月就任)
 甲南大学 経営学部教授 長坂 悦敬
 (株)島津製作所 業務システム統括部業務プロセス革新室室長 小西 昭士
 新日鐵住金(株) 交通産機品事業部製鋼所総務部IE室 田村 豊
 住友電気工業(株) 生産技術本部生産技術部生産システム技術部部长 立田 浩
 住友電気工業(株) 生産技術本部品質管理部主幹 寺尾 俊彦
 (2013年10月就任)
 積水化学工業(株) 生産力革新センターモノづくり革新シニアコンサルタント 北廣 和雄
 ダイキン情報システム(株) 顧問 平野 徹
 ダイハツ工業(株) ダイハツ東大阪モビリティコラボレーションセンター主査 森口 真介
 (2014年1月退任)
 ダイハツ工業(株) グローバル生産センター 主査 白石 治
 (2014年2月就任)
 大和ハウス工業(株) 生産購買本部生産企画部部长 加藤 孝二
 東洋紡(株) 生産技術部長 酒井 太市
 東レ(株) 生産本部嘱託 技術士 永安 直人
 パナソニック(株) モノづくり本部企画グループグループマネージャー 柳本 努
 村田機械(株) 犬山事業所 製造本部管理部部长 田中 克典
 レンゴー(株) 執行役員 パッケージングディビジョン生産本部長 横田 光政

2013年度 関西5S大会

概 要：製造業・サービス業等の関係者が一堂に会し、製造現場やオフィス、ならびにサービス業における5Sの活動成果を講演と実践事例発表を通じて紹介した。

月 日：1月23日、1月24日、1月28日

場 所：リーガロイヤルNCB、他

参加者数：114名

(開会挨拶)	(114名)
関西インダストリアル・エンジニアリング協会 会長 (新日鐵住金(株) 執行役員交通産機品事業部製鋼所長)	仲田 摩智
(基調講演)	
(講演会)	
「ディズニー そうじの神様が教えてくれたこと」 (株)ヴィジョナリー・ジャパン 代表取締役社長	鎌田 洋
(事例発表①)	
「ホワイトカラーの5S活動」 ユーザックシステム(株) 常務取締役	佐倉 和雄
(事例発表②)	
「アキレスの5Sへの取り組み」 アキレス(株) 生産革新担当付STDグループグループ長	山本 峰征
(事例発表③)	
「浜理薬品工業における5Sの取り組み」 浜理薬品工業(株) 社長室室長	森脇 浩樹
(見学会)	
(株)タナカテック (京都府京都市) 「タナカテックの3Sの取組み」 ～社会に役立つ人づくり企業をめざす～ ・26年間誰にでもできる3Sを誰にでもできない位継続	(26名)
(見学会)	
(株)レイ・クリエーション 御堂筋OFFICE (大阪府大阪市) 「サービス業が取組む3S活動」 ・3S活動より作りだした、考える・人の集まる空間「大阪ケイオスカフェ」 ・オフィスのフリーアドレス化	(16名)

関西モノづくりフォーラム

概 要：関西 IE 協会会員等の会員サービス事業として、「モノづくり・現場革新、人づくり」に関する先駆的・革新的活動や企業の経営課題に関する講演・事例発表や見学会などを開催。また、例会終了後に「交流会」を3回開催した。

回 数：定例会4回、特別例会1回

会 員 数：127名

	月日・場所	内 容	
1回	8月29日 アサヒビール(株) 吹田工場	〈ご挨拶〉 アサヒビール(株) 研究生産本部部長 (吹田工場駐在) 〈事例紹介〉 「『吹田工場の風土改革の取り組み』～5S活動と連動した改善活動への挑戦～」 アサヒビール(株) 吹田工場 品質管理部長 〈ビデオ観賞・工場見学〉 〈質疑応答・交流会〉	(24名) 高嶋 章行 岡田 拓己
2回	10月16日 NCB スカイルーム	「日本の産業構造の変遷とグローバル事業環境」 ～グローバル競争下の实体经济を担う“モノづくり”～ 東レ(株) 生産本部嘱託 (技術士) 「これからの日本の製造業の目指す道」 ～日韓企業のものづくりの強みと弱みを実体験から解説～ (株)ロンド・アプリウェアサービス 代表取締役 〈交流会〉	(27名) 永安 直人 中崎 勝

3回	12月19日 福伸電機(株) 二見工場	「製造技術標準を活用した不良ゼロに向けた取組み」 ～プロセス管理の基準を明確にする行為保証の考え方～ (株)遠藤メソッド 代表取締役 〈質疑応答〉	(25名) 遠藤 勇
特別	1月16日 住友電気工業(株) テクニカルトレーニングセンター(TTC)	「住友電工におけるモノづくり人材育成の取組み」 ～実機による安全・保全教育の紹介～ 住友電気工業(株) 生産技術部テクニカルトレーニングセンター館長	(28名) 青田 孝男
4回	3月14日 NCB スカイルーム	〈開会挨拶〉 関西 IE 協会 会長 (新日鐵住金(株) 執行役員 交通産機品事業部製鋼所長) 〈2014年度 当協会開催事業のご紹介〉 関西 IE 協会 運営委員長 (新日鐵住金(株) 交通産機品事業部製鋼所上席主幹) 〈特別講演〉《TOC 放課後セミナー “特別版”》 「全体最適のマネジメント改革」 ～何が会社の目標達成を妨げるのか～ (株)Goldratt Consulting Japan 代表取締役 〈交流会〉	(43名) 仲田 摩智 四方田圭一 岸良 裕司

会員誌『IEレビュー』

概 要：全国各地の IE 協会と共同で編集した専門誌で、モノづくりに関する様々な先進的活動や課題について、実践事例や研究成果を紹介した。（関西 IE 協会会員に送付）
計 5 号＋特別号（送付部数 120 冊／号）

海外赴任者・応援者のための海外赴任前研修

概 要：海外工場で活躍できる人材になるために、何を学んでおかなければならないか、分からないことも多い。本研修では、グローバル化、リーダーシップ、現地への貢献などについて、企業で実践されてきた経験豊富な講師が分かりやすく解説した。

月 日：6月20日

場 所：当本部会議室

テ マ：「海外工場 こんな人はいない !!」～海外工場で活躍できる人材になるために～

講 師：(株)TSC 顧問コンサルタント

清水 剛

参加者数：6名

1. 小集団活動やチームワークの理解と定着するには ～現地を理解し、現地に貢献する～
 - ①赴任先の文化、慣習、宗教、国民を理解する
 - ・海外赴任前後に生じる不安によって起こるU・カーブ・カルチャショックとは？
 - ・ソーシャルサポートの重要性
 - ・国民性によって異なる自己開示の度合いとジョハリの窓
 - ②異文化に対する正しい視点を持つ
 - ・文化相対主義の考え方
 - ・地域ごとに異なる価値観の違い
 - ・より良い理解をするためのDIE法
 - ③具体事例（中国、東南アジア諸国、欧米）
2. 海外赴任者に求められるリーダーシップとは ～自ら行動し、実績を示す人間になる～
 - ①グローバル・スキルの3つのポイント
 - ・リーダーシップ・マネジメント
 - ・異文化適応力
 - ・対話力・語学力
 - ②コミュニケーション力の高め方
 - ・コミュニケーションの基本要素
 - ・人間関係を高めるコミュニケーション
 - ・プレゼンテーションの仕方
 - ③リーダーシップの発揮の仕方
 - ・リーダーシップの3つの要素

- ・旗(大義名分)を掲げる事の重要性
 - ・管理者の役割とリーダーシップ
3. 現地社員から信頼を得るには ～海外工場で活躍するための「3つの条件」～
- ①ものづくり力 ローカルに信頼される、ものづくり改善力を身に付ける
 - ・ムダの見つけ方とカイゼンの仕方
 - ・5現主義
 - ・物と情報の流れと平準化
 - ②人づくり力 組織は人なり、自立できるローカル基幹人材を育てる
 - ・従業員を大切にし、対話の場を持つ
 - ・監督者の役割を明確にする
 - ・チームワークを高める取組みをする
 - ③ネットワーク構築力 社内外に、ヒューマンネットワークをつくる
 - ・社内・外の人との交流を図る
 - ・利害を超えた人間関係構築を図る
- ・ジェントルマンシップ(日本的・武士道)に徹する

《“実践型”改善リーダー育成スクール》“改善実践”入門セミナー

概 要：改善活動を着手するきっかけとなるよう、現場改善、ムダ取りのためのIE手法と着眼点を、「座学」とレゴブロックを使った「模擬生産演習」を通して、易しく学んだ。

月 日：1回目 7月25日、2回目 2月7日

場 所：1回目 当本部会議室、2回目 大阪工業大学 うめきたナレッジセンター

テ マ：「ムダ取りのためのIE手法と着眼点を学ぶ」～改善の基本を座学と演習で理解～

講 師：大阪工業大学 工学部 ロボット工学科教授 本位田光重
大阪工業大学 工学部環境工学科准教授 皆川健多郎

参加者数：1回目 26名、2回目 9名

1. IEの基礎〔座学〕・・・改善手法の基本を学ぶ
 - ① ムダの概念(ムダ作業の分類)
 - ② 動作経済の原則(ムダのない動作の着眼点)
 - ③ ECRSの原則(改善の着眼点)
 - ④ 3Sの重要性(整理、整頓、清掃が現場改善の基本)
 - ⑤ 改善活動と成果への反映(コスト削減と利益の関係)
2. 模擬生産〔演習①〕・・・改善原則を体感する
 - ① 手元改善(動作のムダ排除)
 - ② ストライクゾーン(最適な作業範囲)
 - ③ 模擬生産(レゴブロックによる模擬生産にて、改善原則を体感)
3. 〔演習①〕のまとめ・・・グループ討議と発表
4. 1個流し生産とは〔座学〕・・・生産方式の基本を学ぶ
 - ① ロット生産と1個流し生産(メリットとデメリット)
 - ② ラインバランスとは(工程間アンバランスの解消)
5. 模擬生産〔演習②〕・・・ものの流し方を学ぶ
 - ① 流れ改善(停滞のないラインづくり)
 - ② 改善案の検討と実行(生産目標達成への改善案検討)
 - ③ 実行結果の測定(改善成果の検証)
6. 〔演習②〕のまとめ・・・グループ討議と発表
7. 総括と総合質疑応答

《“実践型”改善リーダー育成スクール》基礎セミナー

概 要：作業改善が実践できるようになるために、改善の目的を理解し、動作研究、時間研究等の手法を、「座学」とムダをふんだんに組み込んだ「模擬生産ライン演習」の改善体験を通じて、ムダ取り改善手法を体得した。

月 日：2月20日～21日

場 所：大阪工業大学 ものづくりマネジメントセンター(CMM)

テ マ：「作業レベルでの改善の目を養い、改善の手順を体得」
～改善活動を実践できる人材の育成～

講 師：大阪工業大学 工学部環境工学科准教授 皆川健多郎
Dream Realizer(株) 代表取締役 平田 康浩

参加者数：9名

1. 改善活動の必要性と進め方 [座学]
 - ①現状測定 ～現場の捉え方～
(ムダの概念、タイムスタディ)
 - ②作業改善 ～作業改善の進め方 (ECRS の原則) ～
2. テスト生産
 - ①役割分担の決定
 - ②作業習得の実施
 - ③「生産1」に向けた改善
3. 【模擬ライン生産①】 ～現状の測定、作業改善～
 - ①「生産1」の実施
 - ②演習内容の検証、改善の課題抽出
4. 治工具改善・動作改善[座学]
 - ①治工具改善 (治工具改善の必要性とその取組方法)
 - ②動作改善 (動作経済の原則、5S)
5. 【模擬ライン生産②】 ～治工具改善、動作改善(1)～
 - ①「生産2」の実施
 - ②演習内容の検証、改善の課題抽出
6. 【模擬ライン生産③】 ～治工具改善、動作改善(2)～
 - ①「生産3」の実施
 - ②演習内容の検証、改善の課題抽出
7. ポカミス改善、標準化[座学]
 - ①ポカミス改善 (ポカミスの抽出と対策)
 - ②標準化 (標準作業の作成)
8. 【模擬ライン生産④ (最終生産)】 ～研修のまとめと振り返り～
 - ①最終生産の実施
 - ② 演習内容の検証、改善の課題抽出
 - ③ 発表、質疑応答
9. 交流会

《“実践型”改善リーダー育成スクール》中級セミナー

- 概要 要：改善活動をリードできるようになるために、どこにどの様な問題があるか、ボトルネック工程を特定し、工程設計の見直し・流れ化を学ぶ。また、「模擬生産ライン演習」を通じて、改善ステップや流れを実践的に体得した。
- 月 日：3月10日～12日
- 場 所：大阪工業大学 ものづくりマネジメントセンター (CMM)
- テーマ：「生産システムの流れ化を推進し、実践形式で工程改善ステップを体得」
～改善活動をリードできる人財の育成～
- 講師：(株)Dream Realizer 代表取締役 平田 康浩
(元パナソニック(株) 人材開発カンパニー ものづくり研修センター生産革新チーム チームリーダー)
大阪工業大学 工学部ロボット工学科教授 本位田光重
- 参加者数：12名

1. 工程改善の必要性・概論 ～工程分析、稼働分析～
2. フェーズ1：整理・整頓による環境整備 [試作]
 - ① 部品の配置・不要品の排除
 - ② 少同短楽による“置き方、置き場所”の決定
 - ③ 試作と組立手順の仮決定
 - ④ 工程設計
 - ⑤ 部品供給方式の検討【模擬ライン生産Ⅰ】 ～現状の工程確認と作業改善～
3. フェーズ2～4：工程分析、稼働分析、作業改善
 - ① プロセス工程分析
 - ② 作業稼働分析
 - ③ ムダ取り、改善の基礎
4. フェーズ5～6：部品供給、生産の流れ化

- ① 生産Ⅰの実態把握に基づく改善
- ② 工程分析（概要把握によるINからOUTまでを明確にする）
- ③ 部品供給方法の改善（荷姿・供給方式の改善）
- ④ 工程改善（仕掛かり・完成品在庫削減）
- ⑤ 作業改善（動作改善とラインバランス改善）
- 【模擬ライン生産Ⅱ】～現状の工程改善と作業改善～
- ⑥ 生産Ⅱの実態把握に基づく改善
- ⑦ 流れ生産化へ向けての改善
5. フェーズ6. 生産の流れ化へ向けてライン改善
 - ① 生産システムの改善
 - ② 生産工程の改善
 - ③ 倉庫内マテハンの改善
 - ④ ライン改善（作業改善の基本ステップ）
- 【模擬ライン生産Ⅲ】～最終結果確認～
6. 研修のまとめと振り返り
7. 交流会

工場長・製造幹部のための生産現場改革実践セミナー

概 要：工場長・製造部門長の生産改革・改善の役割と実践力の強化に向けて、モノづくりの仕組みを改善し、さらに生産改革に展開していく方法を、各種フォーマットと実践事例をもとに、わかりやすく解説した。

月 日：5月21日

場 所：当本部会議室

テ ー マ：「工場長・製造幹部による生産改革・改善の役割と実践力強化」

講 師：西沢技術士事務所 所長（技術士・中小企業診断士・経営士）

西沢 和夫

参加者数：17名

- I 工場長主導の工場改革で厳しい競争を生き抜く！！
 1. 変化を生き抜くための工場長主導の工場改革を実践せよ！
 2. 生き残る工場の「5力」を創造せよ！
 - ① 製品力 ② 現場力 ③ 管理力 ④ 技術力 ⑤ 組織力
 3. 変化に対応し生き残るための工場改革「基本10方策」に取り組み！
 4. 工場長・製造部長が持つべき「新行動10原則」を実践せよ！
- II 生き残るための生産現場力強化と「人づくり」の実践法
 1. 「本物の5S」と「見える化」を活用して生産現場改革を実践せよ！
 - (1) 「本物の5S」と「見える化」がなぜ工場生き残りを実現するのか
 - (2) 工場長が率先する「本物の5S」とは何か
 - (3) 「本物の5S」と「見える化」導入の基本プログラムと準備事項
 2. 標準化と「人づくり」で新人社員・非正規社員を活用せよ！
 - (1) 標準化と人づくりは生産現場の必須条件になっている
 - (2) 作業標準化は作業のABC分類と新たな作業標準書から始める
 - (3) 作業指導の5ステップを実践して短期人づくりを実践せよ
 3. 管理者と監督者を育成して組織力を強化せよ！
 - (1) 組織力強化のため工場組織を改革せよ
 - (2) 管理者の責任・役割と基本行動とは何か
 - (3) 監督者の本来の責任・役割と基本行動とは何か
 - (4) 生産現場の活性化のために「3礼」を実践せよ
 4. 管理の仕組み活用で変化に強い生産現場をつくれ！
 - (1) 安全管理と機械設備管理でトラブル対応力を強化する
 - (2) 生産管理と品質保証で顧客満足を達成する
- III リードタイム短縮と在庫削減で速い生産体制をつくる！！
 1. リードタイム短縮と在庫削減はどのように進めるか
 2. コンカレントエンジニアリングで開発スピードを上げる
 3. 小ロット生産方式の導入で生産リードタイムを短縮する
 4. レイアウト改革で流れる生産ラインをつくる
 5. 在庫削減で生産リードタイムを短縮する
- IV コストダウンと利益創造で本物の生き残りを図る！！
 1. コストダウン戦略で工場利益を確保する
 2. 「原価の構造」と利益を生み出す仕組みはこれだ
 3. 損益分岐点図表で利益創造の問題点を把握する

4. 損益分岐点計算表で損益を「見える化」せよ
5. 生産改革・改善で「本物の利益」を創造する
6. 製品別コストダウンで儲かる製品を育てる

5S・見える化セミナー

概 要：製造現場だけでなく、その管理・間接オフィスも改革・改善することを目指した「“本物”の5S」と「見える化」の実践的な展開法を、講師の長年の指導実績に基づき、わかりやすく解説した。

月 日：7月4日

場 所：当本部会議室

テ ー マ：「『本物の5S』と『見える化』による現場改革・快善の実践展開法」

講 師：西沢技術士事務所 所長（技術士・中小企業診断士・経営士） 西沢 和夫

参加者数：24名

1. 企業競争に生き残るために「本物の5S」が必要だ！
 - (1) いま、「本物の5S」の必要性が高まっている
 - (2) 「本物の5S」の直接効果とは何か
 - (3) 価値組企業の実践している「本物の5S」とは何か
 - (4) 「本物の5S」の定義とは
 - (5) 新たな時代に生き残るためには「躰（しつけ）」が必要！
2. 「本物の5S」と「見える化」の段階別導入・定着の進め方
 - (1) 「本物の5S」導入の基本プログラムと準備の進め方
 - (2) 「本物の5S」の効果的な導入・定着の進め方「整理」・「整頓」・「清掃」・「清潔」「躰（しつけ）」個別ステップの進め方
 - (3) 「本物の5S」の導入から定着への成功事例紹介
 - ・夜店方式から直角方式へ改革し探すムダをなくす
 - ・「あ・じ・か・げん」の活用で「人づくり」を徹底する
3. オフィス改革への「本物の5S」と「見える化」の導入法
 - (1) ワンベストとシングルファイリングでオフィスを「見える化」する
 - (2) オフィスワークを標準化し、人づくりに展開する
 - (3) フリーデスクの導入で進化する職場体質をつくる
4. 「本物の5S」と「見える化」による快善力強化の実践法
 - (1) 「本物の5S」にはモノづくり企業を改革するパワーがある！
 - (2) 「本物の5S」から快善活動に展開する秘策
 - ～「5S点検チェックリスト」と「5S実施計画表」の活用法～
5. 「本物の5S」の停滞・マンネリ化を防ぐ有効な対策とは
 - (1) 「本物の5S」が停滞・マンネリ化した職場の問題点とは何か
 - (2) 「本物の5S」の停滞・マンネリ化を打破する具体的な対策はこれだ！
 - ～「5S停滞を打破する快善対策一覧表」と「5S快善チェックリスト」の活用法～
6. 「見える化」で職場の問題解決力をスピードアップ
 - (1) 「本物の5S」から「見える化」への実践展開法
 - (2) 「見える化」は「本物の5S」から始め、工程管理に展開せよ
7. 「本物の5S」と「見える化」による「ムダとり」への実践展開法
 - 「本物の5S」活用の「7つのムダとり」で生産現場から利益を生みだせ
8. 「本物の5S」と「見える化」の更なる展開とは
 - ～改革力強化と儲かる工場づくりを目指す～

生産現場のリーダー力強化セミナー

概 要：生き残りをかけ、生産現場キーマンのリーダー力の強化に向けて、生産現場リーダーが具体的に何をどうすればよいのかを、指導実績の豊富な講師が、すぐに役立つ「行動ツール」を使い、わかりやすく解説した。

月 日：9月5日

場 所：当本部会議室

テ ー マ：「不況下での生き残りをかけた生産現場キーマンのリーダー力強化」

講 師：西沢技術士事務所 所長（技術士・中小企業診断士・経営士） 西沢 和夫

参加者数：28名

0. 企業生き残りが問われるなか、生産現場リーダーのやるべきことが変化したことを自覚し実践しているか!
1. 生産現場リーダーの「日常基本行動」なしに人は動かない!
 - (1) 生産現場リーダーの“日常基本行動6ステップ”を実践せよ!
行動ツール：生産現場リーダー行動日報
2. 「本物の5S」を実践していない生産現場は“駅前広場”工場になる!
 - (1) 「本物の5S」がない生産現場は、“ムリ・ムラ・ムダ”が止まらなくなる
 - (2) 「本物の5S」とは何をどうすることか
行動ツール：5Sパトロールチェックリスト
3. 「見える化」のない生産現場は「隠す化」（問題隠し）が横行する!
 - (1) 非正規社員の“隠す化”は「見える化」しないと解決できない
 - (2) 「見える化」はこうやって実践せよ!
行動ツール：生産実績管理板
4. 若手社員・非正規社員に適合する「作業標準化」をしなければQCT（品質、コスト、リードタイム）は達成できない!
 - (1) 若手社員・非正規社員に理解できる「作業標準化」とは何か
 - (2) 作業標準書活用のための生産現場リーダー行動10カ条を実践せよ!
行動ツール：作業標準書
5. 若手社員・非正規社員の「教育訓練」をしないとクレームと納期遅れが止まらなくなる!
 - (1) 若手社員・非正規社員に対する基礎教育訓練のポイントとは
 - (2) 作業指導の5ステップはこう進めよ
行動ツール：スキルマップ
6. 生産現場の「3礼」を実践せよ!
 - (1) 「3礼」とは何か
 - (2) 生産現場のコミュニケーションの基本ー「朝礼」はこうやって実践せよ!ー
行動ツール：非正規社員・意識調査表
7. 「作業指示」と「報・連・相」で「コミュニケーション」を強化せよ!
 - (1) 「作業指示」と「報・連・相」とは何か
 - (2) 「作業指示」と「報・連・相」はこうやって実践せよ!
行動ツール：現場パトロールチェックリスト
8. 労働災害の再発防止をしないと生産が止まる!
 - (1) 労働災害の発生要因はボカミスとルール破りだ
 - (2) 労働災害防止のための生産現場リーダーの基本を実践せよ!
行動ツール：労災防止6Mチェックシート
9. 現場リーダーがコストダウンを実践しないと職場が赤字になる!
 - (1) どうすればコストダウンが成功するのか?
 - (2) コストダウンの基本はムダとりだ!
 - (3) コストダウンの効果的な具体策とは
 - (4) 儲かる工場づくりにチャレンジしよう!
行動ツール：ムダとり改善シート
10. “やる気”の持てる生産現場づくりが若手社員・非正規社員活用の基本だ!
 - (1) “やる気”を持たない生産現場は「QCT（品質、コスト、リードタイム）目標」が消える
 - (2) “やる気”の持てる生産現場づくりの生産現場リーダー10カ条を実践せよ!
行動ツール：生産現場リーダーの自己診断チェックリスト

「なぜなぜ分析」活用による問題解決力向上セミナー

概 要：熟練者が減少する中、遭遇したことのない新たな品質問題に対し、「なぜなぜ5回分析」を用い、“本物の”品質保証活動と、そのための問題解決力強化への方法を、各種フォーマットと実践事例をもとに解説した。

月 日：12月4日

場 所：当本部会議室

テ マ：『QCアプローチ』と『6Mなぜなぜ分析』の習得による問題解決力の向上

講 師：西沢技術士事務所 所長（技術士・中小企業診断士・経営士） 西沢 和夫

参加者数：27名

I 品質問題の再発をなぜ防止できないのか

1. 品質問題とは何か
 - (1) 品質問題の多い職場に見られる共通点
 - (2) 問題の捉え方の基本は問題と問題点の識別から始めよ
 - (3) 再発防止対策を立てるためのアイデア開発法
- II 問題解決力強化のために何にどう取り組むべきか
 1. 問題解決力の強化が企業生き残りの必須要件だ
 2. なぜ問題解決をうまくできないのか
 3. 問題解決力を強化するための要件とは何か
 4. 問題とは何か、問題をどう考えるべきか
 5. 真の問題解決の基本4ステップ
 6. 問題解決の個別ステップの考え方・進め方
- III 「なぜなぜ5回分析」習得と「6Mなぜなぜ分析シート」の効果的な活用法
 1. 品質問題解決の着眼点は6Mだ！
 2. 確実な問題解決をするためには生産現場の体質改善が必要だ！
 3. 真の問題解決のための基本4ステップでクレーム再発ゼロを実現する！
～QC手法となぜなぜ5回分析の相互活用が求められている～
 4. 「QCアプローチ」から「6M特性要因図」への展開が有効だ！
 - (1) QCストーリーを活用して問題解決の効果を高める
 - (2) QCアプローチで問題点を把握する手順
 - (3) 「層別化」の進め方
 - (4) 「パレート図」で問題点を絞り込む
 - (5) 「6M特性要因図」を活用するメリットとは何か
 - (6) 「6M特性要因図」を作成する手順
 - (7) 「問題解決チェックリスト」の活用法
 - (8) 「問題解決実施計画・実績管理表」の活用法
 5. 真因を追究する「6Mなぜなぜ分析シート」の活用法
 - (1) 見落としのない正しい「なぜなぜ5回分析」の掘下げの事例
 - (2) 真因追究の2つのなぜなぜ・アプローチの活用が必要だ！
 - (3) なぜなぜ5回分析で失敗しやすい共通点と落とし穴とは
 - (4) なぜなぜ5回分析をうまく実施するための「10のポイント」と「だから法」の活用法
 6. 「6Mなぜなぜ分析シート」活用の事例に学ぶ
～ 良いなぜなぜ、悪いなぜなぜ分析の事例研究で問題解決力を磨く！～
 7. ムダ発見となぜなぜ分析の実践ツール紹介
 - ①7つのムダとり改善シート
 - ②職場巡回（ラインパトロール）チェックシート
 - ③6Mなぜなぜ分析シート
 - ④問題改善追究シート
- IV 品質コスト改善の手法「PAF法」の活用法
 1. 品質コスト改善をどう進めればよいのか
 2. PAF法による品質コストの種類には何があるか
 3. PAF法による品質コスト改善の実践展開法

生産計画・工程管理力強化セミナー

概 要：生産管理の仕組みを再構築し、さらに生産改革・改善に展開してゆく方法を分かりやすく解説した。

月 日：2月5日

場 所：当本部会議室

テ ー マ：「新たな生産管理で顧客対応力を向上し付加価値と企業競争力を強化する！」

講 師：西沢技術士事務所 所長（技術士・中小企業診断士・経営士）

西沢 和夫

参加者数：12名

- I [生産と生産管理の仕組の基本]
 1. 現在求められているモノづくりとは
 - (1)モノづくりの生産の流れとは
 - (2) QCTで顧客満足が得られるモノづくりとは
 - (3)生産現場の6Mで変化に対応して生き残っていくには
 2. 市場の変動に対応できる生産方式とは
 - (1)生産方式はどのように変化しているのか
 - (2)工程管理方式とは何か

3. 企業の生き残りがかかる生産管理とは
 - (1) 生産管理がなぜ必要なのか
 - (2) 生産管理の基本サイクルとは何か
 - (3) 生産管理の個別業務の流れとは何か

II [生産計画の基本]

1. 市場ニーズに応えるための生産計画とは
 - (1) 生産計画とはどのようなものか
 - (2) 長期の大日程計画と中日程計画の違いは
 - (3) 短期の小日程計画で何ができるか
2. 顧客満足を実現する中日程計画の立て方とは
 - (1) 中日程計画のための個別計画には何があるか
 - (2) 手順計画で工程と作業を計画する
 - (3) 工数計画で生産能力を見える化する
 - (4) 負荷計画で能力と負荷のバランスをとる
 - (5) 日程計画で納期を確保する
3. 生産計画の精度を高めるための手法とは
 - (1) 現在の生産現場に求められる作業標準書とは
 - (2) 作業標準書をうまくつくるポイント
 - (3) 標準時間を生産計画に活用するポイント
 - (4) 標準時間を設定する方法
 - (5) QC工程表をうまくつくるポイントとは

III [工程管理の基本]

1. 付加価値を創造する工程管理の進め方とは
 - (1) 工程管理とは何をするのか
 - (2) 工程管理を確実にする作業手配とは
 - (3) 進捗管理によって工程遅れを挽回する
 - (4) 余力管理によって手待ちを防止する
 - (5) 現品管理によって仕掛在庫を防止する
 - (6) 事後管理によって生産実績を把握し改善要求をする
2. 工程管理をうまくやる秘策を知る
 - (1) 工程管理をうまくやる秘策には何があるのか
 - (2) まず「本物の5S」で見える・分かる・できる生産現場をつくる
 - (3) 「見える化」で問題を先取りし快善力を強化する
 - (4) 作業標準書の定着で変化に強い生産ラインをつくる
 - (5) 作業者の育成によって生産計画達成の基盤をつくる
 - (6) 監督者の日常基本行動によって工程管理を実践する
 - (7) 3礼によって工程管理サイクルを確実に廻す
 - (8) 監督者の生産現場パトロールで先取り管理をする
 - (9) 報・連・相で作業者の責任を明確にする
 - (10) 多能化に取り組んで人の変化に強い生産現場をつくる
3. 問題解決力強化で生産目標を達成せよ
 - (1) 新たな生産現場問題の背景に何があるか
 - (2) 問題と問題点の違いを知って問題の本質をとらえる眼を持つ

実践不良ゼロへのアプローチセミナー

概 要： 講師自らが実際に不良をゼロにした多くの事例から編み出した「66の発生要因」「10のツール」のアプローチ方法について分かりやすく説明。2日目は、本アプローチを実践中の工場にて、不良ゼロへの具体的な進め方、課題、改善策などを体感頂いた。

月 日： 5月14日・15日

場 所： 当本部会議室

テ ー マ： 「不良ゼロの7原則と10のツールによる不良撲滅」
～不良は、必ずゼロになる！～

講 師： 榎ロンド・アプリウェアサービス 代表取締役

中崎 勝

参加者数： 14名

1. 今の時代
 - ① 今はどういう時代か
 - ② 日本のものづくりが生き残っていくためには
 - ③ 不良改善の必要性
2. 高品質とは

- ①品質とは
- ②不良とは
- ③高品質（品質保証、品質管理、品質改善）とは
- 3. 不良ゼロの9原則
 - ① 不良は結果である
 - ② 不良の66の要因とアプローチ
 - ③ もう、“なぜなぜ分析”はいりません
- 4. 異物ゼロへのアプローチ
 - ① 異物発生のメカニズム
 - ② 5つの発生源と5つの伝達経路対策
 - ③ 異物ゼロの7ステップ
- 5. 原則整備へのアプローチ
 - ① 不良の要因：20の原則
 - ② 原則整備の7ステップ
- 6. ポカミスゼロへのアプローチ
 - ① ポカミスの16個の要因
 - ② ポカミス対策の前に、2S、標準整備、教育訓練
- 7. キズゼロへのアプローチ
 - ①キズの13の要因
 - ②キズの個別改善と総合的アプローチ
- 8. 不良ゼロ実現のための3つのポイント

実践ヒューマンエラーゼロへのアプローチセミナー

概 要：ヒューマンエラーの発生要因を20のモードに分類し、その要因を排除できる7ステップ、
ならびにヒューマンエラーの発生の分析・要因発見の方法と改善方策について、実例
を通じて、分かりやすく解説した。

月 日：6月13日

場 所：当本部会議室

講 師：(株)ロンド・アプリウェアサービス 専任コンサルタント

平田 康浩

(元・パナソニック(株) 人材開発カンパニー ものづくり研修センター生産革新チーム チームリーダー)

参加者数：15名

- I. ヒューマンエラーは、なぜ発生するのか
 - 1. ヒューマンエラーの実態と要因
 - (1) 大事故のほとんどの要因は、ヒューマンエラー
 - (2) ヒューマンエラー防止対策の重要性
 - (3) 製造業におけるヒューマンエラーの要因と発生構造
 - (4) 知覚・判断・行動プロセス
 - 2. 人の特性を知ろう！
 - (1) 人はなぜミスをするのか
 - (2) 読み違い・間違い・思い込み・先入観
 - (3) 注意するだけで失敗は防げるか
 - (4) 脳の構造と働き
 - (5) ヒューマンエラーの謎とき
- II. ヒューマンエラーを逐一暴く
 - 3. ヒューマンエラーの分析
 - (1) ヒューマンエラー発生の20のモード
 - (2) Q-KYT方式
- III. ヒューマンエラーは必ず防止出来る
 - 4. ヒューマンエラー防止対策
 - (1) ヒューマンエラー対策の考え方
 - (2) ヒューマンエラー対策の方向性
 - (3) ヒューマンエラーゼロへの7Step(事例に基づくStepの展開)
 - 5. 事例に基づくエラー要因とポカヨケの紹介
 - (1) 整理・整頓
 - (2) 目で見える管理
 - (3) ポカヨケ

【個別相談】

5S・ファイリング実践セミナー

概要：事務オフィスにおける5S（物の見える化）とファイリング（業務の見える化）の実践のための具体的推進手順、後戻りしない歯止め策を、演習と実践事例を交え、分かりやすく解説した。

月 日：10月3日

場 所：当本部会議室

講師：(一社)中部産業連盟 東京本部上席主任コンサルタント

小林 啓子

参加者数：15名

I. 5Sの必要性和進め方 ～物の見える化～

1. 事務所の問題点とムダ
 - (1) 環境変化に対応する改善の必要性
 - (2) 事務現場のムダと問題点
 - (3) ムダと問題点
2. 5S・ファイリングシステム導入の必要性和目的
 - (1) 見える化とは
 - (2) 製造現場及び事務所で発生している問題点とムダ
3. 5Sの効果的な進め方
 - (1) 5Sの定義
 - (2) 5Sの推進手順
 - (3) ワンベスト原則
4. 個人機の5Sの進め方
 - (1) 個人機のあるべき姿
 - (2) 個人機の管理基準
 - (3) 事務用品のワンベスト管理
 - (4) 業務効率を実現する仕掛書類管理
5. 事務用品・消耗品の5Sの進め方
 - (1) 事務用品・消耗品の在庫管理・発注管理の進め方
 - (2) 発注点管理の事例
6. 他社の5S成功事例紹介
 - (1) 中産連東京本部事務所
 - (2) 各社のご自慢の場所

[5S演習]

- ① 事務オフィスの問題点発見
- ② 5Sに向けての改善提案

II. ファイリングシステムの必要性和進め方～業務の見える化～

7. ファイリングの問題点とファイリングシステムの必要性
 - (1) ファイリングの問題点
 - (2) ファイリングシステムとは
 - (3) ファイリングシステムの導入目的
 - (4) ファイリングシステム構築のポイント
 8. ファイリングシステムの構築手順
 - (1) ファイリングシステムの対象
 - (2) ファイリングシステムの構築手順
 9. ファイリングシステムから業務改善への展開方法
 - (1) 仕掛書類とファイリングシステムの一体化
 - (2) 仕掛書類と業務計画との連動化
 - (3) スキル管理
- [ファイリングシステム演習]
- ① 背表紙作成演習
 - ② ファイリングの間違い探し
10. 5Sとファイリングシステムの維持定着化と成功させるポイント
 - (1) 5S活動定着化のポイント
 - (2) 本質的な5Sの意義の認識
 - (3) ファイリングシステムの間違い
 - (4) ファイリングシステムの維持定着化のポイント

実践！ビデオ活用による「作業標準書作成」入門セミナー

概要 要：本セミナーでは、操作が容易で安価なビデオ編集ソフトを用い、従来よりも遥かに簡単に動画と音声を使った「作業標準書」を作成・修正する方法を、経験豊富な講師が分かりやすく解説した。

月 日：11月28日

場 所：当本部会議室

講師：(株)ロンド・アプリウエアサービス ビデオ標準専任コンサルタント

大谷みさお

参加者数：14名

I. 講義

1. ビデオ標準整備の必要性
 - (1) 標準整備へのアプローチ
 - (2) ポカミスゼロへのアプローチ
2. ビデオ標準整備へのアプローチ
 - (1) ビデオ標準整備への5ステップ
 - ① 改善対象の決定
 - ② 構成作業
 - ③ 編集作業
 - ④ 教育の実施
 - ⑤ 効果の測定
 - (2) 訓練キットの作成ポイント

II. 事例紹介

1. 実践事例に学ぶ～作成イメージ（作成ポイント、構成上の工夫点など）の習得～
2. ビデオ標準教育での効果～ビデオ標準活用時の教育効果の出し方～

III. 実習

1. ビデオ標準の作り方（手軽に作成・編集）
 - (1) 絵コンテの作成ポイントの習得～7つの構成パターンに沿って絵コンテを作成～
 - (2) ビデオ標準の作成ポイントと操作の習得
～作業ST、作業目的、異常時の処置などの作成ポイントに沿って作成～
2. ディスカッション～テーマ（別途）に基づく課題と阻害要件の対策と立案～
3. 発表と意見交流

製造リードタイム短縮セミナー

概要 要：本セミナーでは、管理システム改善、物的システム改善、VM（見える経営、見える管理）の手法を駆使して、製造リードタイム短縮を確実に実現するためのノウハウについて、講師がこれまで企業で実践してきた経験に基づいて理論形成した内容を、具体的かつ分かりやすく解説した。

月 日：12月13日

場 所：当本部会議室

講師：(一社)中部産業連盟 専務理事・主幹コンサルタント

五十嵐 瞭

参加者数：10名

【カリキュラム】

1. 製造リードタイム短縮の必要性
2. 製造リードタイム短縮の手順と方策
3. 物的システムの改善
 - ① 小ロット生産方式の導入と段取作業方法の改善
 - ② 流れ作業の実施
 - ・ 多工程も血の推進
 - ・ 少人化フレキシブルラインの設置
 - ・ 1個流し作業の推進
 - ③ 工程のライン化とラインの短縮化の推進
 - ④ 流れ系列式レイアウトの採用
 - ⑤ 小ロット多回運搬の実施
4. 管理システムの改善1
 - ① 生産日程計画・差立システムの改善
 - ・ 製造基準リードタイムの短縮
 - ・ 小ロット生産日程計画の確立

- ・工程間同期化計画の確立
- 5. 管理システムの改善2
 - ①生産進捗管理システムの改善
 - ②仕掛品現品管理システムの確立
- 6. 生産・納入・調達リードタイム短縮の進め方
- 7. 改善を推進する計数管理の進め方
- 8. VM（見える経営、見える管理）活動による製造リードタイム短縮の進め方

“周辺視”目視検査法セミナー

概 要：従来、感覚的で“経験による熟練技能”としてとらえられている目視検査を、ベテラン検査員を機能分析。その結果に基づき実務に適用し、大きな成果を上げた実践方法について、その考え方と適用方法を解説した。

月 日：1回目 4月18日、2回目 9月19日

場 所：当本部会議室

講 師：周辺視目視検査研究所 代表 佐々木章雄
(元株日立グローバル ストレージ・テクノロジーズIEプログラム・マネージャー)

参加者数：1回目 22名、2回目 27名

1. “周辺視”目視検査法の理解
 - ①従来の目視検査の問題点 ②大脳視覚システムの機能と限界の理解
 - ③従来方法から“周辺視”目視検査の変更点
 - ・「中心視」から「周辺視」へ
 - ・「凝視」から「瞬間視」へ
 - ・「活動性眼球運動」から「衝撃性眼球運動」へ
 - ・欠点探しから良品の確認へ
2. 周辺視目視検査法の導入方法
 - ①原理の正しい理解
 - ・周辺視目視検査法は大脳視覚システムの疲労を軽減する②限度見本の作製
 - ・「視覚」記憶の作りこみのために現物で訓練をする
 - ・正確な見え方の訓練
 - ③スムーズなハンドリング
 - ・1中作業をすることを考慮したリズムカルな動作の構築
 - ④正しい姿勢
 - ・リズムが良いと疲労の少ない正しい姿勢になる
3. 見逃しの原因となる検査対象物と光源の関係
 - ①明るいほど見易いか？ 見逃しは少なくなるか？
 - ・照明の明るさより、眼に届いた時の明るさが大事
 - ・明るすぎは肌荒れ、髪のパサツキの原因
 - ②検査用途ごとの光源の種類と適用方法
 - ・平行光、拡散光、透過光の正しい使い方で眼精疲労は大きく改善する
 - ③単純な見逃しに多い「明順応」と「暗順応」
 - ・「明順応」と「暗順応」はどんな現象か
 - ・危険な状況である「馴化」とはどんな現象か
4. 事例紹介
 - ・タイの部品メーカーでの適用事例 など
5. 質疑応答
6. 個別相談

第25期 SiGMA（戦略的統合生産システム）研究会

概 要：先駆的、ユニークな製造企業の実践事例の発表、製造見学後に、独自開発ツールによるグループ討議・発表を行う。これらを通じて、参加者自身の知見のみならず、生産革新・改善への「気づき」と“目ぢから”を醸成した。また、意見交流や合宿例会を通じて、人的ネットワークの深耕を図った。

統一テーマ：「顧客重視のモノづくり」～価値、機能、品質の追究～

主 査：甲南大学 経営学部教授 長坂 悦敬

幹 事：4名

回 数：定例会6回、幹事会3回

会 員 数 : 12名

	月日・場所	内 容	
1回	6月26日 当本部会議室	「当研究会の今年度の活動紹介」 甲南大学 経営学部教授 〈特別講演〉 「生産工場のモノづくりマネジメントと改善活動 ～トヨタ自動車、松下電器改善活動秘話～」 （株）TSC 代表取締役社長 〈グループ討議・発表〉	(11名) 長坂 悦敬 竹内 鉦造
2回	7月17日 （株）ホトケ製造所	〈事例紹介〉 「堀製造所における“5ゲン活動”の取り組み」 〈工場見学・質疑応答〉 〈グループ討議・発表〉	(15名)
3回	8月27日～28日 三菱電機（株） 稲沢製作所 ミズノテクニクス（株）本 社工場	〈事例紹介&工場見学〉 三菱電機（株） 稲沢製作所 「安全性・快適性を追求したエレベーターづくり」 ～エレベーターの ものづくりと技術動向～ 〈夕食懇談会〉 〈グループ討議・発表〉 〈事例紹介&工場見学〉 ミズノテクニクス（株）本社工場 「『ミズノクオリティ』の継続的向上による高品質なモノづく り」～熟練職人の技の継承と改善活動～	(11名)
4回	9月25日 （株）トキ関西工 場	〈事例紹介〉 「全体最適を実現する生産現場の改善」 〈工場見学・質疑応答〉 〈グループ討議・発表〉	(13名)
5回	10月18日 ニッタ（株）奈良工場	〈事例紹介〉 「顧客ニーズに応える高品質なモノづくり」 〈工場見学・質疑応答〉 〈グループ討議・発表〉	(13名)
6回	2月25日 （株）島津製作所 紫野工場	〈事例紹介〉 「試験機製造部における製造革新活動」 〈工場見学・質疑応答〉 〈グループ討議・発表〉 〈今年度の活動報告、次年度活動の概要〉 「今期活動（2013年度）を振り返って」 研究会幹事（新日鐵住金（株）製鋼所総務部IE室） 「SIGMA研究会 25年間の総括」 研究会幹事（前川技術士事務所 所長） 「次年度の活動について」 研究会主査（甲南大学 経営学部教授）	(15名) 田村 豊 前川 武彦 長坂 悦敬

生産現場研究会

概 要：“現場改善・革新”推進への様々な課題を先進的・革新的に活動・克服した実践事例の発表やムダ取り、生産革新に取り組んでいる製造現場を見聞した。

統一テーマ：「強い現場づくりの本質を探る」～人づくりと現場力強化を目指して～

回 数：定例会5回

会 員 数：34名

	月日・場所	内 容	
1回	6月20日・21日 （株）ロー 福井事業所	〈事例紹介〉 「5S活動と安全衛生活動の取り組み」 ～全員参加による体質改善活動～ 〈工場見学・質疑応答〉	(26名)
2回	9月13日 兵神装備（株） 滋賀事業所	〈事例紹介〉 「TPSを活用した人材育成と改善活動」 ～組立工程から製造部全体へと展開した『Will up活動』～	(26名)

		〈工場見学・質疑応答〉	
3回	10月8日 DMG森精機(株) 伊賀事業所	〈事例紹介〉 「機械・工具標準化、工程見直しによる省人化とリードタイムの短縮」 〈工場見学・質疑応答〉	(26名)
4回	11月27日 トヨタ車体(株)いな べ工場	〈工場見学〉 〈事例紹介〉 「IE教育を徹底した柔軟な生産ラインづくり」 ～変動変化に柔軟に対応した工程づくり～ 〈質疑応答〉	(30名)
5回	1月29日 (株)ロック・フィールド 静岡ファクトリー	〈事例紹介〉 「製販一貫体制の構築と現場改善活動」 ～鮮度・美味しさを追求した工程づくり～ 〈工場見学・質疑応答〉	(19名)

モノづくり視察会

概 要：国内のモノづくり先進企業を訪問し、独自性あふれるものづくり改革に取り組む現場などを視察し、訪問先との交流や、参加者相互間の交流を深める。

月 日：(1回目)4月12日～13日、(2回目)2月28日～3月1日

場 所：(1回目)山形県、宮城県、(2回目)佐賀・福岡県

参 加 者：当協会の会長、副会長、幹事、運営委員等 (1回目)13名、(2回目)14名

月日・場所	内 容
4月12日～13日	〈企業訪問・見学〉 ①NECパーソナルコンピュータ(株) 米沢事業場 「顧客基点の『ものづくり』を実現する生産革新活動」 ～変種変量生産とスピードを追求した“ハイブリッド生産”～ 〈夕食懇談会〉 ②キリンビール(株) 仙台工場 「これからも東北でーキリンビール仙台工場 震災からの復興ー」 ③地域視察 松島(瑞巖寺、五大堂)
2月28～3月1日	〈企業訪問・見学〉 ①味の素(株) 九州事業所 ②(株)SUMCO 九州事業所 久原工場 「SUMCOにおける生産性向上への取り組み」 〈夕食懇親会〉 ③アサヒビール(株) 博多工場 〈地域視察〉 ・地域視察 武雄市図書館、吉野ヶ里歴史公園

香港生産性協議会「クイック・レスポンス・マニュファクチュアリング調査団」受け入れ

概 要：日本の製造業の多品種少量生産への取り組み、リードタイム短縮のための生産戦略、変化に即応する生産ツールやマネジメント手法などを学び、相互の経験交流を深めた。訪問先での内容は、①企業概要の説明と生産性向上の取り組みの紹介、②製造現場や製品展示場の見学、③質疑応答。

参加者数：22名

	月日	内 容	
1日目	12月2日	香港から来日	
2日目	12月3日 当本部会議室	(講義) 「製造リードタイムと納期短縮の実践法」 Dream Realizer(株) 代表取締役	平田 康浩
	パナソニック(株)ITプロ ダクツ事業部	(企業訪問・見学) パナソニック(株) ITプロダクツ事業部	
3日目	12月4日	(企業訪問・見学)	

	オムロン(株)草津事業所 ダイキン工業(株)滋賀製作所	オムロン(株) 草津事業所 (企業訪問・見学) ダイキン工業(株) 滋賀製作所	
4日目	12月5日 当本部会議室	(講義) 「3Dデータで一気通貫 デジタルものづくり」 関ものづくり研究所 代表 (討議) 「自社でどのようにクイック・レスポンス・マニファクチャリングを行うか」	関 伸一
5日目	12月6日 当本部会議室	帰国	

II. ユニオン・イノベーション

労働政策委員会

概要	要：主に労働組合の視点から、生産性向上と労働政策に関する事業について審議を行った。
委員長	電機連合大阪地方協議会 議長 山崎 弦一 (2013年10月退任)
	関西電力労働組合 本部執行委員長 檜垣 次郎 (2013年10月就任)
副委員長	NTT労働組合西日本本部 執行委員長 八坂 繁良 (2013年9月退任)
	NTT労働組合西日本本部 執行委員長 喜井 広明 (2013年10月就任)
	大阪ガス労働組合 中央執行委員長 蔵元 浩昭
	関西電力労働組合 本部執行委員長 岸本 薫 (2013年6月退任)
	関西電力労働組合 本部副執行委員長 檜垣 次郎 (2013年6月就任、10月退任)
	ダイキン工業労働組合 中央執行委員長 嶋津 哲史 (2013年10月退任)
	ダイキン工業労働組合 中央執行委員長 堀田 浩 (2013年10月就任)
	武田薬品労働組合 中央執行委員長 篠原 正人
	パナソニックグループ労働組合連合会 中央執行委員長 廣田 典昭 (2013年9月就任)
	京都大学公共政策大学院 公共政策連携研究部・教授 久本 憲夫
	同志社大学 社会学部産業関係学科教授 石田 光男
	法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科教授 藤村 博之
委員	イオンリテールワーカーズユニオン 中央執行委員長代行 森部 達也
	NTN労働組合 中央執行委員長 江上 学
	NTT労働組合西日本本部 執行委員 丸田喜久子 (2013年10月退任)
	NTT労働組合西日本本部 執行委員 大方 幹子 (2013年10月就任)
	大阪ガス労働組合 中央執行委員 岡崎真由美 (2013年8月就任)
	大阪府教職員組合 中央執行委員長 一ノ瀬英剛
	オール・デザート労働組合 中央執行委員長 菅原 昌也
	カネカ労働組合 中央執行委員長 川崎 清一
	川崎重工労働組合 中央執行委員長 高橋 了
	関西電力労働組合 本店地区委員長 弓庭 秀恭
	クボタ労働組合連合会 中央副執行委員長 住野 孝 (2013年9月退任)
	クボタ労働組合連合会 中央副執行委員長 愛甲 隆志 (2013年10月就任)
	栗本鉄工所労働組合連合会 中央執行委員長 江川 光一
	神戸製鋼所労働組合 中央執行委員長 住山 弘司
	三洋電機労働組合 中央執行委員長 石村 龍治
	島津労働組合 組合長 生田 強史
	シャープ労働組合 中央執行委員長 津田 秋一
	新日鐵住金大阪労働組合 組合長 今宮 正信
	自治労大阪府本部 執行委員長 石子 雅章
	情報労連大阪地区協議会 議長 橋本 寿樹
	住友化学労働組合 執行委員長 岡嶋 謙
	積水化学労働組合 中央執行委員長 本間 克巳
	全東レ労働組合連合会 会長 興田 清己
	全ダイハツ労働組合連合会 会長 松原 弘久 (2013年11月退任)
	ダイハツ労働組合中央執行委員長 森 茂喜 (2013年11月就任)
	大丸松坂屋百貨店労働組合 中央執行委員長 簗田 欣治 (2013年8月退任)
	大丸松坂屋百貨店労働組合 中央執行委員長 稲上 創 (2013年9月就任)
	田辺三菱製薬労働組合 中央執行委員長 安原三紀子

帝人労働組合 組合長
 東洋紡績労働組合 組合長
 西日本旅客鉄道労働組合 中央執行委員長
 西日本旅客鉄道労働組合 中央本部企画部長

日産労連大阪地方協議会 議長
 日本郵政グループ労働組合近畿地方本部 書記長

日本郵政グループ労働組合近畿地方本部 副執行委員長

阪急阪神百貨店労働組合 本部執行委員長
 パナソニックグループ労働組合連合会 特別副中央執行委員長
 パナソニックエコソリューションズ労働組合 中央執行委員長
 ミズノユニオン 中央執行委員長

ミズノユニオン 中央執行委員長

UAゼンセン 大阪府支部 支部長
 連合大阪 事務局長
 連合大阪 副事務局長
 連合大阪 副事務局長
 連合兵庫 会長

連合兵庫 会長
 連合兵庫 事務局長

連合京都 会長

連合京都 会長

連合京都 事務局長

連合京都 事務局長

連合滋賀 会長
 連合滋賀 事務局長
 連合奈良 会長
 連合奈良 事務局長
 連合和歌山 会長
 連合和歌山 事務局長
 連合福井 会長

特別委員：連合大阪 会長

連合大阪 会長

全ダイハツ労働組合連合会 会長

南澤 宏樹
 森下 祿郎
 前田 稔
 白壁 靖子

(2013年7月就任)

宮垣 和夫
 寺杣 秀勝

(2013年9月退任)

夏川 克美

(2013年9月就任)

中村 裕二
 矢田 稚子

(2013年8月退任)

野崎 真吾

黒川 剛

(2013年8月退任)

石川 要一

(2013年9月就任)

松本 昌三

多賀 雅彦

井尻 雅之

佐伯 昭子

森本 洋平

(2013年10月退任)

辻 芳治

福永 明

(2013年10月就任)

細田 一三

(2013年10月退任)

橋元 信一

(2013年10月就任)

西村 英二

(2013年10月退任)

廣岡 和晃

(2013年10月就任)

山田 清

松元 光彦

小山 淳二

竹平 均

古谷 紀男

小林 茂

山岸 克司

川口 清一

(2013年10月退任)

山崎 弦一

(2013年10月就任)

松原 弘久

(2013年11月就任)

	月日・場所	議 案	
特別	8月28日～29日 北陸電力(株)山中 グループ 保養所 「湯～とびあ山 中」 加賀芙蓉カントリー 倶楽部	本年度所管事業の現況について 諸般報告・意見交換 ①本委員会の新体制について ②所管事業の現況について ③その他 懇親ゴルフ会	(15名)
1回	2月5日 リカポイムNCB	審議 ①2013年度労働関係事業報告 ②2014年度当本部事業計画大綱について ③2014年度委員会の活動方針と事業について ④当本部の労働組合賛助会員拡大について 問題提起と意見交換	(31名)

	「今労働組合リーダー育成に求められる要件 法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科教授 (公財関西生産性本部 労働政策委員会副委員長)	藤村 博之
--	--	-------

第24回 労働トップフォーラム

概 要：関西の労働トップの総結集を図り『転換期における労働組合の責務』～リーダーの情熱と挑
戦～をテーマに討議を行った。

月 日：6月1日

場 所：マイドームおおさか

テ ー マ：「転換期における労働組合の責務」～リーダーの情熱と挑戦～

共 催：連合近畿地方ブロック連絡会

参加者数：319名

〈開会挨拶〉 (公財)関西生産性本部 評議員会議長 連合近畿地方ブロック連絡会 代表幹事	辻 卓史 川口 清一
〈基調講演〉 「今後の日本の行方」 (榊野村総合研究所 顧問 東京大学公共政策大学院 客員教授	増田 寛也
〈経営者講話〉 「人口減少下の鉄道経営と労使関係」 九州旅客鉄道株式会社 取締役会長	石原 進
〈特別講演〉 「個の力を伸ばし、勝てる組織をつくるコーチング」 コンディショニングコーチ	立花 龍司
〈閉会挨拶〉 (公財)関西生産性本部 労働政策委員会委員長 (パナソニックグループ労働組合連合会 中央執行委員長)	山崎 弦一

〈企画実践委員会〉 委 員 長：連合大阪 事務局長 副 委 員 長：関西電力労働組合 本部副委員長	多賀 雅彦 檜垣 次郎 (2013年6月退任)
パナソニックグループ労働組合連合会 中央執行委員	丸山 治 (2013年9月就任)
委 員：連合大阪 副事務局長 連合兵庫 副事務局長 連合京都 副事務局長	井尻 雅之 伊藤 弘孝 岡本 哲也 (2013年10月退任)
連合京都 副事務局長	大西 芳秀 (2013年11月就任)
連合滋賀 副事務局長 連合奈良 副事務局長 連合和歌山 副事務局長 イオンリテールワーカーズユニオン 中央執行委員	上田 薫 舛田 勝 櫻谷 亮平 松原 晃寛 (2013年6月退任)
イオンリテールワーカーズユニオン 中央執行東近畿グループ議長	鈴木 充 (2013年7月就任)
大阪ガス労働組合 中央執行委員労働政策部長	谷 茂幸 (2013年9月退任)
大阪ガス労働組合 中央執行委員労働政策部長	岡崎真由美 (2013年9月就任)
関西電力労働組合 政策渉外局長	藤原 正宏 (2013年7月就任)
情報労連大阪地区協議会 事務局長 ダイキン工業労働組合 中央執行委員 ダイハツ労働組合 中央執行委員総務局長 武田薬品労働組合 中央副書記長	山田 敦雄 田口 伸一 黒木 恵介 青木 順一

	月日・場所	議 案	
1回	4月11日 マイトームおおさか	1. フォーラムの内容確定状況について 2. フォーラム会場視察 (2階Dホール他) 3. 今後の企画実践委員会の進め方とスケジュールについて 4. その他	(14名)
2回	5月21日 マイトームおおさか	1. 参加申込状況について 2. 当日の役割分担について 3. その他	(16名)
3回	9月18日 連合大阪	1. 概算収支決算について 2. アンケート結果 (参加者、企画実践委員) について 3. 次回フォーラムについて 4. 今後の企画実践委員会の進め方とスケジュールについて	(11名)
4回	10月16日 連合大阪	1. 第24回フォーラムの振り返りについて 個別目標/実績結果から 2. 第25回フォーラムについて 3. 今後の企画実践委員会の進め方とスケジュールについて	(12名)
5回	11月20日 連合大阪	1. 講師候補について・講師折衝状況および他候補実績結果から 2. 第25回フォーラムについて 3. 今後の企画実践委員会の進め方とスケジュールについて	(15名)
6回	12月11日 連合大阪	1. 講師折衝状況の報告と確認 2. 講師候補の追加検討、他	(13名)
7回	3月21日 連合大阪	1. フォーラムの内容確定状況について 2. フォーラムの全体テーマについて 3. フォーラムの案内状について 4. 今後の企画実践委員会の進め方とスケジュールについて	(12名)

労働組合研究会

概 要：活動事例の研究、調査・研究の発表を通じて、労組リーダー相互の経験交流を図り、労組活動の新しい展開をめざした。

統一テーマ：「組合員・職場起点の労働組合活動のあり方を考える」

回 数：定例会10回

会 員 数：194名

2012年度

	月日・場所	内 容	
7回	4月25日 当本部会議室	(労組役員のスキルアップ講座) 「大会を前にしっかり振り返ろう！ ～組合運動方針・活動の見直しのポイント～」 講師：(株)マネジメントイノベーション 代表取締役コンサルタント	(32名) 坂本 崇
8回	5月20日 当本部会議室	(トップ講話) 「ミズノユニオンにおけるグローバル枠組み協定締結の実際」 ミズノユニオン 中央執行委員長	(35名) 黒川 剛
9回	6月27日 当本部会議室	(特別講話) 「企業グループ労使関係の望ましい姿」 独立行政法人労働政策研究・研修機構 主任研究員	(35名) 呉 学殊
10回	7月9日 当本部会議室	(発表会) 「エオン・イノベーション・リーダー養成プログラム 上級コース 研究成果報告会」	(22名)

2013年度

	月日・場所	内 容	
1回	11月8日	(労組役員のスキルアップ講座)	(29名)

	NCB会議室「緑」	「新年度新体制でしっかり考えよう！ ～組合運動方針・活動の見直しのポイント～ 講師：(株)マネジメントイノベーション 代表取締役コンサルタント	坂本 崇
2回	11月22日 KIZUNA Café	(現地見学会) 「障がい者雇用のモデルづくりに向けた連合奈良の取り組み」	(11名)
3回	12月24日 大阪国際会議場	(訪米組織開発調査団報告会) 「経営に資する強い組織を作る」 ～日本流“組織開発”の推進のため、私たちは何をなすべきか？～ [「訪米組織開発調査団」報告会の欄参照]	(16名)
4回	2014年 1月24日 NCB会議室「光」	(トップ講話) 「労働組合の有る会社と無い会社の対等合併事例から考える、 労働組合の役割」 日立システムズ労働組合 副委員長	(25名) 小川 和宏
5回	1月28日 NCBカイルーム	(発表会) 「活用労働統計2014 発表会」 講師：社会総合研究所 主幹研究員 (元関西学院大学 教授) [活用労働統計発表会の欄参照]	(32名) 居樹 伸雄
6回	2月20日 当本部会議室	(トップ講話) ライフサポート活動最前線 「労働組合が「老後資金づくり＝投資信託」を設立・推進」 ～非営利団体の労働組合だからできる役割とは？～ セイコーエプソン労働組合 副執行委員長	(21名) 田中喜三男

ユニオン度診断システム

概要 要：新たな労働組合モデル「ユニオン」の理念と活動をものさしとした「ユニオン度」により、組合イノベーションのポイントを提案した
受託：7労組

ユニオン・イノベーション・リーダー養成プログラム（初級）

概要 要：若手執行役員を対象に、ユニオン・イノベーションの必要性を座学で学ぶと共に、自組織の課題と自らの役割について、ワークショップなどから、見つめ直した。
月 日：11月25日
場 所：当本部会議室
テーマ：組織を知る！ 労働組合の役割をしっかりと理解
必須スキルを学ぶ！ コミュニケーションの重要性を体感
参加者数：14名

「いま、労働組合に求められるイノベーションとは」 「いま、労働組合に求められる役割 ―会社の元気は労組が創る！―」 法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科教授 (公財)関西生産性本部 労働政策委員会副委員長	藤村 博之
「生産性の三原則と労働組合の役割」 法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科教授	藤村 博之
ワークショップ (グループ討議と演習) 「あなたにとって、労働組合とはどういうところですか？」 「体験型コミュニケーションゲーム」 「研修で感じたこと、気づいたこと ―2014年の自分への手紙―」 法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科教授	藤村 博之

ユニオン・イノベーション・リーダー養成プログラム（上級）

概要：労働組合の専従者が集い、労使関係に関する基本理論を学んだ後、研究課題を設定し、課題解決へ向けた方策について議論と検討を行い、成果発表を行った。

場所：当本部会議室、同志社びわこリトリートセンター

統一テーマ：「ユニオン・イノベーションの本質を考える」

コーディネータ：同志社大学 社会学部産業関係学科教授 石田 光男

期間：2012年10月16日～2013年7月9日

参加者数：5名

2012年度

	月日・場所	内 容
4回	4月9日 当本部会議室	「課題解決への道筋」
特別	5月9日 ダイキン工業労働組合	「労働組合活動インタビュー」
5回	5月14日～15日 同志社びわこリトリートセンター	「課題解決への道筋」
6回	6月11日 当本部会議室	「最終発表へ向けて」
7回	6月25日 当本部会議室	「最終発表へ向けて」
8回	7月9日 当本部会議室	「当本部労働組合研究会にて成果発表」

eユニオンメニュー <http://www.kpcnet.or.jp/e-union/>

概要：2002年6月に開設された本ホームページを、リアルタイムに労働組合活動に役立つ様々な情報を発信することを目的として、2011年4月リニューアル。

掲載数：〈最新情報〉 10件
〈ユニオンイノベーション・ベストプラクティス〉 7件

Ⅲ. 雇用開発・労使関係

労使関係委員会

概 要：労使関係に関する事項について生産性3原則の観点から審議した。

<p>委員 長：(株)クボタ 取締役専務執行役員 副委員 長：鴻池運輸(株) 執行役員勤労本部本部長 積水化学工業(株) 取締役常務執行役員 CSR部長 兼 コーポレートコミュニケーション部長 西日本旅客鉄道(株) 代表取締役副社長 兼 執行役員 シャープ労働組合 中央執行委員長 帝人労働組合 組合長 大阪大学大学院 国際公共政策研究科教授 同志社大学大学院 司法研究科教授</p> <p>委員：NTN(株) 取締役 (株)NTTドコモ 関西支社総務部長 大阪ガス(株) 執行役員 人事部長 カネカ労働組合 中央執行委員長 関西電力(株) 人材活性化室長 (株)きんでん 人事部長 倉敷紡績労働組合 組合長 (株)栗本鐵工所 取締役 統括管理・品質管理・監査担当 三洋電機労働組合 中央執行委員長 (株)GSユアサ 人事部担当部長 シャープ(株) コーポレート統括本部人づくり推進部長 住友ゴム工業(株) 人事総務部長 兼 人材開発部長 積水化学労働組合 中央執行委員長 全東レ労働組合連合会 会長 ダイセル労働組合 中央執行委員長 (株)ダイヘン 執行役員人事部長 東洋ゴム工業(株) 管理本部人事総務部長 東洋紡績労働組合 組合長 東レ(株) 勤労部長 (株)ノーリツ 執行役員人事部長 パナソニック(株) 労政グループ・グループマネージャー</p> <p>パナソニック(株) 労政グループ・グループマネージャー</p> <p>パナソニックエコソリューションズ労働組合 中央執行委員長 ミズノ(株) 人事総務部部長 兼 法務部部長 ミズノユニオン 中央執行委員長</p> <p>ミズノユニオン 中央執行委員長</p> <p>三菱レイヨンユニオン 中央執行委員長 (株)村田製作所 人事部部長 ユニチカ労働組合 中央執行委員長 レンゴー(株) 人事部部長 連合大阪 副事務局長</p>	<p>久保 俊裕 竹島 徹郎</p> <p>久保 肇 来島 達夫 津田 秋一 南澤 宏樹 松繁 寿和 西村健一郎 大橋 啓二 福島 聡 藤原 敏正 川崎 清一 大川 博巳 伊崎 幸治 前田 秀行 新宮 良明 石村 龍治 中西 康之 高井 信吾 小松 俊彦 本間 克巳 興田 清己 長野 慎哉 金子健太郎 西村 直希 森下 祿郎 柳井 克之 道清 伸一 下村 雅一 (2013年9月退任) 千松 哲也 (2013年9月就任) 野崎 真吾 原 琢平 黒川 剛 (2013年6月退任) 石川 要一 (2013年6月就任) 澤木 誉文 小澤 芳郎 早瀬 茂 玉置 克己 村田 憲彦</p>
--	--

	月日・場所	議 案
1回	8月19日 当本部会議室	1. 諸般報告、委員交代 ほか (21名) 2. 事業の進捗状況 3. 意見交換 4. 夕食懇親会
2回	11月28日 ダイキン工業(株) 滋賀製作所	1. ダイキン工業(株)滋賀製作所見学会 (20名) ・事業所概要説明 ダイキン工業(株) 滋賀製作所総務担当部長 飯田 敏之 ・製造現場の見学 ダイキン工業(株) 空調生産本部滋賀製造部製造品質担当課長 河崎 巧 ・講話 「ダイキン工業における高齢者の働きやすい職場づくりへの取り組み」

		ダイキン工業(株) 空調生産本部滋賀製造部滋賀製造部長 ・質疑応答 2. 諸般報告 3. 労使関係委員会活動計画・進捗状況 4. その他 5. 夕食懇親会	小倉 博敏
3回	2月3日 当本部会議室	1. 諸般報告 2. 労使関係委員会 2013年度活動報告(案)について 3. 関西生産性本部 2014年度事業計画大綱について 4. 労使関係委員会 2014年度活動計画(案)について 5. その他	(16名)

労使政策研究会

概 要：人事・労務に関する今日的な課題について、学者、コンサルタント、企業経営者など、多方面から講師を招き、講話と懇談を通じて、将来の人事・組織のあり方について指針を考えた。

年 度：2012年度

統一テーマ：「少子高齢化、低成長時代の労使の課題を考える」

回 数：定例会6回

会 員 数：24名

	月日・場所	内 容	
5回	5月13日 大阪新阪急ホテル	「人材評価の総合科学」 ～21世紀の人事評価のあり方を考える～ 神戸大学大学院 経営学研究科教授	(8名) 高橋 潔
6回	7月5日 ホテル阪急 インターナショナル	「正社員消滅時代の人事改革」 ～制約社員を活かす人事・賃金制度とは～ 学習院大学 経済学部経営学科教授	(6名) 今野浩一郎
7回	8月20日 大阪新阪急ホテル	「会社を支配するのは誰か」 ～日本の企業統治のあり方を考える～ 和歌山大学 経済学部教授	(6名) 吉村 典久

年 度：2013年度

統一テーマ：「グローバル・ダイバーシティ時代の労使の課題を考える」

回 数：定例会3回、特別例会1回

会 員 数：24名

	月日・場所	内 容	
特別	12月24日 大阪国際会議場	《「訪米組織開発調査団」報告会》 [「訪米組織開発調査団」報告会の欄参照]	(総数154名)
1回	1月28日 新阪急ホテル	「日本における雇用システムの行方」～新しい労働社会の幕開け～ (独)労働政策研究・研修機構 労使関係部門統括研究員	(7名) 濱口桂一郎
2回	2月18日 新阪急ホテル	「韓国・中国企業との比較における日本企業の強みと弱みー 世界の工場から世界の開発拠点へ：製品開発と人材マネジメント の日中韓比較」の分析結果から」 一橋大学 経済研究所教授	(6名) 都留 康
3回	3月26日 新阪急ホテル	「働くひとの心理学 ー組織として従業員のキャリア形成支援を考える」 筑波大学 人間総合科学研究科生涯発達専攻カウンセリングコース教授	(11名) 岡田 昌毅

人事労務研究会

概 要：人事処遇、人事施策、雇用、就業、労使関係等に関する調査・研究と先進事例の発表を交え、その課題と今後の動向を探り、人事労務のあり方を考えた。

年 度：2013年度

統一テーマ：「強い会社の人事労務施策に学ぶ！」

回数：定例会10回、特別例会2回

会員数：41名

	月日・場所	内 容	
1回	7月16日 当本部会議室	「いま人事労務部門が果たすべき役割」 ～強い会社を労使が創る～ (株)クボタ 人事部長 資生堂労働組合 中央執行委員長 (コーディネータ) 法政大学大学院 教授	(24名) 近藤 渉 赤塚 一 藤村 博之
2回	8月7日 当本部会議室	「人事労務担当者へのエール」 ～37年のコマツでの人事屋生活を振り返って～ コマツ(株)小松製作所 顧問	(20名) 日置 政克
3回	9月4日 (株)ユー・エス・ジェイ	「USJにおける『従業員のモチベーション向上施策』の実際」 (株)ユー・エス・ジェイ 人事・総務本部人事部次長	(28名) 中井 彰基
特別	10月10日 帝国ホテル大阪	《ロジスティクス研究会第7回例会》 [ロジスティクス研究会の欄参照]	(総数127名)
4回	10月17日 当本部会議室	「セイコーエプソンにおける『管理職層の人事制度改定』の実際」 セイコーエプソン(株) 人事部人事部長	(20名) 川名 政幸
5回	10月25日 当本部会議室	「働き方の多様性実現に向けたキッコーマンの取り組みの実際」 ～ワークライフバランス支援・介護支援など～ キッコーマン(株) 人事部長	(17名) 松崎 毅
6回	11月14日 当本部会議室	「パパの極意～仕事も育児も楽しむ生き方ファザーリングのすすめ～」 NPO法人ファザーリング・ジャパン ファウンダー	(20名) 安藤 哲也
特別	11月27日 NCBスカイルーム	《KPCマネジメントスクール経営人事イノベーションコース成果発表会》 [KPCマネジメントスクール経営人事イノベーションコースの欄参照]	(総数25名)
7回	12月2日 NCB会議室「光」	「積水化学工業における『女性活躍推進』の実際」 積水化学工業(株) CSR部人事グループ ワークライフバランス・女性活躍推進担当部長	(21名) 黒田亜希子
8回	12月20日 NCB会議室「光」	「富士電機における『高齢者雇用』について」 富士電機(株) 人事・総務室人材企画部長	(13名) 松井 洋明
9回	1月15日 NCBスカイルーム	「デンソーにおける『課長・係長・班長の復活』のその後」 (株)デンソー 人事部人事室長	(24名) 大橋 祥二
10回	2月4日 当本部会議室	「コニカミノルタにおける『若手社員を育てる体制づくり』の実際」 コニカミノルタ(株) 人事部人事企画グループ課長	(20名) 築澤 孝治

賃金基礎講座

概要： 要： 諸々の賃金制度の潮流をふまえ、実務担当者に不可欠の基本スキルと基礎知識を学びながら、これからの賃金体系の課題を整理した。

月 日： 第1回5月22日～23日、第2回10月22日～23日

場 所： 当本部会議室

テ マ： 「2日間で賃金の基礎知識とスキルをしっかりと体得する」

講 師： 社会総合研究所 主幹研究員

居樹 伸雄

参加者数： 第1回21名、第2回13名

1. 仕事ベースの賃金体系への改定に向けて～年功的人事処遇の再見直し～
2. 職能給・職能資格制度の特色と問題点
3. 賃金分析と賃金改定の実務
4. 業績・成果重視の賃金体系
5. 中高年の賃金処遇の見直しと再構築
6. これからの賃金処遇
7. 賃金体系の将来展望

第41回 西日本生産性会議2013

概要：中部以西の5本部が毎年持ち回りで開催し41回目を迎えた。今回は「新たな国づくりへ
労使の挑戦」～信頼社会の実現に向けて～を全体テーマとし、京都市で開催。モノづ
くり、経営品質などの面で、その強みを生かして発展している企業事例などを参考に
しながら、これからの労使の課題を検討した。

月 日：7月25日～26日

場 所：ホテルグランヴィア京都

テ ー マ：「新たな国づくりへ労使の挑戦～信頼社会の実現に向けて～」

参加者数：582名（うち関西267名）

主催／西日本の5生産性本部

協賛／(公財)日本生産性本部、全国労組生産性会議

後援／近畿経済産業局、京都府、京都市、連合近畿地方ブロック連絡会

7月25日

〈開会挨拶〉

関西生産性本部 会長（レンゴー(株) 代表取締役社長） 大坪 清

〈基調講演〉

「日本経済の動向と成長戦略」

(株)大和総研 理事長 武藤 敏郎

〈展開討議〉

「新たな国づくりへの労使の挑戦」～信頼社会の実現に向けて～

(パネリスト)

(株)堀場製作所 代表取締役会長兼社長 堀場 厚

日本労働組合総連合会 副会長（自動車総連 会長） 相原 康伸

シンクタンク・ソフィアバンク 代表 藤沢 久美

(コーディネータ)

慶應義塾大学 教授 樋口 美雄

(座長)

四国生産性本部 会長（四国電力(株) 取締役社長） 千葉 昭

(カクテル・パーティ)

7月26日

〈第1討議〉

「人と組織の活性化に向けた労使の挑戦」

(パネリスト)

(株)岡山高島屋 代表取締役社長 肥塚 見春

ダイキン工業(株) 人事本部長 佐治 正規

デンソー労働組合 執行委員長 今泉 直仁

(コーディネータ)

法政大学大学院 教授 藤村 博之

(座長)

中国生産性本部 会長（中国電力(株) 取締役社長） 荻田 知英

〈第2討議〉

「元気印企業の独自戦略」

(パネリスト)

(株)九州タブチ 代表取締役社長 鶴ヶ野未央

(株)スワニー 代表取締役社長 板野 司

(株)八天堂 代表取締役社長 森光 孝雄

(コーディネータ)

東洋大学 教授 井上 善海

(座長)

中部生産性本部 会長（大同特殊鋼(株) 代表取締役会長） 小澤 正俊

〈特別講演〉

「日本、日本人のゆくえ」

宗教学者 山折 哲雄

〈閉会挨拶〉

九州生産性本部 会長（西部ガス(株) 代表取締役会長） 田中 優次

<事前打合せ>

月 日：7月24日、12月19日

場 所：1回目 ホテルグランヴィア京都

2回目 ホテルオークラ福岡

参加者：1回目 22名
2回目 17名

	月日・場所	内 容
1回	7月25日 ホテルグランヴィア京都	<西日本生産性会議2013>第2回事前打合せ会
2回	12月19日 ホテルオークラ福岡	<西日本生産性会議2014>第1回事前打合せ会

<首脳者昼食懇談会>

月 日：7月25日
場 所：ホテルグランヴィア京都
参加者：38名

月日・場所	内 容
7月25日 ホテルグランヴィア京都	各本部役員と来賓による昼食懇談会

関西労使政策フォーラム

概 要：春闘を前に、経済見通し、労働政策、経営の方針、主要産別の方針などを聞き、労使交渉の参考にするとともに、今後の雇用、人事・賃金制度など労使の課題について考えた。

月 日：1月21日～1月22日

場 所：リーガロイヤルNCB

テ ー マ：「アベノミクス時代における政労使の役割」～持続的な経済成長を目指して～

共 催：(公社)関西経済連合会

参加者数：185名

〈開会挨拶〉 (公社)関西経済連合会 副会長	牧野 明次
〈経済講話〉 「2013年経済の展望と課題」 (株)日本総合研究所 調査部長・チーフエコノミスト	山田 久
〈経済産業政策講話〉 「持続的経済成長を目指した産業政策」 経済産業事務次官	立岡 恒良
〈労働政策講話〉 「持続的成長を目指した労働政策」 厚生労働事務次官	村木 厚子
〈経営講話〉 「企業の持続的成長のために日本企業に求められるもの」 日立造船(株) 代表取締役会長兼CEO	古川 実
〈労働講話〉 「2014年連合の活動方針と春季生活闘争への取組み」 日本労働組合総連合会 事務局長	神津里季生
〈労働座談会〉 「2014年春闘と労使の新たな課題」 (パネリスト) JAM 会長 電機連合 書記長 UAゼンセン 会長	眞中 行雄 浅沼 弘一 逢見 直人
(コーディネータ) 学習院大学 経済学部教授	今野浩一郎
〈労使座談会〉 「多様な働き方と生産性の向上」～日本における新しい働き方と労使の課題～ (パネリスト) (株)ダスキン 人事部人事労務室室長 ギャップジャパン(株) 人事部 シニア・ディレクター	橋本 幸子 志水 静香

武田薬品労働組合 中央書記長 (コーディネータ)	田中 直才
京都大学大学院 経済学研究科教授 (閉会挨拶)	久本 憲夫
(公財)関西生産性本部 副会長	山崎 弦一

人事考課の基本スキル向上セミナー

概 要：「目標管理」「評価」「フィードバック面接」と考課者に求められる人事考課に関する一連のプロセスについて、その基本と考え方を学び、演習を通じて実務能力の向上を図った。

月 日：第1回8月28日、第2回2月7日

場 所：当本部会議室

テ ー マ：「考課者必須のマインドとマネジメントスキルを1日で体得する」

講 師：(公財)関西生産性本部 経営革新部長・経営コンサルタント

安田 弘

参加者数：第1回11名、第2回6名

1. 人事考課者の心得と目標管理 (講義)
2. 人事考課者の心得と目標管理 (演習)
3. 人事考課の概要 [考課のプロセス] (講義と演習)
4. 人事考課の実際 (事例演習)
5. 質問と相談

メンタルヘルス研究会

概 要：メンタルヘルス問題解決に向けた取り組みや研究成果を取り上げて開催した。

統一テーマ：「パワハラ・職場のいじめ・自殺等の深刻課題対応を中心に」

回 数：定例会8回

会 員 数：39名

	月日・場所	内 容	
1回	6月4日 NCBスカイルーム	「経営の視点から考える戦略的メンタルヘルス対策」 ～“健康経営”の実践～ 大阪ガス(株) 人事部大阪ガスグループ 健康開発センター統括産業医	(28名) 岡田 邦夫
2回	7月9日 中之島インテス	「人事担当者のためのメンタルヘルス復職支援」 ～リスクを最小化するためのルールとステップ～ (株)産業医大ソリューションズ 代表取締役社長	(28名) 亀田 高志
3回	9月3日 当本部会議室	「味の素におけるメンタルヘルス回復プログラム」 ～“痛みにくい心”を作り再発を予防する～ 味の素(株) 人事部労務グループ専任課長健康推進センター	(21名) 隈部 淳二
4回	9月10日 NCBスカイルーム	「職場のハラスメント予防」 ～法律および臨床心理の視点からのアプローチ～ 近畿大学 法学部教授 関西福祉科学大学 健康福祉学部健康科学科准教授	(19名) 三柴 丈典 長見まき子
5回	11月20日 NCBスカイルーム	「社員が生き生き働くためのストレスマネジメント」 ～不調者を減らし組織力を強化する～ (株)アドックインターナショナル 代表取締役社長	(31名) 小林 常治
6回	12月13日 3月13日 中之島インテス	「組織の自殺対策」～自殺を防ぐために今必要なこと～ 秋田大学 理事副学長医学系研究科公衆衛生学講座教授	(23名) (9名) 本橋 豊
7回	1月23日 当本部会議室	「経営とメンタルヘルス問題」 ～安全・健康な職場風土づくりを目指して～ 日鉄住金マネジメント(株) 代表取締役社長	(23名) 福成 雄三
8回	2月14日 当本部会議室	「職場のメンタルヘルスの現状と今後の課題」 ～第一次予防の新しい推進枠組み～ 東京大学大学院 医学系研究科精神保健学分野教授	(23名) 川上 憲人

キャリア・コンサルタント養成講座

概要：日本生産性本部認定キャリア・コンサルタントの養成を目的に、組織と個に働きかけの出来るキャリア・コンサルタントの養成を行った。
 統一テーマ：「組織と個人に働きかけるキャリア・コンサルタントの養成」
 期間：第22期（関西第15期）10月12日～1月19日
 回数：定例会12回、特別補講1回
 参加者数：19名

	月日・場所	内 容	
1回	10月12日 当本部会議室	「キャリア・コンサルティング概論」 「キャリア・カウンセリング概論」 (公財)日本生産性本部 人材開発コンサルタント	大山 雅嗣
2回	10月13日 当本部会議室	「キャリア・カウンセリングの理論」 関西大学 社会学部教授	川崎 友嗣
3回	11月20日 当本部会議室	「キャリア・カウンセリングの基本技法Ⅰ」 (株)キャリア開発サポーターズ 代表取締役	浅野 衣子
4回	11月4日 当本部会議室	「キャリア開発ワークショップ」 「アセスメントツールの活用」 ゾム(株) 代表取締役社長	松下 信武
5回	11月10日 当本部会議室	「キャリア・カウンセリングロールプレイ演習」 (株)キャリア開発サポーターズ 代表取締役	浅野 衣子
特別	11月17日 当本部会議室	「キャリア・カウンセリングロールプレイ演習（補講）」 (株)キャリア開発サポーターズ 代表取締役	浅野 衣子
6回	11月23日 当本部会議室	「キャリア・カウンセリングの基礎技法Ⅱ」 (株)キャリア開発サポーターズ 代表取締役	浅野 衣子
7回	12月8日 当本部会議室	「人材マネジメントの基礎」 神戸大学大学院 経営学研究科教授 「働きがいのある企業の条件」 (公財)日本生産性本部 人材開発コンサルタント	平野 光俊 大山 雅嗣
8回	12月15日 当本部会議室	「キャリア教育の基礎知識」 「若年者に対するキャリア・コンサルティング」 関西大学 社会学部教授	川崎 友嗣
9回	12月21日 当本部会議室	「キャリアの棚卸しと職務経歴書・ジョブカードの作成、添削指導」 フオーワードコンサルティング 主宰	野田 俊彦
10回	12月23日 1月13日 当本部会議室	「組織におけるキャリア形成支援」 ヤマハ発動機(株) 人事部人材開発グループ キャリア相談室 「組織におけるキャリア形成支援の展開方法とキャリア開発支援研修」 (公財)日本生産性本部 人材開発コンサルタント	宮本 知行 大山 雅嗣
11回	1月12日 当本部会議室	「キャリア開発支援にかかわる労働法規」 近畿大学 法科大学院教授 「メンタルヘルスの基礎知識と復職支援の実際」 医療法人栄人会京都駅前メンタルクリニック 復職トレーニング専門ディレクター 「バックアップセンター・きょうと」センター長	奥田 香子 片桐 陽子
12回	1月19日 当本部会議室	「キャリア・カウンセリング総合演習」 (株)キャリア開発サポーターズ 代表取締役 「キャリア・コンサルティング総合演習」 (公財)日本生産性本部 人材開発コンサルタント	浅野 衣子 大山 雅嗣

キャリア・コンサルタント資格試験・資格更新研修

概要：厚生労働省キャリア形成推進助成金対象試験である(公財)日本生産性本部認定キャリア・コンサルタント資格試験の大阪会場の運営を受託し、主に当本部キャリア・コンサルタント養成講座修了生が受験した。
 回数：試験4回、資格更新研修2回

月日・場所	内 容
9月8日 当本部会議室	〈第23期 一次試験〉 総受験者4名 合格者数2名
9月22日 当本部会議室	〈第23期 二次試験〉 総受験者4名 合格者数1名
10月6日 当本部会議室	〈キャリア・コンサルタント資格更新研修〉 対象者19名 受講者12名
2月9日 当本部会議室	〈第24期 一次試験〉 総受験者18名 合格者数16名
2月23日 当本部会議室	〈第24期 二次試験〉 総受験者18名 合格者数10名
3月16日 当本部会議室	〈キャリア・コンサルタント資格更新研修〉 対象者31名 受講者23名（他、東京受講者2名、レポート提出者2名）

キャリア・クロス会

概 要：(公財)日本生産性本部認定キャリア・コンサルタントが、キャリア・コンサルタントとしての課題を一緒に考え、実践していくためキャリア・クロス会を組織し、キャリア・コンサルタントとしての知識のフォローアップ、講師によるスーパービジョン指導、ケースカンファレンス、各種情報提供、カウンセリング演習などに取り組んだ。

コーディネータ：(株)キャリア開発サポーターズ 代表取締役 浅野 衣子

回数：定例会6回、特別例会3回

会員数：119名

	月日・場所	内 容	
1回	4月12日 当本部会議室	「コラージュセラピーとは～体験を通して～」 HEART SPACE 主宰 コラージュセラピスト	(23名) けら 典子
2回	6月22日 当本部会議室	「ナラティブアプローチのキャリアカウンセリング」 大正大学 人間学部臨床心理学科教授	(20名) 廣川 進
特別	7月27日 当本部会議室	「大丸松坂屋百貨店におけるキャリア開発支援」 ～新入社員教育とキャリア開発体系を中心に～ (株)大丸松坂屋百貨店 業務本部人事部長 [キャリアデザイン学会関西支部研究会と合同]	(総数20名) 忠津 剛光
3回	8月9日 当本部会議室	「ILP（統合的ライフ・プランニング）を学ぶ」 日本キャリア・カウンセリング研究会 事務局長	(17名) 平 和俊
特別	9月8日・15日 当本部会議室	アドバイザー養成講座 (株)キャリア開発サポーターズ 代表取締役	(5名) 浅野 衣子
4回	10月5日 当本部会議室	「カウンセリングと倫理」 麗澤大学 外国語学部教授	(20名) 水野修次郎
5回	12月13日 当本部会議室	「ポジティブ心理学とは何か」 (-助)ポジティブイノベーションセンター 代表理事	(27名) 渡辺 誠
6回	2月7日 大阪大学中之島センター	「大学におけるキャリア教育の実践」 龍谷大学 理工学部	(25名) 矢野 隆子
特別	3月8日 当本部会議室	「発達障害の基本的理解」～支援に必要な知識と方法～ 宇都宮大学 教育学部教授 [日本産業カウンセリング学会と合同]	(総数52名) 梅永 雄二

要員管理と総額人件費マネジメントセミナー

概 要：賃金改定を前に、企業における人件費を、労使でどのような考え方のもとに総額決定し、配分するかについて、そのルールづくり方と運用の仕方を学んだ。

月 日：1月27日

場 所：当本部会議室

テ ー マ：「賃金改定にのぞむ労使のルールづくり」

講 師：(株)河合コンサルティング 代表取締役 河合 克彦

参加者数：23名

- I. 賃金決定時期に、労使で総額人件費管理について考えよう
- II. 『総額人件費』について整理する
- III. 活動ベースの付加価値とは
- IV. 総額人件費をどのように決めるか
- V. 総額人件費を労使で決定する方程式
- VI. 総額人件費の配分はこうすると良い
- VII. 付加価値経営計画の立て方
- VIII. 要員管理の算定方法
- IX. 要員の算定 マクロからのアプローチ 演習の解答と説明

ダイアログ型人事制度の設計と運用セミナー

概 要：会社と社員が共に成長して潜在能力を最大限発揮するための新しい人事制度の構築と運営ノウハウを探った。

月 日：9月4日

場 所：当本部会議室

テ ー マ：「対話によって経営戦略を浸透・展開させ、将来ありたい組織づくりに向けた人材育成・人事を実現する」

講 師：(株)グローセンパートナー 代表取締役 島森 俊央

参加者数：5名

1. 人事制度が変わると、経営・人材が変わる
2. ダイアログ(=対話)は、“会社と社員の成長エンジン”
3. これまでの人事制度はこうして変える。経営・人事はこう変わる
4. 演習

管理部門生産性向上セミナー

概 要：管理部門に売上・利益の概念を導入し、管理部門の生産性を測定する方法を探った。

月 日：11月11日

場 所：当本部会議室

テ ー マ：「管理部門が活性化すれば会社が強くなる」

講 師：(株)河合コンサルティング 代表取締役 河合 克彦

参加者数：7名

1. “見えない”管理部門の生産性を“見える”ようにする
2. 管理部門損益計算に必要なレートの算定
3. 管理部門 部門別損益計算
4. 部門業績評価制度
5. 個人業績評価制度
6. 処遇制度
7. 管理部門の部門別損益計算から処遇までの流れとその実際
8. 管理部門生産性向上システム
9. 生産性向上システム
10. 生産性向上システムの構築

労働法研究会

概要 要：労働基準法、労働契約法をはじめとする労働法全般の動向や、最新判例の解説を通じ、労務管理に関する実務上の課題の解決をはかると共に、合宿例会や、ケース検討など、様々な方法により知識の習得とリーガルマインドの醸成、情報交換、ネットワーク構築をはかった。

統一テーマ：「個別化する労使関係と法改正への対応」

～最新の判例・法令解説により、労使のトラブルを未然に防ぐ～

回数：定例会10回

会員数：43名

	月日・場所	内 容	
1回	6月20日 NCBスカイルーム	〈ケース検討〉「有期労働契約の終了に関する課題」 ～雇い止めタイプの多様化 同志社大学 法学部・法学研究科教授	(28名) 土田 道夫
2回	7月23日 NCBスカイルーム	〈ケース検討〉「パワーハラスメントをめぐる問題」 同志社大学 法学部・法学研究科准教授	(25名) 上田 達子
3回	8月1日～2日 エトピアささやま	『労働契約法・高年齢者雇用安定法の改正とそれに伴う実務上の課題』 〈講義〉「労働契約法・高年齢者雇用安定法の改正とそれに伴う実務上の課題」 同志社大学 法学部・法学研究科教授 〈事例紹介①〉「高年齢者雇用安定法の改正と定年延長」 〈ケース検討①〉「労働契約法の改正に伴うケース検討（有期労働契約を巡る問題）」 〈ケース検討②〉「高年齢者雇用安定法の改正に伴うケース検討（高齢者雇用を巡る問題）」 同志社大学大学院 司法研究科教授 同志社大学 法学部・法学研究科教授 (コーディネータ) 弁護士法人第一法律事務所 弁護士	(23名) 土田 道夫 西村健一郎 土田 道夫 山崎 武徳
4回	8月29日 当本部会議室	〈講義〉「整理解雇に関する最新の動向」 弁護士法人第一法律事務所 弁護士	(16名) 山崎 武徳
5回	9月26日 当本部会議室	〈事例紹介・ケース検討〉「従業員のSNS利用と企業の法的リスク管理」 フランテック法律事務所 弁護士 フランテック法律事務所 特定社会保険労務士 同志社大学 法学部・法学研究科教授	(18名) 金井 高志 毎熊 典子 土田 道夫
6回	10月31日 当本部会議室	〈ケース検討〉「賃金の減額を伴う労働条件の不利益変更」 関西外国語大学 英語キャリア学部准教授	(22名) 篠原 信貴
7回	11月13日 当本部会議室	〈講義〉「従業員に対する損害賠償・求償請求」 同志社大学大学院 司法研究科教授	(18名) 西村健一郎
8回	12月12日 当本部会議室	〈ケース検討〉「人事異動をめぐる新たな法的問題～出向中の法律関係を中心に～」 同志社大学 法学部・法学研究科教授	(21名) 土田 道夫
9回	1月16日 当本部会議室	〈解説・ケース検討〉「精神的不調者に対する懲戒・解雇」 同志社大学大学院 司法研究科教授 本田技研工業(株) 人事部安全衛生管理センター	(27名) 西村健一郎 小林 由佳
10回	2月13日 当本部会議室	「重要判例 この1年」 同志社大学大学院 司法研究科教授 同志社大学 法学部・法学研究科教授 (コーディネータ) 弁護士法人第一法律事務所 弁護士	(22名) 西村健一郎 土田 道夫 山崎 武徳

労働法基礎講座

概要 要：初めて労働法を学ぶ人事労務担当者・管理者、労働組合役員を対象に採用から退職までに関わる労使間の法律実務を、法律の解釈や改正動向、判例等具体的事例の解説を通じて体系的に学んだ。

月 日：第1回 6月5日・12日
第2回 11月6日・7日
場 所：第1回 当本部会議室
第2回 14階会議室
テ ー マ：「採用から退職までを体系的に学ぶ」
講 師：同志社大学大学院 司法研究科教授
参加者数：第1回 19名、第2回 30名

西村健一郎

1. 労働法を学ぶにあたって
2. 採用・退職に関する問題
3. 賃金に関する問題
4. 労働時間、休日、休暇に関する問題
5. 女性・年少者に関する問題
6. 非正規雇用労働者に関する問題
7. 労働災害と安全衛生に関する問題
8. 労働組合に関する問題

2014年版活用労働統計発表会

概 要：労使共通のマクロデータとして活用されている労働経済関係統計集『活用労働統計
2014年版－労使交渉の指標：生産性・賃金・物価関連統計－』の解説を行った。
月 日：1月28日
場 所：NCB スカイム
テ ー マ：「統計データから見る2014年労使交渉をめぐる課題」
講 師：社会総合研究所 主幹研究員（元関西学院大学 教授）
参加者数：総数53名（うち労働組合36名）

居樹 伸雄

「統計データから見る2014年労使交渉をめぐる課題」
～活用労働統計をもとに～
・はじめに～賃金統計を活用して
・賃金決定関連指標と統計データ
・賃金決定に関連する指標の動向
・定昇の見直し、賃金制度改革と雇用延長
・モデル賃金と賃金分析・賃金比較～賃金データをもとに
・おわりに～賃金データ活用の意義と留意点

労使交渉と統計活用特別セミナー

概 要：注目度が高まっている2014春闘を前に、社会経済環境を各種関連統計データで整理する
と共に、労使交渉に向けた基礎知識を解説した。
月 日：2月3日
場 所：当本部会議室
テ ー マ：「ベアと定昇の違い、各種統計と本年度のポイントを整理する」
講 師：社会総合研究所 主幹研究員（元関西学院大学 教授）
参加者数：33名

居樹 伸雄

1. 2013年の動きと2014年の展望
2. 統計調査の見方／使い方
3. 自社賃金の実態分析と賃金比較
4. ベースアップ・定昇の再点検
5. 賃金交渉に向けて

グローバル人材マネジメント講座

概 要：グローバル戦略に対応した人材の育成・登用から処遇制度の在り方などについて、様々
なケースにおける最新の事例情報を提供するとともに、参加者間で意見交換を行いな
がら、今後の対応について検討した。

統一テーマ：「多様化するグローバル戦略に対応した人材マネジメントを考える」

回数：定例会3回

会員数：17組織（30名）

	月日・場所	内 容
1回	1月30日 当本部会議室	『グローバル人材育成のためのコーチング入門講座』 (6名) ～グローバルビジネスに必要なリーダーシップ・マネジメント 力を養成する～ (一財)生涯学習開発事業団 認定コーチ 川住やすし
2回	2月6日 NCBスカイルーム (中止)	『外国人雇用を成功させるための採用、活用のポイント』 (名) グローバル人材戦略研究所 所長 (株)ジェイエーエス(Japan Active Solutions)代表取締役社長 小平 達也
3回	2月25日 当本部会議室	『海外勤務者の安全対策とリスクマネジメント』 (19名) ～社員と家族の安全の確保と事業継続への体制づくり～ (一社)日本在外企業協会 海外安全アドバイザー 古賀 賢次

アサーション・トレーニング講座

概要：自分も相手も大切にしたい自己表現（アサーション）の概要を説明するとともに、もともと心理療法として開発されたプログラムをビジネス向けに再構成し、実践に活かせるスキルとしを習得した。

月 日：7月17日・23日

場 所：当本部会議室

テ マ：人事・マネジメント・ビジネス現場で求められるアサーションスキルの向上

講 師：(株)日本・精神技術研究所 心理臨床・教育事業部取締役部長

八巻 甲一

参加者数：6名

1. 「アサーションとは」
 2. アサーション権
 - ①アサーティブに表現してもよいということを基本的人権の視点から確認する
 - ②相手にも同じように権利があるということを学ぶ
 3. 認知上のアサーション
 - ①自分のものの見方や考え方を確認する
 - ②自分のものの見方や考え方が自分の表現や行動、あるいは他者にどのように影響を与えているかに気付く
 4. 【聴く実習】「アサーティブな聴き方」
 - ①アサーションを豊かにするために聴くことを学ぶ
 - ②聴くことの難しさを知る
 5. 【付箋のワーク】「感情とアサーション」
 - ①自分の感情に気付く
 - ②自分の感情がどう表現されているかを確認する
 - ③感情の取り扱い方を学ぶ
- 【ふりかえりとまとめ】

IV. 人材育成

人材開発委員会

概要：革新をリードする経営幹部・中核人材育成を図る事業の推進と、その育成の方向について検討するとともに、産学が連携した次代の人材育成のあり方を探索、審議した。

委員長：ダイキン工業(株) 取締役兼副社長執行役員	川村群太郎
副委員長：大阪ガス(株) 取締役常務執行役員	川岸 隆彦
ダイハツ工業(株) 上級執行役員	入江 誠
パナソニック(株) 常務取締役	中川 能亨
	(2013年9月退任)
パナソニック(株) 常務役員	石井 純
	(2013年10月就任)
レンゴー(株) 代表取締役兼副社長執行役員	前田 盛明
大阪商業大学 総合経営学部教授	安室 憲一
流通科学大学 学長	石井 淳蔵
委員：(株)アシックス グローバル管理統括部人財開発部部长	石川 浩
(株)インダ 常務取締役	加藤 省悟
稲畑産業(株) 総務広報室長	舟木 正己
岩谷産業(株) 総務人事部部長 (大阪担当)	中畑 勝己
NTN 労働組合 中央執行委員長	江上 学
大阪府教職員組合 中央執行委員長	一ノ瀬英剛
(株)オージス総研 人事部長	宮村 昭彦
(株)大林組 執行役員大阪本店統括部長兼大阪本店総務部長	石丸 達郎
オムロン(株) 人財総務センタグローバル人財戦略部長	川崎 敦浩
	(2013年6月退任)
オムロン(株) 人財総務センタグローバル人財開発部長	久田 浩司
	(2013年7月就任)
(株)カネカ 執行役員人事部長	穂谷 文則
関西電力(株) 人材活性化室人事部長	北村仁一郎
	(2013年6月退任)
関西電力(株) 人材活性化室人事部長	宮本 信之
	(2013年7月就任)
関西熱化学(株) 常務取締役人事部長	樫尾 昭彦
甲南大学 経済学部教授キャリアセンター所長	上島 康弘
(株)国際協力銀行 西日本総代表	家田 嗣也
塩野義製薬(株) 人事部長	岸田 哲行
島津労働組合 組合長	生田 強史
積水ハウス(株) 人事部採用・育成グループ課長	飯岡 忠昭
全ダイハツ労働組合連合会 会長	松原 弘久
	(2013年11月退任)
ダイハツ労働組合 中央執行委員長	森 茂喜
	(2013年11月就任)
大日本スクリーン製造(株) 取締役	沖 勝登志
(株)大丸松坂屋百貨店 本社業務本部人事部部長	松田 弘一
太陽工業(株) 取締役執行役員経営企画室室長	荒木 秀文
(株)高島屋 総務本部人事部エリアマネジャー	谷口 貴之
(株)竹中工務店 執行役員人事室長	留目 寿幸
田辺三菱製薬労働組合 中央執行委員長	安原三紀子
帝人(株) 帝人グループ執行役員人事・総務本部長	早川 泰宏
(株)電通 取締役執行役員関西支社長	服部 一史
同志社大学大学院 ビジネス研究科教授	大久保 隆
東洋紡(株) 人事労政部長	白井 正勝
西日本電信電話(株) 人事部長	伊藤 正三
西日本旅客鉄道(株) 執行役員人事部長	今井 克己
日本生命保険(相) 取締役専務執行役員	小林 一生
日本ピラー工業(株) 総務人事部長	藤崎 和寛
	(2013年6月退任)
日本ピラー工業(株) 取締役専務執行役員総務人事部長	大岩 輝雄
	(2013年7月就任)
阪急電鉄(株) 専務取締役	野崎 光男
阪神電気鉄道(株) 常務取締役	秦 雅夫
日立造船(株) 執行役員総務・人事部長	森本 勝一
富士火災海上保険(株) 執行役員人事部長	西田 直樹

富士火災海上保険(株) 上席理事教育総合企画室長 (2013年6月退任)
高畑 英治

ボルグワーナー・モールステック・ジャパン(株) 代表取締役社長 (2013年7月就任)
松居 督雄

三井住友銀行 執行役員人事部長
夜久 敏和

三井住友信託銀行(株) 常務執行役員
八木 康行

三三菱東京UFJ銀行 人事部 (大阪) 副部長
渡辺 光郎

(2013年4月退任)
遠藤 泰樹

(2013年4月就任)
児玉 結介

三三菱東京UFJ銀行 人事部 (大阪) 副部長
兼リスク管理室長
中路 秀宏

ヤンマー(株) 取締役人事労政部長
根来 茂樹

三井りそな銀行 専務執行役員
連合大阪 副事務局長
佐伯 昭子

	月日・場所	議 案	
1回	11月11日 リーガロイヤルNCB	1. 当委員会 2013年度活動内容、所管事業の進捗報告 (30名) (1) 概要報告 ・『第35期経営幹部交流セミナー』 ・『KPCマネジメントスクール2013』 ・『第49期グローバルマインド養成基礎講座』 ・『第11回アジア・ビジネススクール』 ・『グローバルリーダー育成セミナー』 ・『第6期女性リーダー交流フォーラム』 ・『訪米組織開発調査団』 ・『関西キャリア教育支援協議会 (情熱教室)』 ・『インテリジェントアレー撰壇塾・専門セミナー』 他 (2) 意見交換 自己紹介、当委員会および当委員会所管事業への期待 2. 話題提供・意見交換 「新興国市場に向きあう日本企業の戦略」 当本部 評議員・当委員会副委員長 アジア・ビジネススクール指導講師、 大阪商業大学 総合経営学部教授 3. 夕食懇談会	安室 憲一
2回	2月28日 リーガロイヤルNCB	1. 審議 (26名) (1) 当委員会2013年度活動報告(案)、主要事業報告 (2) 当本部2014年度事業計画大綱(案) (3) 当委員会2014年度活動計画(案) 2. 『訪米組織開発調査団』実施報告・意見交換 「経営に資する強い組織を作る」 ～日本流“組織開発”の推進のため、私たちは何をなすべきか?～ 訪米組織開発調査団コーディネータ 南山大学 人文学部心理人間学科教授 3. 夕食懇談会	中村 和彦

内外のトップを囲む懇談会

概 要：政治、経済、社会、文化など様々な分野のリーダーとの懇談から時代の潮流をつかむと同時に、会員相互の啓発・交流を図る朝食・昼食形式の講演会。

回 数：32期定例会6回、33期 定例会4回

会 員 数：32期 34名、33期 30名

[32期]

	月日・場所	内 容	
5回	4月23日 リーガロイヤルホテル	「混迷を続ける欧州経済をいかにみるか」 ～日本のクレジット市場に与える影響を整理する～ BNP パリバ証券(株) 投資調査本部長	中空 麻奈 (20名)

6回	6月13日 リーガロイヤルホテル	「憲法改正を通じて国家の在り方を考える」 慶應義塾大学 法学部教授	(25名) 小林 節
7回	6月24日 リーガロイヤルホテル	「競争戦略としてのグローバルルール」 埼玉大学大学院 経済科学研究科客員教授	(20名) 藤井 敏彦
8回	7月17日 リーガロイヤルホテル	「人口減少時代の大都市経済」 政策研究大学院大学 名誉教授	(23名) 松谷 明彦
9回	8月6日 リーガロイヤルホテル	「世代間価値観の違いがもたらすもの」 ～「ワンピース世代」と「ガンダム世代」の攻防～ 百年コンサルティング(株) 代表取締役	(21名) 鈴木 貴博
10回	9月25日 リーガロイヤルホテル	「アベノミクスの真価」 ～日本経済の復活は可能か?～ 早稲田大学 政治経済学術院教授	(25名) 若田部昌澄

[33期]

	月日・場所	内 容	
1回	12月20日 リーガロイヤルホテル	「ビッグデータと企業経営」 (株)野村総合研究所 先端 IT イノベーション部上級研究員	(19名) 城田 真琴
2回	1月24日 リーガロイヤルホテル	「日本政治 2014年の展望」 政治評論家	(22名) 有馬 晴海
3回	2月26日 リーガロイヤルホテル	「2014年の日本経済・金融市場展望」 ～アベノミクスで日本経済は再生するか?～ (株)大和総研 経済調査部 チーフエコノミスト	(19名) 熊谷 亮丸
4回	3月14日 リーガロイヤルホテル	「中国経済はハードランディングするか」 (株)中国ビジネス研究所 代表 多摩大学大学院 客員教授	(22名) 沈 才彬

第35期 経営幹部交流セミナー

概要：経営幹部の自己確認と研鑽と人脈形成の場。基本テーマ、班別テーマ、個人テーマに関わる議論を深めることによって、見識、大局観等を磨いた。

統一テーマ：「社会と企業、持続的発展に向けた共通価値の創造」

班別テーマ A班：「プラスへの転換」～部分最適から全体最適へ～

B班：「栄枯盛衰に学ぶ」～「傾き」と「傾向」に学ぶことから社会と企業の

共

通価値の創造を考える～

C班：「明日はもっと良くなる」～しあわせの街“ニッポン”創造～

期間：7月4日～3月21日

団長：(株)阪急阪神ホテルズ 相談役

出崎 弘

回数：準備会、打合せ会・開講式、評価会・終講式、定例会12回（海外研修を含む）、特別例会2回、34日

参加者数：27名

	月日・場所	内 容
準備会	7月4日 ホテル阪急インターナショナル 春蘭門	オリエンテーション、自己紹介、所属委員会決定 夕食懇親会 団長・班長・委員長・幹事打合せ会
打合せ 開講式	7月11日 ホテル阪急インターナショナル	《打合せ会》 基本テーマについて、個人の問題意識の表明、班組織決定 《開講式》 参加者所信発表、PTAと夕食懇談会
1回	7月19日～20日 有馬グランドホテル	1. オリエンテーション 2. 班別討議（班別テーマの設定、欧州研修訪問国・都市の検討、国内研修内容の検討） 3. 夕食懇親会 4. 全体発表と討議（班別テーマと欧州・アジア研修訪問国・都市について）

		5. 委員会別打合せ、班討議	
2回	8月1日 NCB会議室「光」	1. オリエンテーション 2. 欧州研修について 3. 公式行事（欧州）の検討、国内研修内容の決定 4. 委員会打合せ	
3回	8月28日 サントリーホールディングス （株）大阪オフィス	1. オリエンテーション 2. 国内研修・欧州訪問スケジュールの情報共有 3. 欧州訪問国の基本情報共有化 4. アジア研修の訪問都市 行程確認 5. 委員会別 役割の確認と調整	
4回	9月4日 サントリー山崎蒸溜所	テーマ研究Ⅰ「栄枯盛衰に学ぶ」 1. 工場見学 2. 海外研修にむけた打合せ、連絡事項等 3. 講演 「Scotland an Introduction」 スコットランド国際開発庁 日本駐在代表 博士 スコットランド国際開発庁 シニア・カウンシル・エグゼクティブ （質疑応答） 4. ウィスキー製造工程ならびにテースティング・試飲	スティーブン・ バカー 金谷 保恒
5回	9月12日 関西電力（株） 大飯原子力発電所 敦賀港 ホテルジグタ福井	テーマ研究Ⅱ「プラスへの転換」～部分最適から全体最適へ 1. 講演・見学 関西電力（株） 大飯原子力発電所 副所長 2. 講演・見学 敦賀港国際ターミナル 代表取締役社長 3. 講演 「プラスへの転換～幸福度No.1『福井県』の取組みに学ぶ」 福井県 副知事 福井県 総合政策部部長	谷 大智 木村廣ノ進 杉本 達治 東村 健治
6回	9月25日 （株）カネ 大阪本社 会議室	1. 欧州研修の日程閣員、注意事項説明 2. 委員会打合せと報告 3. アジア研修の訪問先について	
7回海外研 修①	10月3日～13日	《第35期経営幹部交流セミナー欧州研修の欄参照》	
8回	11月6日 住商建物（株） 大阪支社内 会議室	欧州研修総括・中間総括 1. オリエンテーション 2. 記録委員会連絡（報告書、写真について） 3. プログラム委員会報告（アジア研修について） 4. 班別討議 ①欧州研修の評価 ②班別テーマについて中間総括（これまでの国内・欧州研修を通じて学んだこと） ③今後の方針および国内研修（豊岡）、アジア研修に臨むに当たっての各班の課題 ④アジア研修各班担当公式行事案 5. 全体討議（各班別発表、アジア研修に関する全体討議） 6. 委員会討議および連絡 7. 次回案内 C班から豊岡研修の案内	
9回	12月4日～5日 豊岡 こうのとり郷公園 コウノトリ文化館 お宿「まる屋」	テーマ研究Ⅲ『明日はもっと良くなる』 ～しあわせな街“ニッポン”創造～ 1. アジア研修全体行程説明 2. 視察 こうのとり郷公園・コウノトリ文化館 3. 講演 「コウノトリと共に生きる～豊岡の挑戦～」 豊岡市長 4. 班別討議 アジア研修訪問先概要テーマ共有打合せ	中貝 宗治
10回	1月15日 オムロン（株） ラーニングセンター内議 室コミュニケーションプラザ	1. 施設見学 オムロン・コミュニケーションプラザ見学 2. アジア研修の日程確認、注意事項説明 3. 委員会別打合せと報告	
11回海外研	1月21日～26日	《第35期経営幹部交流セミナーアジア研修の欄参照》	

修②		
12回	2月12日 西日本旅客鉄道(株) 本社 会議室	1. オリエンテーション 2. 委員会別討議 プログラム委員会：終講式進行、MEST活動等について 記録委員会：報告書作成等について 交流委員会：団長謝恩会、記念グッズ等について 3. 各委員会からの連絡 4. アジア研修フォトコンテスト 5. 班別討議 アジア研修の評価と全体を通じた総合評価 報告書作成、終講式発表準備 6. 班別発表 7. まとめ
評価会 終講式	3月4日 ホテル阪神	《評価会》 セミナーの構成・運営などについて 《終講式》参加者派遣企業のトップを招いて
特別	3月20日～21日 賢島 宝生苑	団長謝恩会

欧州研修（スコットランド・イタリア・フランス）

月日・訪問地名	内 容
10月3日 関空・フランクフルト ・エジンバラ	フランクフルト経由)
10月4日 グラスゴー・アイラ島 エジンバラ	(バスにてグラスゴーへ) (空路およびフェリーにてアイラ島へ) 公式行事①ボウモア蒸溜所 公式行事②アイラ島ジャーナル エディターのレクチャー
10月5日 エジンバラ	市内視察 キヤノンゲート教会アダムスミス墓碑視察 他 (空路にてグラスゴー経由エジンバラへ) (空路にてロンドン経由ミラノ)
10月6日 ミラノ	市内視察 グラツィエ 他
10月7日 ミラノ	公式行事③ミラノ市役所 公式行事④エーリ・プロシュッティ社
10月8日 ミラノ	(ミラノ鉄道italolにてフィレンツェへ) 公式行事⑤ウフィッツィ美術館 市内視察 (ミラノ鉄道italolにてミラノへ)
10月9日 パリ	(空路パリへ) 市内視察
10月10日 パリ	公式行事⑥ヴェオリア・エンバイロメント社 公式行事⑦パリ・イル・ド・フランス商工会議所、日仏経済交流委員会
10月11日 パリ	市内視察
10月12日 パリ	市内視察 (空路フランクフルト経由関空へ)
10月13日 大阪	

アジア研修（シンガポール・カンボジア）

月日・訪問地名	内 容
1月21日 大阪・ホーチン シンガポール	(ホーチミンより乗り継ぎ)
1月22日 シンガポール	公式行事①SMBCシンガポール支店
1月23日 シンガポール	公式行事②URA(シンガポール都市開発庁) 公式行事③ワールドドリフトセントーサ 公式行事④EDB(シンガポール経済開発庁)

1月24日 シンガポール シエムリアップ	公式行事⑤日本国政府アンコール遺跡救助チーム アンコール・トム修復現場視察 プノンバケン丘視察 アンコールワット視察 トンレサップ湖視察
1月25日 シエムリアップ ホチミン	
1月26日 ホチミン・大阪	

関西経営幹部交流懇談会（MEST）

概要：経営幹部交流セミナー修了者の同窓会組織として、関西企業の経営幹部層が企業の枠を越えて相互研鑽と交流を行い、経営幹部としての資質の涵養に資した。

回数：総会・合同ゴルフ会・各期定例会 191回 204日

会員数：794名

会合名	月日・場所	内 容	
会員総会 (32期担当)	4月19日 シェルトン都ホテル大阪	・諸般報告 1. 第34期経営幹部交流セミナーの報告、同メンバー紹介 2. 第35期同セミナーについて 3. 2013年度会員状況と幹事 4. 規約・運営細則について ・議案審議 1. 2012年度活動報告ならびに収支決算(案)承認に関する件 2. 2013年度活動計画ならびに収支予算(案)決定に関する件	(65名)
合同ゴルフ会 (33・34期担当)	8月24日 飛鳥カントリー倶楽部 11月2日 関西カントリークラブ	優勝：濱田 薫 (31期 クボタ) 期対抗優勝：26期チーム (中止)	(31名)
1期	7月5日 12月6日	昼食懇談会 北瑞苑 昼食懇談会 北瑞苑	(8名) (8名)
2期	10月30日 2月21日	昼食懇談会 聘陳楼ヒルトンプラザ店 あべのハルカス見学・昼食懇談会	(6名) (4名)
5期	11月28日 4月24日	今話題の“近大まぐろ”を楽しむ会 近畿大学水産研究所 春の食事会神戸酒心館 蔵の料亭「さかばやし」	(15名) (13名)
6期	5月20日 11月28日 12月11日 1月22日	奈良・薬師寺や薬膳料理を楽しむ会 京都・紅葉と蕎麦を楽しむ会 有志による忘年会 ダイミック キッチン&バー 燦ヒルトンプラザウエスト店 新年会 加賀屋大阪梅田店	(7名) (9名) (6名) (10名)
7期	5月26日 11月6日 2月19日	〔三水会〕 阪神甲子園球場「阪神vs日本ハム」観戦 灘の酒蔵・神戸酒心館見学 新年会 関西文化サロン	(8名) (7名) (11名)
8期	5月20日 10月25日→12月6日 1月29日	初夏、舟運復活！淀川歴史探訪の旅 大阪・上町台地ウォークと夕食懇談会 春帆楼阿倍野店 新年会 関西文化サロン	(9名) (5名) (6名)
9期	①6月7日 ②9月6日 ③12月13日 ④3月7日	〔一金会〕大阪ガス備後町クラブ 忘年会	(5名) (5名) (8名) (5名)
10期	5月22日 7月24日 11月26日 3月24日	摂津峡のハイキング&温泉を楽しむ会 貴船の川床を楽しむ会 「柚子の里」ハイキング&「つじの屋」 納会 ダイミック キッチン&バー 燦ヒルトンプラザウエスト店	(9名) (11名) (9名) (14名)

11期	①5月8日 ②7月10日 ③9月11日 ④11月13日 ⑤3月12日 8月15日～16日 1月15日	[ニ水会] 住友ビル地下1階特別食堂 阿波踊り観覧と大塚国際美術館観賞を楽しむ2日間 講演会「農薬と食と放射能汚染-食べる健康リスクについて考える-」 農学博士(大塚化学(株)技術顧問) 梅津憲治 氏 新年会 心齋橋 湖月	(15名) (12名) (12名) (11名) (11名) (16名) (16名)
12期	5月11日 7月27日 10月26日 中止 12月12日	都度飯会① 日本料理「光林坊 北浜店」 都度飯会② 月亭 本町店 都度飯会③ 日本料理「光林坊 北浜店」 都度酔会①(忘年会) ル・ポンドシエル	(11名) (14名) (名) (18名)
13期	6月14日 10月11日 11月20日 1月24日	関西初出店「ラ・フェットひらまつ」での昼食会 「グランフロント大阪」見学会・夕食懇談会 京都「紅葉」見学会・昼食会 住友有芳園、六盛他 新年会・田村団長を偲ぶ会 住友クラブ	(11名) (12名) (8名) (12名)
14期	5月13日 11月21日 1月29日	春の例会・講演会 京町堀クラブ ゴルフ会(瀬田ゴルフコース) 新年会(大阪倶楽部)	(24名) (11名) (12名)
15期	4月17日 5月15日 11月17日～18日 2月11日	春の集い 津田団長の講話・ランチ 新阪急ホテル ゴルフ懇親会 有馬富士CC 秋の旅行 箱根・富士屋ホテル他 新年会 阪急ターミナルスクエア	(19名) (8名) (26名) (25名)
16期	4月24日 10月29日～30日	慈雲院にて講話と坐禅、阿じろ、妙心寺、退蔵院、仁和寺 暖流、西条蔵元めぐり、きのえ温泉ホテル清風館、白竜湖カントリークラブ、竹原町並み保存地区散策	(7名) (10名)
17期	5月24日 6月19日 7月17日 9月1日 9月14日 10月5日 11月13日 12月18日 2月7日 3月19日	中之島懇話会 八かく庵 大阪ステーションシティサウスゲートビルディング店 中之島懇話会 旬魚 旬菜 咲くら 中之島懇話会 美酒旬菜 小ぼけ 淀屋橋店 落語鑑賞会 桂南光 独演会(国立文楽劇場) 高野山散策 奥の院、金剛峰寺、霊宝館 懇親ゴルフ会 飛鳥カンツリー倶楽部 中之島懇話会 美酒旬菜 小ぼけ 淀屋橋店 中之島懇話会・忘年会 美酒旬菜 小ぼけ 淀屋橋店 新年会 ガーデンシティ クラブ大阪「スバルの間」 中之島懇話会 美酒旬菜 小ぼけ 淀屋橋店	(6名) (8名) (9名) (16名) (16名) (4名) (7名) (8名) (15名) (5名)
18期	①5月15日 ②8月21日 ③12月18日 ④3月12日 9月18日 中止 7月30日 1月23日	[三水会] ダイニング&バー「さがん」 ダイニング&バー「さがん」 忘年会 ガーデンシティクラブ大阪 ダイニング&バー「さがん」 懇親ゴルフ会 瀬田ゴルフコース 東京会 蕎麦たじま 東京会新年会 鎌倉松原庵樺	(8名) (6名) (9名) (7名) (名) (6名) (7名)
19期	4月25日 7月15日 10月17日 12月10日	文楽を楽しむ会 国立文楽劇場 阪神甲子園球場「阪神vs巨人」観戦 懇親ゴルフ会 センチュリー三木ゴルフ倶楽部 神戸ルミナリエを見て忘年会 西村屋	(11名) (10名) (7名) (13名)
20期	9月14日 9月20日・21日 11月22日・23日 3月20日	懇親ゴルフ会 キングスロードゴルフクラブ 東京会 夕食懇談会 響丸の内店、ゴルフ会 東京バーディクラブ 忘年会 美々卯三越伊勢丹店 懇親ゴルフ会 大阪ゴルフクラブ ニ木会 関西文化サロン	(6名) (8名) (9名) (6名) (7名)
21期	5月29日 7月23日 9月15日 1月16日	阪神甲子園球場「阪神vs楽天」観戦 がんこ高瀬川二条苑の川床での納涼夕食会 貴賓室からの阪神競馬観戦 阪神競馬場 新年会 がんこ阪急東通り店	(8名) (9名) (21名) (7名)

22期	7月6日 10月26日～27日 1月25日	ゴルフ会 よみうりカントリークラブ (8名) 伊勢志摩視察 ホテルアルティア鳥羽、内宮、おはらい町、おかげ横丁、外宮、せんぐう館、鳥羽水族館 (9名) 新年会 大阪ガス備後町クラブ (15名)
23期	4月12日 ①5月10日 ②6月14日 ③7月12日 ④9月13日 ⑤10月11日 ⑥11月8日 ⑦12月13日 ⑧1月10日 ⑨2月14日 ⑩3月14日 ①5月17日 ②8月23日 ③11月22日 ④2月21日 11月9～10日	甲子園会館、Atelier NS (7名) 〔2金会〕 シーフアー (7名) (6名) (5名) (5名) (6名) 河久 (8名) (5名) 大阪ガスビル食堂 (7名) (6名) 〔3金会〕 とろ函 アメヤ横町店 (6名) 響 品川店 (6名) 國廣 芝大前店 (5名) 源 (7名) 東海・中京視察旅行 ミツバビジテック博物館、とこなめ焼卸団地、豊浜魚ひろば、観光船乗船、伊良湖岬灯台・恋路ヶ浜 (9名)
24期	5月25日 11月23日～24日 1月31日	京都例会 南禅寺、怡園 (8名) 浜松例会 グラントエッジ浜名湖、グランディ浜名湖ゴルフクラブ (7名) 新年会 建仁寺、Abats奥村 (11名)
25期	5月8日 5月25日 7月10日 8月8日 11月30日 1月30日	二水会兼幹事交代会 (5名) 阪神甲子園球場「阪神vs日本ハム」観戦 (34期と合同) (8名) 二水会 心屋2号店 (7名) 二木会 のりを本町本店 (4名) 10周年行事 (有馬ビューホテル) (11名) 新年会 ホテル阪急インターナショナル (16名)
26期	4月20日 5月18日 6月28日 7月26日 8月23日 9月27日 10月25日 12月6日～7日 1月17日 2月28日 3月26日	ゴルフ会 宝塚ゴルフクラブ (7名) 阪神甲子園球場「阪神VSソフトバンク」観戦 (5名) ホテル阪神「花座」 (10名) 近大水産研究所 (11名) 団長を偲ぶ会 築地寿司清 (16名) 「糖朝」なんばダイニングメゾン店 (10名) やせうまだんご汁 (8名) 北陸研修会 レンゴー金津製紙工場、グランディア芳泉、東尋坊、永平寺、一乗谷朝倉氏遺跡 (16名) 新年会 ホテルグランヴィア大阪 (11名) モンスレー (8名) マルビル トップサーティ (8名)
27期	5月27日 7月14日・15日 10月12日 11月27日 1月27日 3月4日	海遊館、一平 (13名) 鳥取研修旅行 ダイキンアレス青谷、サントリー大山工場、倉吉、砂丘の美術館 (14名) 懇親ゴルフ会 芦屋カントリー倶楽部 (8名) 忘年会 花くじら歩店 (14名) ビルボードライブ大阪、リッツカールトン大阪 (14名) あべのハルカス見学例会 (11名)
28期	4月18日 8月22日 12月19日 1月16日	鉄板屋 欣 (12名) 東京例会 銀座 水響亭 (9名) 松下真々庵、大阪新阪急ホテル (12名) 東京新年会 新橋 ぜん (10名)
29期	4月11日 5月16日 6月5日 6月29日 8月24日	阪神甲子園球場「阪神vs巨人」観戦 (5名) 宮崎浩行・雅子様ご結婚お祝いの会 (12名) あべのハルカス見学会 (10名) 吉川カントリー倶楽部 (12名) ダイキン工業淀川製作所盆踊り大会 (5名)

	9月7日～8日 9月19日 11月19日 ①6月5日 ②9月19日 ③10月21日 ④11月19日 ⑤12月6日 ⑥2月7日	長野・山梨方面研修旅行 カントリー-白州蒸溜所、富の丘ワイナリー (15名) ミュージカル「レ・ミゼラブル」鑑賞会 (9名) 天満天神繁昌亭落語鑑賞会 (8名) 〔不朽会〕 飛田新地 百番 (10名) フェスティバル&ビアホール (9名) 麻布十番「富麗華」(東京例会) (8名) バルセロナ (8名) RESTRANT Twin 21 (14名) 北新地湯木 新店 (13名)
30期	5月17日 8月24日 9月27日～29日 12月6日～7日 2月14日 2月14日 2月15日 (中止) ①6月7日 ②7月30日 ③10月30日 ④3月28日 ①1月16日 ②3月10日	サントリー山崎蒸溜所見学 (8名) ゴルフ会 花吉野カントリークラブ (14名) 研修旅行 別府方面 (8名) 伊勢神宮参拝 (7名) 近鉄浜島カントリークラブ (8名) 年次総会 志摩観光ホテル・クラシック (12名) 真々庵見学 (8名) 新年会 ウェスティン都ホテル京都 (10名) ゴルフ会 城陽カントリー倶楽部 (名) 〔さんまる会〕住友クラブ 〔江戸の会〕 梅の花 銀座並木通り店 (4名) 下関春帆楼 (8名)
31期	4月11日 6月7日 8月21日～22日 9月19日 11月1日 11月23日 12月13日 4月5日 5月10日 6月7日 7月26日 9月19日 11月1日 12月13日 1月10日 2月14日 3月7日	阪神甲子園球場「阪神vs巨人」観戦 (4名) 宝塚歌劇鑑賞会 星組公演「ロミオとジュリエット」 (8名) 研修旅行 陸上自衛隊総合火力演習見学 (16名) ミュージカル「レ・ミゼラブル」鑑賞会 (11名) サントリー山崎蒸溜所見学会 (14名) 伊勢神宮参拝 (10名) 天満天神繁昌亭落語鑑賞会 (8名) 〔最高会〕 サントリーローヤルクラブ (11名) サントリーウィスキーハウス (11名) 六つ車 (10名) ガーデンシティクラブ大阪 (13名) フェスティバル&ビアホール (11名) 居酒屋「花雷」 (11名) テン (10名) 和牛懐石 但馬屋 梅田 (14名) Bar SPORTS 運慶 (10名) ガーデンシティクラブ大阪 (14名)
32期	6月29日 7月19日 9月8日 12月20日 1月24日 2月23日 3月8日 ①4月26日 ②5月24日 ③6月28日 ④8月23日 ⑤10月25日 ⑥11月22日 ⑦3月28日	〔アドリア会〕 ゴルフ会 ダンロップゴルフコース (7名) 大阪ガス ガス科学館+あべのハルカス見学会 (12名) 宝塚歌劇観劇&甲子園観戦 (14名) 忘年会 宮川町 喜久屋 (13名) 新年会 大阪ガスビル食堂 (11名) 北陸研修旅行 (9名) ゴルフ会 ダンロップゴルフコース (7名) 〔月例会〕ガーデンシティクラブ大阪 (5名) (8名) (4名) (6名) (5名) (4名) (6名)

33期	①5月1日 ②8月22日 ③6月15日 10月12日 ④12月6日～7日 ⑤2月7日	〔燦々会〕 阪神甲子園球場「阪神vs広島」観戦 (20名) ハイアットリージェンシー大阪(屋上ガーデン ペルゴラ) (19名) 第6回ゴルフ会 六甲カントリー倶楽部 (10名) 拡大兵庫会(アール・ヴァレンティエーノ三宮) (15名) 忘年会 榎原ロイヤルホテル (14名) 第7回ゴルフ会 シプレカントリークラブ 半日観光 喜多酒造(株)見学、石舞台古墳、飛鳥寺、萩王 活動報告会 ルポンドシエル (21名)
34期	①5月17日 ②6月25日 ③7月19日 ④7月25日 ④10月20日 ⑤1月17日 ⑥3月22日～23日	〔粒子会〕 東西名作美術観賞会(大丸心齋橋店)、桃谷楼 (12名) 宝塚歌劇に見る日本の強み研究 (宝塚歌劇、宝塚ホテル) (18名) 鱧の会(大阪ガス備後町クラブ) (10名) 天神祭船渡御 (17名) 秋期ゴルフ大会 名神八日市カントリー倶楽部 (20名) 新年会 曽根崎新地「エクウス」 (13名) 島根・鳥取視察研修(出雲大社、ダイキンアレス青谷、) 旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部) (17名)

KPCマネジメントスクール2013(全体)

概 要：次代の経営を担う中核人材育成の場として、より深くより高い視点から、短期・長期の複眼で課題をとらえ、解決のための戦略を立案し、課題解決のリーダーシップを発揮する、企業変革組推進するマネジャーの育成を目的として開催した。

期 間：7月18日～12月17日

実施コース：経営戦略コース
 経営人事イノベーションコース
 マーケティングコース
 技術・イノベーションマネジメントコース

学 長：流通科学大学 学長

石井 淳蔵

(全コース共通)

	月日・場所	内 容	
1回	7月18日 リーカポパルNCB	《開講式・合同セッション①》 〈学長挨拶〉 KPCマネジメントスクール 学長(流通科学大学 学長) 〈合同セッション①〉 「テーマ別基礎講座(経営戦略、人事、マーケティング、技術・イノベーション)」 甲南大学 特別客員教授 大阪経済大学 客員教授 大阪大学大学院 経済学研究科教授 神戸大学大学院 経営学研究科教授 東京工業大学 特任教授 「ファイナンス基礎講座」 神戸大学大学院 経営学研究科 〈コースオリエンテーション〉	(71名) 石井 淳蔵 加護野忠男 関口 倫紀 栗木 契 古田 健二 砂川 伸幸
2回	10月11日 NCBスカイルーム	《合同セッション②》 〈第1部：講義・ディスカッション(ビデオケース)〉 講義・ディスカッション 「ダイキン・ヨーロッパ社のサービス・イノベーション」 神戸大学 経済経営研究所教授 ・ビデオケーススタディ ・ディスカッション・ディスカッション内容の発表 《第2部：合同ディスカッション》 ・合同ディスカッションⅠ(経営戦略) ・合同ディスカッションⅡ(人事) ・合同ディスカッションⅢ(マーケティング) ・合同ディスカッションⅣ(技術・イノベーション) (株)Kairos 代表取締役	(51名) 伊藤 宗彦 長友 隆司

		近畿大学 経営学部教授 大阪大学大学院 経済学研究科教授 流通科学大学 総合政策学部教授 東京工業大学 特任教授 神戸大学 経済経営研究所教授 ・グループ研究内容について発表・質疑応答、意見交換 ≪第3部：懇親会≫	松山 一紀 関口 倫紀 高室 裕史 古田 健二 伊藤 宗彦
3回	12月17日 NCBスカイルーム	≪閉講式≫ ≪挨拶≫ KPCマネジメントスクール 学長（流通科学大学 学長） ≪修了証書授与≫ ≪成果報告会≫ 経営戦略コース 経営人事イノベーションコース マーケティングコース 技術・イノベーションマネジメントコース ≪パーティ≫	(80名) 石井 淳蔵

〈PTA会〉

	月日・場所	内 容	
1回	7月18日 当本部会議室	1. 挨拶 2. 自己紹介 3. 諸般報告（事務局） 3. 意見交換 4. その他ご連絡（事務局）	(24名)

KPCマネジメントスクール「経営戦略コース」

概 要：中期経営戦略の策定・実行という側面から「戦略と戦術」を検討することを通じて、変革を実行する経営幹部層に必要なスキルとスピリットを学んだ。

期 間：7月18日～12月17日

コーディネータ：甲南大学 特別客員教授 大阪経済大学 客員教授
 (株)HANDY 代表取締役
 (株)Kairos 代表取締役
 和歌山大学 経済学部教授

加護野忠男
 西口 泰夫
 長友 隆司
 吉村 典久

回 数：定例会15回、インタビュー調査8回

参加者数：10名

	月日・場所	内 容	
1回	7月18日 リーガロイヤルNCB	≪開講式・合同セッション①≫ [全コース共通講座の欄参照]	
2回 3回	8月2日～3日 クロスウェブ 梅田	講義「仮説—検証プロセス」 (株)Kairos 代表取締役 受講生発表「我が社・我が事業部の課題」 講義「経営戦略入門」 「ケース：SAS（スカンジナビア航空）真実の瞬間」 甲南大学 特別客員教授 大阪経済大学 客員教授 グループ編成・グループ研究（研究テーマの深堀、仮説の設定）	長友 隆司 加護野忠男
4回 5回	9月6日～7日 当本部会議室	グループ研究 各グループより研究概要・課題認識を発表 「顧客満足向上の意義と重要性」（講義・討議） J. D. Power Asia Pacific 代表取締役社長 研究概要・課題認識を発表 「組織・人の持つ力を結集するには」 ～企業の収益性改善のための新たな技術経営に視点を置いて～ (株)HANDY 代表取締役 全体討議 各グループの研究テーマを意識した全体討議	鈴木 郁 西口 泰夫

6回 7回	9月20日～21日 当本部会議室	各グループより研究概要・課題認識を発表 講義・ケーススタディ 「経営計画と財務計画～経営トップが見るべき数字は何か～」 「投資戦略（投資・M&A等の意思決定）」 神戸大学大学院 経営学研究科教授 ミニ講義 和歌山大学 経済学部長・教授 講義「生産財マーケティングの基礎」 ケーススタディ「TOTOのビジネスモデル改革」 ～B to B to Cモデルへの模索～ 神戸大学大学院 経営学研究科教授	砂川 伸幸 吉村 典久 高嶋 克義
8回	10月11日 NCBカイルーム	《合同セッション②》 [全コース共通講座の欄参照]	
9回 10回	10月18日～19日 当本部会議室	中間発表会 ケーススタディ「ディスコ」 （株）Kairos 代表取締役 グループ研究	長友 隆司
インタ ビュー	10月29日 ブラザー工業(株)	生活密着委員会チームインタビュー調査 元 ブラザー工業(株) 常務取締役	橋本 一男
インタ ビュー	11月1日 九州旅客鉄道(株)	生活密着委員会チームインタビュー調査 九州旅客鉄道(株) 取締役総務部長 九州旅客鉄道(株) 総合企画本部経営企画部長	古宮 洋二 松下 琢磨
インタ ビュー	11月7日 シスメックス(株)	B2Bチームインタビュー調査 シスメックス(株) 事業戦略本部副本部長	金川 晃久
インタ ビュー	11月7日 両備ホールディングス(株)	生活密着委員会チームインタビュー調査 両備ホールディングス(株) 代表取締役会長（CEO）	小嶋 光信
11回	11月8日 当本部会議室	グループ研究 インタビュー実施報告（進め方のPDCA）、グループ研究状況報告 （株）Kairos 代表取締役	長友 隆司
インタ ビュー	11月14日 セーレン(株)	B2Bチームインタビュー調査 セーレン(株) 経営企画部部長国内関連企業部部長	富沢 健
インタ ビュー	11月25日 三浦工業(株)	B2Bチームインタビュー調査 三浦工業(株) 執行役員中部・近畿事業本部本部長 三浦工業(株) 大阪支店支店長	武知 教之 鈴木 康介
12回	11月22日 当本部会議室	グループ研究 プレ発表会① （株）Kairos 代表取締役	長友 隆司
13回	11月29日 当本部会議室	グループ研究 プレ発表会② 甲南大学 特別客員教授 大阪経済大学 客員教授 （株）Kairos 代表取締役	加護野忠男 長友 隆司
14回	12月7日 当本部会議室	グループ研究成果発表会 「B to B グループ」発表 質疑応答・討論 「B to C グループ」発表 質疑応答・討論 甲南大学 特別客員教授 大阪経済大学 客員教授 （株）Kairos 代表取締役 和歌山大学 経済学部長・教授 [経営研究会と合同]	(総数 24名) 加護野忠男 長友 隆司 吉村 典久
15回	12月17日 リーガロイヤルNCB	〈閉講式〉 [全コース共通講座の欄参照]	
インタ ビュー	12月25日 新田ゼラチン(株)	B2Bチームインタビュー調査 新田ゼラチン(株) 経営企画部長	山下 栄一
インタ ビュー	1月22日 （株）ディスコ	B2Bチームインタビュー調査 （株）ディスコ 広島事業所広島総務部総務グループリーダー （株）ディスコ 広島事業所総務グループ桑畑総務チームリーダー	川崎 光彦 小新田 智

KPCマネジメントスクール「経営人事イノベーションコース」

概要 要：人事部門のミドルマネージャが、組織戦略と人的資源管理の双方を理解し、それらを組織内で実践し続ける力を修得することを目指し、理論解説とケーススタディを行うと共に、新しい『人事部』の姿について仮説検証方式による検討を行った。

期間：7月18日～12月17日

コーディネータ：近畿大学 経営学部教授
大阪大学大学院 経済学研究科教授

松山 一紀
関口 倫紀

回数：定例会14回、インタビュー調査7回

参加者数：10名

	月日・場所	内 容	
1回	7月18日 リーガロイヤルNCB	〈開講式・合同セッション①〉 [全コース共通講座の欄参照]	
2回 3回	7月28日～29日 ホテルコスモスクエア国際 交流センター	(オリエンテーション) 〈自社課題の報告〉「自社の経営戦略と人事戦略、克服すべき課題」 〈理論解説とディスカッション〉「人事部門の役割」 法政大学大学院 教授 〈意見交換会(懇親会)〉 〈グループ編成と研究テーマの設定〉 (グループ研究) 一次仮説の設定と研究スケジュール策定	藤村 博之
4回	8月7日 NCB 会議室「光」	(講義)「経営戦略と組織」 神戸大学大学院 経営学研究科教授 (グループディスカッション) (発表と全体討議) (グループ研究)	平野 光俊
5回	8月28日 当本部会議室	(オリエンテーション) (グループ研究) 〈ライブケース〉「採用戦略と能力開発」 コトマーケティング(株) マーケティング本部経営管理部人材グループ 課長 〈ディスカッション〉「採用戦略と能力開発」	重 実隆
特別	9月5日～ 9月6日 オムロン(株) オムロン京都太陽(株) 京ハルズプラザ京都	(オリエンテーション・自己紹介) (見学) オムロン・コミュニケーションプラザ 〈講演・意見交換〉「オムロンの推進するグローバル人材戦略」 オムロン(株) 人財総務センタグローバル人財戦略部長 (ディスカッション) オムロン(株)人事担当者と参加者とのディスカッション (見学) オムロン京都太陽(株) (ワークショップ) 東京・関西双方のテーマに関して [経営アカデミー 人材マネジメントコースと合同]	(総数33名) 川崎 敦浩
6回	9月11日 当本部会議室	(オリエンテーション) 〈ライブケース〉「経営戦略と組織」 (株)JFRオフィスサポート 社長付スタッフ 〈グループ討論〉「経営戦略と組織」 (受講ポートフォリオの記入と発表) 〈グループ研究〉	中山 敬介
7回	9月30日 NCB 会議室「光」	(オリエンテーション) (理論解説とディスカッション) 「組織開発概論～組織開発と人事の役割～」 南山大学 人文学部心理人間学科教授 (グループ研究) グループ討議と討議内容の発表	中村 和彦
8回	10月4日 NCB 会議室「光」	(オリエンテーション) (グループ研究) 〈ライブケース〉「組織風土と企業文化」 (株)QVCジャパン 採用ディレクター (ディスカッション) (グループ研究) グループ討議と討議内容の発表	鈴木 雅則
9回	10月11日 NCB スカイルーム	《合同セッション②》 [全コース共通講座の欄参照]	
インタビュー	10月16日	イノベーションリーダーチーム インタビュー調査	

インタビュー	花王(株)	花王(株) 人材開発部門人材開発部長	松井 明雄
インタビュー	10月17日 帝人(株)	イノベーションリーダーチーム インタビュー調査 帝人(株) 人材開発・総務部人材開発グループ長	武井 衛
インタビュー	10月22日 日東電工(株)	イノベーションリーダーチーム インタビュー調査 日東電工(株) 経営統括部門人材統括部 日東電工(株) 経営統括部門人材統括部グローバル人事センター長 日東電工(株) 経営統括部門人材統括部 グローバル人事センター人事グループ長 日東電工(株) 経営統括部門人材統括部 グローバル教育センター企画グループ長	中島登志雄 秋山 千也 鈴木 智保 藤原
	(株)小松製作所	(株)小松製作所 大阪工場管理部副部長 (株)小松製作所 大阪工場総務部総務課長 (株)小松製作所 大阪工場総務部総務課 チームJAPANインタビュー調査	原田 高野 阿南 朋寿
	(株)ワコール	(株)ワコール 人事総務本部人事部人材開発一課課長	藤井 太郎
インタビュー	10月23日 (株)レナウン	チームJAPANインタビュー調査 (株)レナウン 管理統括部人事部人材開発課	安本 寿仁
10回	10月25日～	(オリエンテーション)	
11回	10月26日 クロスウェブ 梅田	〈グループ研究〉 〈グループ研究中間発表〉	
インタビュー	10月28日 (株)ワールド	チームJAPANインタビュー調査 (株)ワールド グループ人事統括部副統括部長	川畑 秀一
12回	11月12日 当本部会議室	(オリエンテーション) (グループ研究) (成果発表会準備)	
13回	11月27日 当本部会議室 NCB スカイルーム	(オリエンテーション) 〈グループ研究〉 成果発表会準備 〈成果発表会〉 「成果発表会にあたって ～報告会の趣旨と議論の経過～」 近畿大学 経営学部教授 (グループ研究発表) 「日本企業の挑戦、イノベーションを起こす人組織づくり」 ～社員の心に火をつけるには～ (グループ研究発表) 「イノベーションを組織的に起こすリーダーを生む仕組み・風土とは」 (コーディネータ総括) 「これからの人事部に求められるもの」 近畿大学 経営学部教授 [人事労務研究会・人材開発研究会と合同]	(総数25名) 松山 一紀 松山 一紀
14回	12月17日 リーガロイヤルNCB	〈閉講式〉 [全コース共通講座の欄参照]	

KPCマネジメントスクール「マーケティングコース」

概 要：マーケティング理論を整理するとともに、営業部門の抱える今日的な課題を深く見つめる中で、環境変化の本質を見抜く洞察力を身につけ、顧客との新しい関係を構築できる中核人材を育成した。

期 間：7月18日～12月17日

コーディネータ：流通科学大学 学長
(公財)日本生産性本部 主任経営コンサルタント
神戸大学 大学院経営学研究科 教授
流通科学大学 総合政策学部教授

石井 淳蔵
太田 昌宏
栗木 契
高室 裕史

回 数：定例会15回、インタビュー調査12回

参加者数：10名

	月日・場所	内 容
1回	7月18日 リーガロイヤルNCB	〈開講式・合同セッション①〉 [全コース共通講座の欄参照]

2回 3回	8月2日～3日 当本部会議室	事業変革ミニプロジェクト コンセプト・シナジー(株) 代表取締役 コーディネータによる確認面談 講義：「マーケティング・マネジメントの基本」 全体討議・演習「気づきシートでアイデアを練り上げる」 全体討議・ケース・スタディ「ハイチオールC」	高杉 康成 栗木 契 太田 昌宏 高室 裕史
4回	8月8日 当本部会議室	講義：「プロモーションの有効活用」 神戸大学大学院 経営学研究科教授 ライブ・ケーススタディ： 「ライフネット生命のマーケティング戦略」 ライフネット生命保険(株) マーケティング部部長代行 まとめ(受講ポートフォリオシートの記入) グループ研究(ケースリサーチ)	栗木 契 辻 靖
5回	8月22日 当本部会議室	講義：「ブランド・マネジメント」 事前課題の意見交換：「横河電機IA事業の躍進」 ライブ・ケーススタディ②：講話「BtoBブランディングへの挑戦」 マーケティングコンサルタント(元博報堂 コンサルティング) ライブ・ケーススタディ②：講師への質問 ライブ・ケーススタディ②：振り返りとグループディスカッション グループ研究面談	本庄加代子
6回 7回	9月13～14日 当本部会議室	ビデオケースによるディスカッション 文献精読個人発表 講話：「マーケティング研究の最前線～私のフィールドワークをもとに～」 大阪経済大学 経営学部講師 グループ研究、グループ編成 グループ研究 リサーチデザインの検討	松田 温郎
8回	9月24日 当本部会議室	グループ研究②：「リサーチデザインの検討」 グループ研究②：「テーマに基づく理論体系の学習」	
9回	10月7日 当本部会議室	グループ研究③：中間報告「リサーチデザインの発表」 グループ研究③：「文献調査と分析」	
10回	10月11日 NCB スカイルム	《合同セッション②》 [全コース共通講座の欄参照]	
インタ ビュー	10月21日 (株)タニタ	Bグループインタビュー調査 (株)タニタ ブランディング推進室室長 (株)タニタ ブランディング推進室課長	猪野 正浩 山本 耕三
インタ ビュー	10月28日 富士フイルム(株) アキレス(株)	Cグループインタビュー調査 富士フイルム(株) ライフサイエンス事業部商品グループ R&D統轄本部医薬品・ヘルスケア研究所 統括マネージャー アキレス(株) シューズ事業部事業企画本部マーチャンダイズ室 副本部長兼室長 アキレス(株) 広報部広報課	中村 善貞 津端 裕 千田 彰一
11回	10月29日 当本部会議室	グループ研究④：中間報告「リサーチデザインの発表」 グループ研究④：「文献調査と分析」	
12回	11月12日 当本部会議室	グループ研究⑤：中間報告「リサーチデザインの発表」 グループ研究⑤：「文献調査と分析」	
インタ ビュー	11月12日 ハーゲンダッツジャパン(株) 味の素(株)	Aグループインタビュー調査 ハーゲンダッツジャパン(株) マーケティング本部企画グループ ハーゲンダッツジャパン(株) マーケティング本部 カテゴリーグループ 味の素(株) 広告部広告企画グループ主任	田子 薫 栗田 暁子 風間 大輔
13回	11月26日 当本部会議室	グループ研究⑥：中間報告「リサーチデザインの発表」 グループ研究⑥：「文献調査と分析」	
14回	12月6日 当本部会議室	グループ研究⑦：発表会準備 (成果発表会) 講話：「マーケティングコースの趣旨説明」 流通科学大学 学長 (グループ研究発表) Aグループ	(総数25名) 石井 淳蔵

		『成熟市場における顧客理解～顧客を動かす「心のスイッチ」～』 Bグループ 『企業価値向上に向けたタニタのソーシャルコミュニケーション 愚直な現場が会社を変える～偶然を味方に～』 Cグループ 『製品ライフサイクルの衰退期を経験した企業が何をしたか？ ～6つの壁～』 複合リサーチの最終発表、講評、振り返り [営業・マーケティング研究会と合同]
15回	12月17日 リーガロイヤルNCB	〈閉講式・成果報告会〉 [全コース共通講座の欄参照]

KPCマネジメントスクール「技術・イノベーションマネジメントコース」

概要：「新規技術・新商品を創造するR&Dマネジャーへの変革」を行うために、技術・イノベーションの基本的な考え方や、代表的企業の成功例と失敗例を学び、異業種間の経験交流とディスカッションを重ね、各社にとって有益な技術経営、新規技術、新商品開発のあり方を探った。

期間：7月18日～12月17日

コーディネータ：東京工業大学 特任教授

技術経営コンサルタント

神戸大学 経済経営研究所教授

神戸大学大学院 経営学研究科教授

古田 健二

坂口 嘉平

伊藤 宗彦

原 拓志

回数：定例会16回、グループインタビュー3回

参加者数：13名

	月日・場所	内 容	
1回	7月18日 リーガロイヤルNCB	〈開講式・合同セッション①〉 [全コース共通講座の欄参照]	
2回 3回	8月2日～3日 当本部会議室	〈問題意識の交換〉 〈コーディネータ・講義①・討議〉 「研究開発マネジメントの実際」 担当：古田コーディネータ 〈コーディネータ・講義②〉 「仮説検証の方法」 担当：伊藤コーディネータ 〈コーディネータ・講義③・討議〉 「人材マネジメント」 担当：坂口コーディネータ 〈コーディネータ・講義④・討議〉 「技術・製品戦略：価値創造と価値獲得」 担当：伊藤コーディネータ	
4回 5回	8月23日～24日 当本部会議室	〈コーディネータ・講義⑤・討議〉 「開発プロセスマネジメント」 担当：原コーディネータ 〈当コース前年度グループ研究成果発表・意見交換会〉 進行：伊藤コーディネータ 「ビジネスモデルの変革」 ～更なる利益創出機会を与える有効なアプローチとは～ 発表者：2012年度当コースCグループ 〈コースOBとの意見交換会〉 レンゴー(株) 中央研究所新素材研究グループ 部長(2007年度修了) 杉山 公寿 オムロン(株) 技術・知財本部技術開発セクタ参与(2000年度修了) 川出 雅人 〈特別講義〉堀越二郎と零戦 担当：伊藤コーディネータ 「風立ちぬ」鑑賞 〈グループ研究〉	
6回	9月6日 当本部会議室	〈ケーススタディ①〉 「R&Dマネジメントと研究開発・マーケティングの融合」 日東電工(株) 品質・環境・安全統括部門 化学物質管理統括室 六車 忠裕 〈グループ研究〉	

7回 8回	9月20日～9月21日 当本部会議室 NCB スカイルーム	〈グループ研究〉 〈ケーススタディ②〉 「値段から価値への転換、創造する人と組織を考える」 [「技術経営」交流研究会と合同] 〈グループ研究〉	
9回	10月11日 NCB スカイルーム	《合同セッション②》 [全コース共通講座の欄参照]	
10回 11回	10月18日～19日 当本部会議室	〈グループ研究成果 中間報告会〉 〈グループ研究〉	
12回	11月8日 当本部会議室	〈グループ研究・グループヒアリング〉 A グループインタビュー調査 日東電工(株) 品質・環境・安全統括部門化学物質管理統括室	六車 忠裕
インタビュー ビュー	11月21日 (株)カネカ	B グループインタビュー調査 (株)カネカ 医療器事業部技術統括部長	三木 章伍
インタビュー ビュー	11月25日 三浦工業(株) TOTOウォッシュレットテクノ(株)	A グループインタビュー調査 三浦工業(株) 執行役員中部・近畿事業本部本部長 C グループインタビュー「TOTO ウォッシュレットテクノ」 TOTO ウォッシュレットテクノ(株) 代表取締役社長	武知 教之 林 良祐
インタビュー ビュー	11月26日 ヤンマーエネルギーシステム(株)	A グループインタビュー調査 ヤンマーエネルギーシステム(株) 常務取締役品証部長 ヤンマーエネルギーシステム(株) 発電システム営業部長	松尾 秀樹 尾形 宏伸
13回 14回	11月29日～30日 当本部会議室 不二製油(株) マツダ(株) シスメックス(株)	グループ研究 Cグループインタビュー調査 不二製油(株) 研究開発本部研究戦略室室長 不二製油(株) 研究開発本部研究戦略室全社研究管理グループ リーダー 不二製油(株) 研究開発本部研究戦略室調査研究グループ リーダー 不二製油(株) 研究開発本部研究戦略室経営企画本部経営企画部 B グループインタビュー マツダ(株) 執行役員パワートレイン開発本部長 A グループインタビュー調査 シスメックス(株) 研究開発企画本部 R&D 推進部長	古田 均 山田 和寿 吉田 隆治 沢田 純子 人見 光夫 出町 隆史
インタビュー ビュー	12月2日 大和ハウス工業(株)	B グループインタビュー調査 大和ハウス工業(株) 農業事業推進室室長兼 総合技術研究所研究支援センター長	吉村 守
インタビュー ビュー	12月4日 大和ハウス工業(株)	B グループインタビュー調査 大和ハウス工業(株) 本社営業本部ヒューマン・ケア事業推進部理事	田中 一正
インタビュー ビュー	12月5日 大塚製薬(株) 日東電工(株)	B グループインタビュー調査 大塚製薬(株) 徳島本部生産本部製品技術第二研究所所長 Cグループインタビュー調査 日東電工(株) 取締役常務執行役員	福田 哲夫 表 利彦
補講	12月7日 当本部会議室	〈グループ研究成果発表 予行演習・グループワーク〉	
15回	12月14日 当本部会議室 NCB 会議室「緑」	〈実践決意表明〉 《グループ研究の成果発表会》 〈グループ研究成果発表、質疑応答・意見交換〉 〈特別ケーススタディ・ディスカッション〉 「価値創造・価値獲得を果たすイノベーション創出」 進行：伊藤コーディネータ 〈コーディネータ総括コメント〉 [「技術経営」交流研究会と合同]	(総数54名)
16回	12月17日 リーガロイヤル NCB	〈閉講式・成果報告会〉 [全コース共通講座の欄参照]	

KPCマネジメントスクールフォローアップ研修

概 要：KPCマネジメントスクールの修了生を対象に、スクール修了後の問題解決の継続的な取り組みや、異業種の人的ネットワークの形成・深化を図った。

修了生：946名

	月日・場所	内 容
全体フォローアップ	4月19日 シェアソンホテル大阪	《関西生産性大会2013》 [関西生産性大会2013の欄参照]
経営戦略コース 2013年度フォローアップ	1月14日 2月4日	ダイキン工業(株) 滋賀製作所見学、懇親会 (8名) 阪神電気鉄道(株) 教習所・運転指令室見学、懇親会 (8名)
2012年度フォローアップ	4月14日 6月6日 8月9日 12月13日	ゴルフ会・情報交換会 (6名) NTTドコモ(株)、西日本電信電話(株)施設見学・懇親会 (5名) 情報交換会 (5名) 情報交換会 (7名)
2011年度フォローアップ	5月25日	ゴルフ会・情報交換会 (7名)
2010年度フォローアップ	6月30日	情報交換会 (5名)
2009年度フォローアップ	1月23日	情報交換会 (5名)
2008年度フォローアップ	9月11日 1月21日	情報交換会 (10名) 情報交換会 (11名)
2003年度フォローアップ	2月18日	情報交換会 (4名)
2000年度フォローアップ	1月20日	情報交換会 (8名)
合同フォローアップ	12月7日	《「KPCマネジメントスクール2013」経営戦略コース グループ研究成果発表会》 [上記コースの欄参照]
経営人事イノベーションコース 合同フォローアップ	2月6日	合同OB会 (25名) (話題提供) 「日本の人事、この20年～私が人事マンに伝えてきたこと～」 法政大学経営大学院 教授 藤村 博之 (進行) 人事教育コンサルタント 中嶋 哲夫 (コーディネータ) 近畿大学 経営学部教授 松山 一紀 大阪大学大学院 経済学研究科教授 関口 倫紀
営業・マーケティングコース 2003年度フォローアップ	6月7日	講演「リテール・マネジメントの重要性」 (8名) 流通科学大学 商学部教授 清水 信年 全体討議・意見交換 情報交換会
1999～2012年度合同フォローアップ	12月6日	《「KPCマネジメントスクール2013」マーケティングコース 成果発表会》 (2名) [上記コースの欄参照]
技術・イノベーションマネジメントコース 合同フォローアップ	12月14日	《「KPCマネジメントスクール2013」技術・イノベーション マネジメントコース グループ研究成果発表会》 (22名) [上記コースの欄参照]

第49期 グローバルマインド養成講座

概 要：英文経済誌Business Weekの記事を題材に、最新の国際情報の収集、英語力の養成、経営知識の習得と相互の交流を図った。

期 間：11月5日～3月18日

インストラクター：大阪大学 教授

(公財)関西生産性本部 人材開発部プログラムディレクター

森岡 裕一

富士野裕之

回 数：10回

参加者数：19名

	月日・場所	内 容
1回	11月5日 当本部会議室	「ファシリテーション」
2回	11月19日 当本部会議室	「激動の世界経済」
3回	11月26日 リーガロイヤルNCB	「グローバル競争時代の経営戦略」
4回	12月10日 当本部会議室	「アジア新戦略 成長アジアの果実をつかむ」
5回	1月14日 当本部会議室	「新興国に宝の山は眠っているのか」
6回	1月28日 当本部会議室	「製造業の世界的潮流と、ものづくり大国・日本の戦い」
7回	2月12日 中之島インテス	「あすの日本 縮小する市場に立ち向かう」
8回	2月25日 当本部会議室	「成長を描くための組織と戦略」
9回	3月11日 当本部会議室	「グローバルマインドの輪郭」
10回	3月18日 当本部会議室	「世界—日本—自社—自分の視座」

第11回 アジア・ビジネススクール

概 要：アジアでの競争に打ち勝つ優れたビジネスリーダーの育成を目的とし、様々な環境変化を敏感に察知し、自ら新たなビジネスフィールドを開拓して、企業の成長に転化する能力の醸成を図った。

月 日：前期日程（国内研修）8月27日～29日、後期日程（海外研修）9月9日～15日

参 加 者：35名

主 催：アジア・ビジネススクール運営協議会

後 援：大阪商工会議所・京都商工会議所・神戸商工会議所

会長兼スクール長：（公財）関西生産性本部 会長（レンゴー(株) 代表取締役社長）

大坪 清

顧 問：（公財）関西経済連合会 国際委員会委員長（交流担当）

（株）大林組 代表取締役会長）

大林 剛郎

ダイキン工業(株) 会長兼CEO

井上 礼之

指 導 教 授：大阪商業大学 総合経営学部教授

安室 憲一

中京大学 経営学部准教授

永石 信

前期日程（国内研修）

月日・場所	内 容	
8月26日 ホテルコスモスクエア国際交流 センター	〈開講式・オリエンテーション〉 主催者挨拶 アジア・ビジネススクール運営協議会 事務局長 （（公財）関西生産性本部 専務理事・事務局長） アジア・ビジネススクールの狙いとカリキュラム概要 アジア・ビジネススクール 主任指導教授 （大阪商業大学 総合経営学部教授） 受講生自己紹介 〈チームビルディング〉 〈レクチャー・ディスカッション〉 「グローバルビジネスの鍵を開く」 ～アメリカのビジネスとビジネスピープルを知る～ GLOBALEX 社長・エグゼクティブコーチ 〈ゲスト講演〉 「KUMONの海外展開の取り組み」	小宅 誠司 安室 憲一 村治 孝浩

	(株)公文教育研究会 経営管理室室長 (交流会)	中村 洋
8月27日 ホテルコスモスクエア国際交流センター	〈レクチャー〉 「グローバル・マーケティング企業のビジネスモデル」 ～新興国市場に向きあう日本企業の戦略～ アジア・ビジネススクール 主任指導教授 (大阪商業大学 総合経営学部教授) 〈後期渡航のご案内〉 「アジア・ビジネススクールでの事業計画策定について」 ～評価基準の解説～ アジア・ビジネススクール 指導教授 (中京大学 経営学部准教授) 〈事業計画策定のためのグループワーク〉	安室 憲一 永石 信
8月28日 ホテルコスモスクエア国際交流センター	〈事業計画策定のためのグループワーク〉 〈事業計画、バンコクでの調査項目発表〉	

後期日程 (海外研修)

月日・訪問地名	内 容	
9月8日 大阪・東京・中部 バンコク	〈バンコクへ移動 スワンナプーム空港〉	
9月9日 バンコク	〈企業視察〉ダイキンインダストリーズタイランド ダイキンインダストリーズタイランド 取締役 〈タイ ウォークラリー (グループ毎)〉 〈交流会〉	築山 吉徳
9月10日 バンコク	〈バンコク市内での調査活動〉	
9月11日 バンコク	〈事業計画策定作業〉	
9月12日 バンコク	〈事業計画発表会 (グループプレゼンテーション)〉 〈修了式〉 国際経済労働研究所 (交流会)	水原 和美
9月13日 バンコク	〈バンコク市内視察〉 自由行動 (会社訪問等) 帰国	
9月14日 大阪・東京・中部	帰国	

第11回アジア・ビジネススクール実施報告会・フォローアップ会

概 要：第1回～11回の修了生および運営協議会幹事、第11回受講生派遣責任者・担当者を対象に、第11回アジア・ビジネススクールの事業計画 最優秀のグループによる事業計画の報告と懇親会を開催した。

月 日：10月23日

参 加 者：55名

月日・場所	内 容	
10月23日 リーガロイヤルNCB	〈第11回アジア・ビジネススクール事業計画策定 最優秀グループ発表会〉 挨拶 アジア・ビジネススクール 運営協議会幹事兼座長 (レンゴー(株) 取締役兼常務執行役員) 指導教授による今回のABS全体・グループワーク概要紹介 アジア・ビジネススクール 主任指導教授 (大阪商業大学 総合経営学部教授)	三部 廣美 安室 憲一

	アジア・ビジネススクール 指導教授 (中京大学 経営学部准教授) 第11回アジア・ビジネススクール事業計画策定 最優秀グループ発表 (懇親パーティ)	永石 信
--	--	------

「訪米組織開発調査団」

概要：産業構造や人事管理の変化、個人の価値観の多様化やダイバーシティマネジメントの推進、M&Aによる企業文化の融合などを背景に、“組織開発の必要性が再認識されつつある。”組織開発“先進国である米国を訪問しその本質と最新の事例を学ぶと共に、日本における”組織開発“の意義や必要性を調査し提言した。

期間：6月21日～12月24日

団長：大阪ガス都市開発(株) 取締役会長

黒田 晶志

コーディネータ：神戸大学 社会科学系教育研究府長・神戸大学大学院 経営学研究科教授

金井 壽宏

南山大学 人文学部心理人間学科教授

中村 和彦

回数：15日

参加者数：18名

<海外調査>

期間：8月18日～8月26日

訪問都市：ワシントン、ニューヨーク、サンフランシスコ

月日・訪問地名	内 容
8月18日 大阪・東京・中部 ニューヨーク	団長主催夕食会
8月19日 ニューヨーク ワシントン	公式行事①GE (ゼネラル・エレクトリック社) ジョン・F・ウェルチ・リーダーシップ 研究所訪問
8月20日 ワシントン	公式行事②NTL Institute 訪問
8月21日 ワシントン	【中間総括】 公式行事③Johns Hopkins University訪問
8月22日 サンフランシスコ	市内視察 (ワシントン市内)
8月23日 サンフランシスコ	公式行事④エドガー・シャイン先生とのセッション 市内視察 (サンフランシスコ市内)
8月23日 サンフランシスコ	公式行事⑤ヒューレット・パカード社訪問
8月24日 サンフランシスコ	公式行事⑥スタンフォード大学訪問 【全体総括】 市内視察 (サンフランシスコ市内)
8月25日・26日 サンフランシスコ 大阪・東京・中部	

事前・事後日程

月日・場所	内 容
6月21日 当本部会議室 ホテルNCB	1. 主催者・団長・コーディネータ挨拶、団員自己紹介 2. オリエンテーション 3. 旅行社紹介と留意事項など 4. 夕食懇親会
7月7日～8日 クロスエブ 梅田	1. 講義 「“組織開発”とは何か①～全体像を理解する～」 南山大学 人文学部心理人間学科教授 中村 和彦 「GEにおける“組織開発”の実践」 日本GE(株) 人事部人事オペレーションリーダー 木下 達夫 「外資系企業における“組織開発”と人事管理～GEとグーグルの経験から」 元グーグル(株) 人事部人材開発マネージャー 鈴木 雅則

	2. 対話形式による全体討論 (聞き手) 神戸大学 社会科学系教育研究府長 神戸大学大学院 経営学研究科教授 3. コーディネータ総括 4. 担当班の決定 5. ワークショップ (ファシリテーター) 南山大学 人文学部心理人間学科教授 6. 全体振り返り「組織開発」とは何か②～様々な働きかけ～ 7. 班別打合せ	金井 壽宏 中村 和彦
8月2日 NCB会議室 中之島プラザ	1. 事例検討「グローバル企業における組織開発の実際②」 「マイクロソフトにおける“組織開発”の実践」 日本マイクロソフト(株) 人事本部ビジネスパートナーグループ 部長 日本マイクロソフト(株) 人事本部組織・人材開発グループ マネージャー 2. 訪問先に関する情報共有 等 (各担当班よる発表討議、全体発表) 3. 壮行会	高橋 英人 奥田 裕子
9月11日 NCB会議室「光」	1. 班別討議 2. 全体報告・意見交換	
10月28日 当本部会議室	1. 報告書構成、報告・提言内容、報告会について意見交換 2. 企業事例紹介「ダイキン工業における『人を基軸に置いた経営』」 ダイキン工業(株) 取締役兼副社長執行役員 3. 総括	川村群太郎
12月24日 大阪国際会議場	《訪米組織開発調査団報告会》 [訪米組織開発調査団報告会の欄参照]	(総数154名)

訪米組織開発調査団報告会

概要：「訪米組織開発調査団報告会」の成果についての報告と提言を行った。

月 日：12月24日

場 所：大阪国際会議場

テーマ：「経営に資する強い組織を作る」

～日本流“組織開発”の推進のため、私たちは何をなすべきか？～

参加者数：154名

【団長挨拶】 訪米組織開発調査団 団長 (大阪ガス都市開発(株) 取締役会長)	黒田 晶志
【報告会開催にあたって】 「組織開発 (OD) とは何か」 訪米組織開発調査団 コーディネータ (南山大学 人文学部心理人間学科教授)	中村 和彦
【調査団派遣概要説明】 【提言及び現地調査報告】 ・提言 「経営に資する強い組織を作るには」～日本流“組織開発”の推進に向けて～ ・現地調査報告 [米国企業] GE クロトンビル (ゼネラル・エレクトリック社ジョン・F・ウェル地・リーダーシップ 研究所) HP (ヒューレット・パカード社) [学術機関及び大学] NTL Institute、ジョンズ・ホプキンス大学、スタンフォード大学 [特別講演 (現地) 報告] マサチューセッツ工科大学 名誉教授 エドガー・シャイン氏 (ビデオメッセージ有) (コーディネータ) 訪米組織開発調査団 コーディネータ (神戸大学 社会科学系教育研究府長 神戸大学大学院 経営学研究科教授)	金井 壽宏
【団員所感～私のOD宣言～】 【総括】 「日本流“組織開発”をいかに推進していくのか」 [労働組合研究会、労使政策研究会と合同]	金井 壽宏

人材開発研究会

概要：先進的な人材開発事例と最新のHRM理論・ワークショップを通じて、企業に求められる人材育成のあり方と育成施策について研究し、自組織で活用できる情報を提供した。また例会終了後には情報交換会を開催、ネットワークの構築と情報交換も行った。

コーディネータ：兵庫県立大学 政策科学研究所所長

開本 浩矢

統一テーマ：「人を育てる組織・人が育つ組織～人材育成のあり方と育成施策～」

回数：定例会10回、特別例会2回

参加者数：39名

	月日・場所	内 容	
1回	6月21日 中之島インテス	基調講演「女性の活躍の場の拡大と人材育成」 東京大学大学院 情報学環教授(兼務 社会科学研究所)	(31名) 佐藤 博樹
2回	7月29日 中之島インテス	「社員のキャリア開発支援」 事例紹介①「リコーにおけるキャリア開発支援への取り組み」 ～育成面談、キャリアデザイン研修により自律的成長を促す～ (株)リコー 人事本部グローバルHRセンターHRディベロップメントグループリーダー	(27名) 加藤 直子
3回	8月30日 中之島インテス	「グローバル人材の育成 (1)」 事例紹介②「バルティスファーマ生産本部におけるグローバル人材の育成」 ノバルティスファーマ(株) 生産本部担当人事責任者	(21名) 山田 浩三
4回	9月25日 中之島インテス	「グローバル人材の育成 (2)」 事例紹介③「LIXILにおけるグローバルリーダーの戦略的育成」 (株)LIXIL 人材開発部長	(20名) 上田 彰
特別	10月10日 帝国ホテル大阪	《ロジスティクス研究会第7回例会》 [ロジスティクス研究会の欄参照]	
5回	10月28日 中之島インテス	「人事プロフェッショナルの育成」 琉球大学 観光産業科学部産業経営学科准教授 和歌山大学 経済学部准教授	(13名) 井川 浩輔 厨子 直之
6回	11月12日 中之島インテス	「中堅社員の育成」 事例紹介④「住友商事における中堅社員育成への取り組み」 ～“自ら学びとる成長機会”への意識変革を促す～ 住友商事(株) 人事部人材開発チーム長兼国際人事チーム長	(16名) 西條 浩史
特別	11月27日 当本部会議室	《KPCマネジメントスクール経営人事イノベーションコース成果発表会》 [KPCマネジメントスクール経営人事イノベーションコースの欄参照]	
7回	12月16日 NCBカナルーム	「APPRECIATE INQUIRYを活用した組織開発実践ワーク」 大阪府立大学 経済学部教授	(13名) 北居 明
8回	1月24日 NCBカナルーム	「これからの自律的キャリアを考える」 福島大学 経済経営学類准教授	(13名) 櫻田 涼子
9回	2月17日 当本部会議室	「事例から学ぶリーダーシップ」 関西大学 商学部准教授	(12名) 小野 善生
10回	3月20日 当本部会議室	「女性社員の活躍推進」 事例紹介⑤「大成建設における女性活躍支援への取り組み」 大成建設(株) 人事部人材いきいき推進室長	(16名) 塩入 徹弥

厚生労働省ビジネス・キャリア検定認定講座（通信講座）

概要：これからのスペシャリスト時代に必要とされる職務の専門性の開発をねらいに、通信教育を職務別に開講した。

開催分野：人事・人材開発・労務管理分野、経理・財務管理分野、経営戦略分野、経営情報システム分野、営業・マーケティング分野、生産管理分野

受講者：5社46名

「通信講座」 《人事・人材開発・労務管理分野》 人事・人材開発2級コース 人事・人材開発3級コース 労務管理2級コース	(1社2名) (1社8名) (2社5名)
---	----------------------------

労務管理3級コース	(1社8名)
総務3級コース	(1社1名)
営業3級コース	(2社3名)
《生産管理分野》	
生産管理プランニング（製品企画・設計管理）2級コース	(1社1名)
生産管理プランニング（生産システム・生産計画）2級コース	(1社3名)
生産管理プランニング3級	(1社1名)
生産管理オペレーション（作業・工程・設備管理）2級コース	(1社4名)
生産管理オペレーション3級	(1社5名)
《企業法務・総務分野》	
企業法務3級	(1社2名)
《経理情報システム》	
経営情報システム（情報化活用）2級	(1社3名)

インテリジェントアレー撰壇塾

概要：ビジネス界で活躍する、撰りすぐりの講師を壇上に招聘し、実務に役立つ戦略と理論を学びながら、知の交流と創発を図った。

回数：定例会21回
 主催：(公社)関西経済連合会
 会員数：9397名

【前期】

	月日・場所	内 容	
1回	6月27日 常翔学園 大阪センター	「株式会社で世界から飢餓と貧困を撲滅する」～安全な食を世界に～ (株)ゼンショーホールディングス 代表取締役会長兼社長兼CEO	(47名) 小川賢太郎
2回	7月1日 常翔学園 大阪センター	「最新のトレンドから掴むビジネスチャンス」 ～これから、何が売れるのか？誰が買うのか？～ (有)インフィニティ 代表取締役	(79名) 牛窪 恵
3回	7月5日 常翔学園 大阪センター	「マーケティング戦略の最前線」 ～“デジタルマーケティング時代”を勝ち抜くために～ ネットイヤーグループ(株) 代表取締役社長兼CEO	(53名) 石黒不二代
4回	7月11日 常翔学園 大阪センター	「グローバル時代を勝ち抜く上で必要な力とは」 元米国弁護士／前大阪府立和泉高等学校校長／ 大阪府教育委員会 教育長	(84名) 中原 徹
5回	7月12日 常翔学園 大阪センター	「ものづくり企業が目指すべき「価値づくり」とは」 一橋大学 イノベーション研究センター センター長・教授	(62名) 延岡健太郎
6回	7月19日 常翔学園 大阪センター	「激動の時代のリーダーシップ：ミッション経営」 リーダーシップコンサルティング代表 元スターバックスコーヒージャパン(株) CEO	(153名) 岩田 松雄
7回	7月22日 常翔学園 大阪センター	「お客様の声を活かした商品開発と、事業成功への熱い思い」 ～人気品薄スナック“ベジップス”誕生～ カルビー(株) マーケティング本部ベジップスチームブランドマネージャー	(77名) 柚木 英明
8回	8月23日 常翔学園 大阪センター	「夢と冒険、今 リーダーに求められる力」 (株)モンベル 代表取締役会長兼CEO	(99名) 辰野 勇
9回	8月28日 常翔学園 大阪センター	「オンリーワン高付加価値ビジネスのつくり方」 コンセプト・シナジー(株) 代表取締役	(63名) 高杉 康成
10回	8月29日 常翔学園 大阪センター	「“ラストバンカー”の仕事人生」 (株)三井住友銀行 名誉顧問	(126名) 西川 善文

【後期】

	月日・場所	内 容	
1回	11月18日 常翔学園 大阪センター	「Hurdleを越える」 ～「侍ハードラー」の生き様からビジネスパーソンが学ぶべきこと～ 元プロ陸上選手	(107名) 為末 大
2回	11月29日 常翔学園 大阪センター	「グローバル競争時代に必要な戦略シフト」 ～日本企業が今すぐやるべきこと～ 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科教授	(64名) 石倉 洋子
3回	12月16日 常翔学園 大阪センター	「ジョハリの窓、人間関係が良くなる『マインドの法則』」 メンタルトレーナー	(122名) 久瑠あさ美
4回	12月17日 常翔学園 大阪センター	「人生がときめく片づけの魔法セミナー」 片づけコンサルタント	(141名) 近藤麻理恵
5回	1月7日 常翔学園 大阪センター	「強い経済が強い日本をつくる」 ～ビジネスパーソンは経済リテラシーを高めよ！～ 経済評論家 中小企業診断士	(89名) 三橋 貴明
6回	1月10日 常翔学園 大阪センター	「企業の未来を拓く発想転換」 シンクタンク・ソフィアバンク 代表	(85名) 藤沢 久美
7回	1月30日 常翔学園 大阪センター	「今さら聞けない！ビジネスパーソンへの作法、マナー講座」 マナーコンサルタント・美道家	(64名) 西出ひろ子
8回	2月20日 常翔学園 大阪センター	「売れないものを売るズラシの手法」 (株)TMオフィス 代表取締役	(81名) 殿村 美樹
9回	2月24日 常翔学園 大阪センター	「これからの働き方」 (株)パソナグループ 代表取締役グループ代表	(77名) 南部 靖之
10回	2月28日 常翔学園 大阪センター	「世界と一緒に輝く」 ～エシカルジュエリーブランドHASUNAの仕事 (株)HASUNA 代表取締役兼チーフデザイナー	(46名) 白木 夏子
11回	3月13日 常翔学園 大阪センター	「これからのビジネスに必要な『探求思考』とは」 神戸情報大学院大学 学長	(55名) 炭谷 俊樹

教育研修用視聴覚・ビデオ販売

概要：人事・労務・新入社員・管理者教育および安全管理・建設安全に関するビデオの販売を行った。
販売本数：3社4本

入社前研修（通信教育）

概要：内定者に対して、新入社員教育やその後の「教育・育成」の下地になる基礎的な部分にフォーカスしたメール添削指導による通信教育を行った。

統一テーマ：内定者の「意識力」と「考える力」を養成する

講師：(株)企画力総合研究所 代表取締役

梶川 修

期間：2013年10月～2014年3月

回数：通信教育10回

参加者数：15名

	月日・場所	内 容	
1回	10月中旬 通信講座	オリエンテーション	(15名)
2回	11月上旬	社会人（組織人）に求められる最も大切なこと	(15名)

	通信講座		
3回	11月下旬 当本部会議室	「基本の基本」を理解し人間関係を築く	(15名)
4回	12月上旬 通信講座	感謝の気持ちと3つの意識力・課題発見力	(15名)
5回	12月下旬 通信講座	4つの「思考方法(手法)」と考え抜く力・課題解決力 その①	(15名)
6回	1月上旬 通信講座	4つの「思考方法(手法)」と考え抜く力・課題解決力 その②	(15名)
7回	1月下旬 通信講座	仕事とは何か、仕事力を身につけるためには何が必要か その①	(15名)
8回	2月上旬 通信講座	仕事とは何か、仕事力を身につけるためには何が必要か その②	(15名)
9回	2月下旬 通信講座	「組織と人材」の関係を理解し自分の役割を認識する	(15名)
10回	3月下旬 通信講座	成長し続ける「人材」に必要な条件	(15名)

新任マネージャーベーシックコース

概 要： トップと現場をつなぐ要として、社員を育成しつつ組織目標を達成するマネージャーに必要なリーダーシップとマネジメントをそれぞれ半日で学んだ。

月 日： 第1回 6月28日、第2回 7月3日

場 所： 当本部会議室

テ マ： 「半日でリーダーシップとマネジメントを学ぶ」

講 師： (公財)関西生産性本部 経営コンサルタント

新田町尚人

参加者数： 第1回 32名、第2回 30名

第1回 「半日で人を動かすリーダーシップを学ぶ」

1. 己を知ろう

- ・自分の思考パターンを確認しよう～自分って「そうだったのか」～
- ・周りの変化に気づいていますか？～これから先どうなるのですか～

2. リーダー“シップ”を身につけよう

- ・リーダーとリーダーシップって同じでしょ？
～役職を持てばリーダーになれますか～
- ・あなたはどんなリーダーを目指しますか？～理想のリーダー像を描こう～

3. コミュニケーション上手になろう

- ・論理的に考えて話すために必要なこと～ロジカルシンキングの基本を学ぼう～
- ・短い時間でしっかり伝えるトレーニング～エレベーターでトークしませんか～
- ・傾聴って、どうすればいいの？～黙って聞くだけでいいのですか～
- ・会議を演出しよう！～ムードをつくれれば、みんなHappyに～

4. 異業種の人と話そう

- ・希望者で交流会を実施

第2回 「半日で成果が出せるマネジメントを学ぶ」

1. 管理職は“成果”が求められる

- ・プレイングマネージャーはつらいよ～自分の成果と部署の成果～

2. PDCAをうまく回すためには

- ・優先順位の付け方を工夫しよう～急ぐ仕事と大切な仕事の綱引き～
- ・目標管理を上手く活用しよう～大切なのは目標の設定です～

3. ビジョン、ミッション、目標とPDCA

- ・目標の前に目的を共有しよう！～あなたが働く意味って何ですか～
- ・あなたもビジョンをつくりましょう！～風通しの良い職場風土を実現しよう～

4. 異業種の人と話そう

- ・希望者で交流会を実施

係長・主任基礎コース

概要：2泊3日の合宿を通じて、係長・主任の役割と求められる能力、「業務推進と問題解決」や「人とチームのマネジメント」を学び、リーダーとしての立場を理解するとともに、実践のためのスキルを強化した。

月 日：1回目 10月9日～10月11日 2回目2月19日～21日

場 所：関西研修センター

テーマ：「仕事と人のマネジメントの基礎を学ぶ」

講師：(公財)日本生産性本部 主任経営コンサルタント 太田 昌宏
(公財)日本生産性本部 経営開発部シニアプロデューサー 平賀 尚喜

参加者数：1回目10名 2回目7名

【経営環境の変化と係長主任の立場と役割】

- ・環境変化認識チェック
- ・環境変化が企業経営に与えるインパクト
- ・企業経営と顧客志向
- ・係長・就任の基本的役割

【業務推進と問題解決】

- ・マネジメントの意味
- ・職場の問題解決
- ・問題解決のステップ

【事例研究】「職場の改善事例」

【演習】「問題解決」問題解決のステップ～業務推進のロジカルフロー～

【人のマネジメント】

- ・部下・メンバーの動機づけ
- ・部下・メンバーの育成

【チームのマネジメント】

- ・係長・主任とチームワーク

「ケース演習」

【係長・主任に期待される役割】

- ・チームワークとリーダーシップ
- ・リーダーシップとフォロワーシップ

【まとめ】

【総合演習】ケーススタディ「問題を抱えた部下への対応～動機づけと行動改善」

- ・自己啓発と自己目標

管理者基礎コース

概要：2泊3日の合宿を通じて、管理者の役割を認識し、マネジメントの基本と実践を理解し、モチベーションの向上と職場および自己の変革に向けた行動に促した。

月 日：1回目 10月9日～10月11日 2回目2月19日～21日

場 所：関西研修センター

テーマ：「管理者の産大役割（業績向上・部下育成・組織力強化をしっかりと学ぶ）」

講師：(公財)日本生産性本部 経営開発部主席調査役 佐々木昌彦
(公財)日本生産性本部 主任経営コンサルタント 檜作 昌史

参加者数：1回目13名 2回目15名

【管理者の役割・経営課題と管理者】

「ミニテスト」

- ・管理者の役割
- ・管理者の要件

【ミニ演習】「業績向上」「部下育成」「組織力強化」

【業績向上のマネジメント】

- ・業績とPDCA
- ・目標・方針と実行計画
- ・進捗管理
- ・問題発見・解決の視点とツール

【部下育成のマネジメント】

- ・部下育成の基本
- ・目標による管理と部下育成

- 【ケーススタディ】
- 【ミニ演習】・管理者のコミュニケーション
 - ・コーチング
 - ・人事考課の進め方
- 【人事考課・面接演習】
 - ・労務管理の基礎知識
- 【ミニテスト】
- 【組織力強化のマネジメント】
 - ・組織のフレーム
 - ・チームのマネジメント
- 【個人研究】
 - ・職場の風土改善
 - ・情報の共有－ナレッジマネジメント
- 【ミニ演習】
- 【変革と推進のリーダーシップ】
- 【ケーススタディ】
 - ・リーダーシップとは
 - ・変革の必要性と阻害要因
 - ・変革のプロセス
 - ・自己評価能力の重要性
- 【相互診断】
 - ・まとめ

研修総点検セミナー

概要：効果的な研修体系、研修プログラムを策定し、実施するためには何に留意し、どう取り組んでいくべきか等について学んだ。

月 日：2月18日

場 所：当本部会議室

テーマ：「自社に適した研修がわかる・つくれる」

講師：(公財)日本生産性本部 主席経営コンサルタント

木下 耕二

参加者数：10名

- I. 人材育成の意識・目的
 1. 経営の視点—経営戦略・計画の実現—
人材育成施策と人事制度の関連づけ、
中期経営計画とのリンケージ
 2. 個人の観点
- II. 人材育成体系の整備
 1. 人材育成体系とは
人材育成体系の必要性
 2. 人材育成体系設計のプロセス
現状分析・期待する人材像の明確化（目標設定）、人材育成体系の設計
- III. 研修プログラムの設計
 1. 現状の分析
人材育成ニーズ（期待される資質・能力・スキル等）の明確化
人材育成キーワードの発見
 2. 研修目標の設定
目標設定・評価条件・達成基準、前提行動
研修評価との連動
 3. インストラクション方略の開発
方略フレームワーク：ガニエの教授事象
研修方式
 4. 研修環境
会場レイアウト、机・椅子、小物、五感
 5. インストラクター
立場、資質、経歴、風貌
- IV. 研修の実施
受付・指導、資料の配付、講師へのフィードバック
- V. 研修効果の評価
 1. 測定と評価

2. 研修効果の測定

効果測定方法の色々、効果を高めるには

女性部下マネジメントセミナー

概 要：女性社員のやる気と能力を顕在化させるべく、管理職・男性社員に求められる知識と具体策について、参加者自身の過去の振る舞いの振り返りやコミュニケーションの演習を取り入れながら解説した。

月 日：10月24日

場 所：当本部会議室

テ マ：「女性のやる気と能力を顕在化させ、チームの戦力に育てるための具体策」

講 師：(株)Y's オーダー 代表取締役

藤野 祐美

参加者数：7名

〈講義〉

「男性部下・女性部下マネジメントの違い」

「女性のキャリア意識～女性のキャリア開発の特徴と対応」

「女性のモチベーションマネジメント～注目すべきモチベーション要因」

「女性メンバーの能力を開花するためのコミュニケーション

～信頼関係の構築、～女性社員の受容と理解」

「“知っておきたい女性コミュニケーションの7つの鍵”」

〈グループディスカッション〉

“グローバルリーダー” 育成セミナー

概 要：「なぜ、日本人は正しく理解されないのか」「どのように、ダイバーシティ組織をマネジメントすべきか」などを学ぶことにより、多様性に富む人材と協業して最大の成果を上げる“グローバルリーダー”を育てるためのポイントを習得した。

月 日：12月3日

場 所：当本部会議室

テ マ：「グローバル組織におけるマネジメント力の向上」

講 師：GLOBALEX 社長/エグゼクティブ・コーチ

村治 孝浩

参加者数：10名

【グローバル組織のコミュニケーション】

- ・日本人の英語が正しく理解されない理由とは？
- ・ハイコンテキストとローコンテキスト型意思疎通を理解する

【グローバル組織でのマネジメント】

リーダーシップ～日本型リーダーシップからの脱皮>

- ・より高いEQが求められる世界型リーダーシップとは？
- ・世界型リーダーに求められる明示生と情報発信力
- ・世界型リーダーに求められる牽引型リーダーシップ

【組織と人材マネジメント～日本型が通用しない世界標準の部下育成】

- ・日本型組織管理の特殊性を理解する
- ・アカウンタビリティ型組織のあり方とマネジメント
- ・「叱る」メンタリティから「認める」メンタリティへ
- ・ポジティブ・リインフォースメント(褒めて伸ばすマネジメント)の真髄と方法論

【ミーティングマネジメント～根回しと合議から次のステップへ】

- ・日本企業が抱える社内コミュニケーションの根本を知る
- ・開かれたミーティングが求められる世界型マネジメント
- ・日本型合議と根回しのあり方の考察
- ・世界型人材が求めるミーティングのあり方とは？
- ・世界標準・直線型交渉術とは？

ロジカルシンキングコース

概要 要：ビジネス活動の土台として必要不可欠なロジカルシンキングの理論とスキルを習得した。
月 日：1回目 8月1日、2回目 11月14日
場 所：当本部会議室
テーマ：「ビジネスを成功に結びつける3つの技法」
講師：(株)BCL 代表取締役 別所 栄吾
参加者数：1回目 5名、2回目 20名

1. 序
2. マトリクスで情報のモレ、ムラ、重複をなくす
3. 三角ロジックで、主張に根拠を添える
4. リンクマップでテーマを分析・発展させる
5. 証拠を明示して話す

ロジカルライティングコース

概要 要：実務に直結した、読み手に分かりやすく伝えるための論理構成と書き方のスキルを習得した。
月 日：9月12日
場 所：当本部会議室
テーマ：「論理性と伝達効率を高める文章構成スキルの徹底強化」
講師：(公財)日本生産性本部 知の技術研究開発センター 倉島 保美
参加者数：9名

1. 序/わかりやすさと強調の基本
2. 第1条「総論から各論へと書く」
3. 第2条「パラグラフを使って書く」
4. 第3条「要約文をパラグラフの先頭に書く」
5. その他の守るべきルール
6. 総合演習

ロジカルプレゼンテーションコース

概要 要：聞き手が納得しやすいプレゼンのハウツーを解説し、聞き手を引きつけて納得させるスキルを習得した。
月 日：1回目 8月5日、2回目 12月13日
場 所：当本部会議室
テーマ：「ビジネスチャンスを切り拓く論理的思考と説明のスキル」
講師：(株)BCL 代表取締役 別所 栄吾
参加者数：1回目 8名、2回目 15名

1. プレゼンの伝達技術
2. プレゼン演習：話し方
3. プレゼンの構成技術
4. プレゼンの対話技術
5. プレゼン演習：内容構成
6. プレゼンの視覚効果

ロジカルファシリテーション&ネゴシエーションコース

概要 要：会議やミーティング、折衝や交渉を容易にできるように各種理論やスキルを修得した。
月 日：11月15日
場 所：当本部会議室
テーマ：「会議や商談での折衝力・交渉力の向上」
講師：(株)BCL 代表取締役 別所 栄吾

参加者数：5名

<p>【講義】折衝力・交渉力がなぜ必要なのか 【講義】共感を生むテクニックと議論の場づくり 【講義】WIN-LOSEからWIN-WINへ 【講義】情報と交渉利益の拡大 【講義】まとめ：対立の原因と解消法</p>

ビジネスディベート

概 要：異業種との交流を通じて、迅速な意思決定や説明能力を習得した。
 月 日：9月31日～10月1日
 場 所：当本部会議室
 テーマ：「知的武装：タフでスピーディな思考とコミュニケーション」
 講師：(株)BCL 代表取締役
 参加者数：14名

別所 栄吾

<p>1. 【講義】ディベート概論（ビデオ視聴） 2. 【講義・演習】論理的思考の構造 3. 【講義】論理的にプランを説明するコツ 4. 【講義・演習】質問で議論を検証する 5. 【講義】水掛け論と議論のズレを防ぐ 6. 【演習】問題発見と解決策を共有するコツ 7. 【演習】ディベート試合 8. 【演習】本格ディベート準備 9. 【講義】論理的に議論を傾聴、分析、意思決定するコツ（審判） 10. 【演習】ディベート試合 11. 【講義】まとめとふり返り</p>
--

女性リーダー交流フォーラム

概 要：女性リーダーたちが他業種のリーダーとの交流と学びの場を通して、相互啓発とネットワークづくりを行い、自己成長の場とすることを目的として開催した。

メンター：	新関西国際空港(株) 代表取締役会長	福島 伸一
	法政大学 経営大学院イノベーション・マネジメント研究科教授	藤村 博之
	早稲田大学大学院 商学研究科教授	谷口 真美
	J. フロントリテイリング(株) 執行役員経営計画事業統括部 グループ組織要員政策担当	平山誠一郎
	エスペック(株) 取締役管理本部長兼輸出管理本部長	大島 敬二
	大阪ガス(株) 関連事業部 事業イノベーションチームマネジャー	金澤 成子
	オムロンソーシアルソリューションズ(株) 人事総務部長	石原 仁司
	シャープ(株) 執行役員 コーポレート統括本部 人づくり・社内コミュニケーション担当	深堀 昭吾
	積水ハウス(株) 秘書部長	田中 善秀
	ダイキン工業(株) 人事部人事企画グループ担当課長	池田久美子
	パナソニック(株) エコソリューションズ社ライティング事業部人事・総務グループグループマネジャー	佐久間 均
指導講師：	(株)MCC 代表取締役	清水みゆき

年 度：2012年度
 回 数：フォローアップ例会1回、同窓会1回
 参加者数：30名

	月日・場所	内 容
フォローアップ	5月17日 積水ハウス(株) 総合住宅研究所 納得工房	<p>〈第1部〉積水ハウス(株)「納得工房」訪問 (14名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション、会社概要・施設概要紹介 ・施設見学 ・質疑応答、まとめ <p>〈第2部〉懇親会</p>

同窓会	10月25日 サントリー京都ビール工場	「サントリー京都ビール工場」見学会・懇親会 (12名)
-----	------------------------	--------------------------------

年 度：2013年度
回 数：定例会5回
参加者数：30名

	月日・場所	内 容
1回	10月22日 NCB会議室「光」	〈開会挨拶〉 (公財)関西生産性本部 専務理事・事務局長 小宅 誠司 〈講演〉 「イノベーションを推進するリーダーの役割」 (株)カネカ 取締役専務執行役員 永野 廣作 〈テーマ討議〉グループ討議・全体討議 〈名刺交換・懇親パーティー〉
2回	11月20日 当本部会議室	〈グループ討議〉「テーマの検討とまとめ」 〈全体討議〉「グループまとめ発表とQ&A」 〈全体の振り返りとまとめ〉「第1回～第2回の総括」
3回	12月10日 NCB スカイルーム	〈講演〉 「女性リーダーのキャリア形成」 サントリーホールディングス(株) 人事本部ダイバーシティ推進室長 平井 弓子 〈グループ討議〉「テーマの検討とまとめ」 〈全体討議〉「グループまとめ発表とQ&A」 〈懇親会〉
4回	1月24日 当本部会議室	〈グループ討議〉「テーマの検討とまとめ」 〈全体討議〉「グループまとめ発表とQ&A」 〈全体の振り返りとまとめ〉「第3回～第4回の総括」
5回	2月21日 当本部会議室	〈全体発表〉「フォーラムからの学びと気づき～明日からの行動～」 〈記念講演〉「これからの日本企業に求められるリーダー像」 京都大学 産官学連携本部 瀧本 哲史 イノベーションマネジメントサイエンス研究部門客員准教授 〈懇親パーティー〉

関西キャリア教育支援協議会

概 要：産業界や労働界が教育現場で取り組んでいる学校教育支援活動について情報共有をするとともに、教育現場が産業界・労働界に求めるニーズと、産業界・労働界が教育現場に提供できるシーズが、マッチングする支援活動を、大阪府教育委員会ならびに大阪市教育委員会と連携して実施した。

〈「関西キャリア教育支援協議会」役員会〉

(公財)関西経済連合会 専務理事

(一社)関西経済同友会 常任幹事・事務局長

大阪商工会議所 専務理事

(一財)大阪科学技術センター 専務理事

日本労働組合総連合会大阪府連合会 (連合大阪) 事務局長

(公財)関西生産性本部 専務理事・事務局長

川邊 辰也

斉藤 行巨

灘本 正博

西 亨

多賀 雅彦

小宅 誠司 (代表)

〈「関西キャリア教育支援協議会」運営専門部会〉

(公社)関西経済連合会 労働政策部 参事

(一社)関西経済同友会 企画調査部課長

大阪商工会議所 人材開発部人材育成担当 大阪企業家ミュージアム課長

(一財)大阪科学技術センター 普及事業部課長

日本労働組合総連合会 大阪府連合会 (連合大阪) 副事務局長

パナソニック(株) 理事関西渉外室長

パナソニック(株) 関西渉外室企画渉外部長

大阪府教育委員会 事務局高等学校課生徒指導グループ首席指導主事

大阪府教育委員会 事務局小中学校課進路指導支援グループ首席指導主事

大阪市教育委員会指導部初等教育担当課長

大阪市教育委員会 中学校教育担当課長

三浦 正博

與口 修

廣田 雅美

橋本 一

佐伯 昭子

一色 巧

曾根 裕文

濱崎 年久

瀧澤 公子

坪井 宏暁

黒田 光

大阪市教育委員会 高等学校教育担当課長
 (公財)関西生産性本部 人材開発部長
 (公財)関西生産性本部 人材開発部

川本 祥生
 坂東 学
 川島 千明

協力会員数：57組織

役員会

	月日・場所	議 案	
1回	5月17日 当本部会議室	1. 役員会 (1) 2012年度「情熱教室」活動報告について (2) 2012年度決算報告について (3) 2013年度活動計画・予算について (4) その他 2. 12年度「情熱教室」報告・意見交換 四條畷市立四條畷中学校 教諭 レンゴー(株) 環境・安全衛生部部長	(18名) 谷崎 雄一 三浦 一憲

出前授業 依頼学校数：26校 (小学校6校・中学校19校・高校1校)
 実施学校数：23校 (小学校6校・中学校16校・高校1校)
 実施回数：23回
 延生徒数：3999名
 出前講師登録：128名
 施設登録：202組織

学校名	月日・場所	内 容	
熊取町立 熊取南中学校	7月3日	「私の行き方発見」 パナソニック(株) 社会文化グループグループマネージャー	3年生 (159名) 小川 理子
大阪市立 加美南中学校	7月3日	「損害賠償 (交通事故を例に)」 ジャスティス中川法律事務所 弁護士	3年生 (40名) 中川 正義
大阪市立 港南中学校	8月30日	「建築のおもしろさ」 (株)竹中工務店 大阪本店人事部長	1年生 (12名) 坪井 昌行
大阪市立 住之江中学校	9月11日	「生徒会交流会～リーダー研修～」 積水ハウス(株) 人事部採用・育成グループ課長	1～3年生 (100名) 飯岡 忠昭
茨木市立 西中学校	10月21日	「自分と社会との視点から“社会で求められる人材像”を考える」 積水ハウス(株) 人事部採用・育成グループ課長	2年生 (276名) 飯岡 忠昭
大東市立 深野小学校	10月21日	「ダイバーシティって何だ？」 (株)竹中工務店 大阪本店人事部長	4年生 (114名) 坪井昌行 他
豊中市立 第九中学校	10月23日	「私の行き方発見」 パナソニック(株) 社会文化グループグループマネージャー 「流行の発信地“百貨店”の舞台ウラ (ファッション編)」 (株)高島屋 大阪店販売第2部 (婦人服) 統括担当課長	2年生 (303名) 小川 理子 富岡 恵子
大阪市立 平野中学校	10月28日	「想いを形に・心を伝えるマナーの大切さ」 (株)HRJ 企画部部長	2年生 (191名) 西村 望希
島本町立 第三小学校	11月1日	「段ボールおもしろ教室」 レンゴー(株) 環境・安全衛生部部長	1年生 (84名) 三浦一憲 他
大阪市立 弘済中学校 分校	11月5日	「働く」とはどういうことか～キャリアデザインの形成に向けて～ 西日本電信電話(株) ビジネス営業本部クライアントソリューション部地域ICT推進グループ	小6～中3 (60名) 荒起宗芳 他

寝屋川市立 第二中学校	11月6日	「自分と社会との視点から“社会で求められる人材像”を考える」2年生 (238名) 積水ハウス(株) 人事部採用・育成グループ課長 飯岡 忠昭
寝屋川市立 第二中学校	11月7日	「鉄道会社で働くこと」 西日本旅客鉄道(株) 人事部 (教育・システム) 担当課長 2年生 (238名) 鹿島 正人
和泉市立 伯太小学校	11月8日	「段ボールおもしろ教室」 レンゴー(株) 環境・安全衛生部部长 5年生 (85名) 三浦一憲 他
大阪市立 南港北中学校	11月8日	「想いを形に・心を伝えるマナーの大切さ」 (株)HRJ 企画部部长 「私の行き方発見」 パナソニックスカラシップ(株) 「働く」とはどういうことか〜キャリアデザインの形成に向けて〜 西日本電信電話(株) ビジネス営業本部アウトソリューション部地域 ICT 推進グループ 「仕事とプライベートの充実〜アプリケーション開発とトライアソン〜」 (株)NTT ネオメイト ITビジネス本部アプリケーション事業推進部第一アプリケーション部門 「くすりについて考えてみよう」 田辺三菱製薬(株) 経営企画部主査 「南港北中学校の皆様へ」 大和ハウス工業(株) 情報システム部情報企画室 席主任 2年生 (90名) 西村 望希 松吉 徹也 荒起宗芳 他 丸山 剛 他 山崎 元大 寺島 糸枝
大阪市立 生魂小学校	12月6日	「金銭啓発セミナー」 SMBCコンシューマーファイナンス(株) 心齋橋お客様サービスプラザ 1年生 (25名) 戸村佳志子
大阪市立 瓜破西中学校	12月11日	「金銭啓発セミナー」 SMBCコンシューマーファイナンス(株) 心齋橋お客様サービスプラザ 「ケータイ安全教室」 (株)NTTドコモ 関西支社「ケータイ安全教室」事務局 「大阪ガスのエネルギー環境教育」 大阪ガス(株) 大阪リビング営業部コミュニティ室主任 「建築のおもしろさ」 (株)竹中工務店 大阪本店 人事部長 1年生 (140名) 松尾美香 他 伊藤千佳子 他 西村佳子 他 坪井 昌行
豊中市立 第四中学校	12月17日	「自分と社会との視点から“社会で求められる人材像”を考える」3年生 (213名) 積水ハウス(株) 人事部採用・育成グループ課長 飯岡 忠昭
大阪市立 喜連中学校	1月23日	「金銭啓発セミナー」 SMBCコンシューマーファイナンス(株) 心齋橋お客様サービスプラザ 1年生 (240名) 戸村佳志子
桃山学院高等 学校	2月6日	「私の行き方発見」 パナソニック(株) ブランドコミュニケーション本部 宣伝・スポンサーシップグループ 主事 「私の仕事とキャリア」 帝人(株) エンジニアリング本部企画管理部部長 「建築のおもしろさ」 (株)竹中工務店 大阪本店 人事部長 2年生 (630名) 高橋 文子 上野山雅樹 坪井昌行 他
太子町立 中学校	2月14日	「私の行き方発見」 パナソニック(株) 社会文化グループグループマネージャー 1年生 (144名) 小川 理子
奈良学園小学 校	2月21日	「香りの役割り」 塩野香料(株) 研究開発本部フレーバー第2開発部長 1~6年生 (520名) 奥村和征 他
岸和田市立 大芝小学校	2月25日	「段ボールおもしろ教室」 2年生 (77名)

		レンゴー(株) 環境・安全衛生部部长	三浦一憲 他
大阪市立 咲くやこの花 中学校	3月5日	「新聞記者になるには？」 読売新聞大阪本社 広報宣伝部	2年生 (20名) 宇川 聡

〈教員研修会への社会人講師派遣〉

実施回数：2回

回	月日・場所	内 容	
1回	8月8日 大阪市立 開平小学校	大阪市教育委員会平成25年度教員採用選考テスト面接官研修会 (株)カネカ 人事部採用グループリーダー	(70名) 堂本 剛史
2回	12月14日 桃山学院中学校 高等学校	桃山学院中学校・高等学校PTA キャリア教育における講演会 西日本旅客鉄道(株) 執行役員 人事部長 帝人(株) エンジニアリング本部企画管理部部長 三井住友海上火災保険(株)	(100名) 今井 克己 上野山雅樹 松本 潤

〈職業見学・体験 (インターンシップ)〉

実施回数：3回

回	月日・場所	内 容	
1回	4月3日 よみうりテレビ	(一社)不登校支援センター 局内見学・レクチャー、番組制作現場体験 など	(中～高校生5名)
2回	7月17日 (株)岡本工務店	KTC中央高等学院 建築に関する仕事の内容の説明、建築工事業の見学	(3年生2名)
3回	10月25日 NTT西日本大阪中 央ビル (OCB)	奈良工業高等専門学校 情報工学科 とう道・伝送設備・交換機設備・電力設備の見学	(3年生40名)

〈その他〉

1. 大阪市教育委員会平成26年度大阪市立小学校、中学校長の公募選考への外部面接官派遣
(稲畑産業(株)・ダイキン工業(株)・ダイハツ工業(株)・(株)竹中工務店・パナソニック(株)・レンゴー(株))
2. 平成26年度 大阪府立学校校長公募選考への外部面接官派遣 (塩野義製薬(株))
3. 大阪ビジネスフロンティア高等学校「財務諸表分析プロジェクト」(攝津製油(株))
4. 大阪市教育委員会平成25年度教員長期社会体験研修受入れ (レンゴー(株))

留学生向け合同企業説明会

概要：近畿地区高度海外人財活用プロジェクトの一環として、外国人留学生を対象とした合同企業説明会を開催し、日本企業への就職を支援した。

月 日：11月20日

場 所：OMMビル (大阪マーチャンダイズマートビル)

参加企業：40社

参加者数：553名

産学官交流シンポジウム・京阪神学生ビジネスプランコンテスト

概要：関西社会人大学院連合が中心になり、関西経済連合会、当本部等が協力して、産業界と大学関係者が集い、共通課題について意見交換し、交流を深める場として開催した。今回は、学生によるビジネスプランの発表を行うとともに、グローバルイノベーションを創出する人材の具体像やその育成、能力の開発に必要なことは何かを考え、さらには大学の取り組みと課題について論じた。

月 日：2月17日

場 所：グランフロント大阪「大阪イノベーションハブ」他

テーマ：イノベーション人材育成の課題

主 催：特定非営利活動法人関西社会人大学院連合
参加者数：91名

<第1部>京阪神学生ビジネスプランコンテスト大会

1. 主催者代表挨拶

関西社会人大学院連合 副理事長（関西大学 学長）

楠見 晴重

2. 関西社会人大学院連合の取り組み紹介

関西社会人大学院連合 運営部会長（関西大学 副学長）

林 宏昭

関西社会人大学院連合 アジアビジネス研究センター長（関西学院大学 国際学部教授）

木本 圭一

3. 大会趣旨説明

4. プレゼンテーション

<第2部>産学官交流シンポジウム「グローバルイノベーション人材育成の課題」

(パネリスト)

Man to Man(株) 代表取締役会長兼社長

田中 正次

((公財)関西生産性本部 中堅企業経営委員会副委員長)

大阪市 都市計画局理事

吉川 正晃

同志社大学 経済学部准教授

和田 美憲

京阪神学生ビジネスプランコンテスト大会 最優秀賞受賞者

丁 世蚩

(コーディネータ)

関西社会人大学院連合 アジアビジネスセンター長（関西学院大学国際学部教授）

木本 圭一

3. 交流会

V . 診 断 指 導 ・ 受 託 教 育

経営診断・指導

概 要：経営全般について総合的な調査・分析を行い、現在から中長期にわたる経営課題と対応策を提示し、改善・指導を行った。

(診断日数46日6組織)

受託先	月日	内 容
A社	4月1日～3月31日	「製造現場改革指導」(12日)
S社	5月1日～12月31日	「現行人事制度の診断と組織機能主義人事制度の導入コンサルティング」(15日)
	11月1日～3月31日	「新人事制度への移行対応指導」(6日)
Z団体	5月15～3月31日	「マネジメント・アドバイザー」(15日)
K社	11月1日～3月31日	「品質管理指導」(5日)
A社	12月1日～12月31日	「社員満足度調査」
K社	12月1日～12月31日	「社員満足度調査」

企業内教育訓練

概 要：「企業環境変化に適応し、自ら考え行動する人づくり」を基本的な考えとして、実施目的・ねらいに適う教育訓練を実施した。

(受託日数122日23組織)

受託先	月日	内 容
Y社	4月12日	「人事評価者研修」(1日)
T社	4月1日～7月31日	「中小企業診断士講座」(9日)
Y公益法人	4月8日	「目標設定及び人事考課研修」(1日)
J社	5月17日	「主事研修」(1日)
	9月2日・3日・4日	「育成型の人事考課の実践」(3日)
A社	5月21日・7月3日・8月1日・9月2日・10月2日・11月8日	「現場改善指導者養成研修」(6日)
M学院	5月25日・6月15日・7月20日	「目標管理実践研修」(3日)
	8月21日	「目標管理導入研修」(1日)
	3月8日	「目標管理フィードバック研修」(1日)
R大学	5月29日・5月31日・6月4日	「業務目標設定研修」(3日)
	3月5日	「フィードバック研修」(1日)
H社	7月10日・11日・24日・25日	「経営管理基礎研修」(4日)
	9月2日・12日・19日	「マーケティング基礎研修」(3日)
	8月19日・9月3日・4日・5日・17日・1月20日・21日・29日・30日・2月3日・7日	「ロジカルシンキング研修」(11日)
	8月26日・29日・9月6日・11日・18日・2月4日・6日	「ロジカルプレゼンテーション研修」(7日)
	10月4日	「マーケティング勉強会」(1日)
	10月8日～3月1日	「経営力育成研修会」(19日)

	10月29日・11月7日・11日・19日	「問題解決手法基礎研修」(4日)
H社	7月22日・9月9日・10月22日	「グローバルビジネスを理解するための世界経済概説」(3日)
T社	8月8日	「主体者意識醸成・相互役割認識強化研修」(1日)
F社	8月9日・9月6日	「新任考課者訓練・新任管理者研修」(2日)
K社	8月25日～8月31日	「カネカ技術振興基金海外研修」(7日)
J社	9月20日	「中堅社員マネジメント力向上研修」(1日)
O大学	9月21日～1月25日	「中小企業経営診断の実務」(15日)
K社	10月9日・10日	「『経営品質向上アドバンス』研修」(2日)
F社	10月10日・11日	「ロジカルプレゼンテーション研修」(2日)
O社	10月24日・11月26日	「人事評価者研修(含む評価制度の運用)」(2日)
O団体	11月2日・9日	「人事考課者研修」(2日)
	11月21日	「被考課者研修(レクチャー)」(1日)
K団体	11月6日	「組織変革セミナー～戦略と人事から組織を変革する～」(1日)
K社	11月27日～3月31日	「品質管理能力向上研修」(5日)
D組合連合会	11月27日～12月3日	「第5回ダイハツ労連海外自動車事情調査」
S社	12月4日・5日	「『2013年度特別選抜教育』～現場のための『IE(ムダ取り)入門』～」
N社	12月4日・1月9日	「人事評価者研修」(2日)
N社	1月7日・15日・2月8日・15日	「ビジネスディベート研修」(4日)
K社	2月27日	「現場研修会」(1日)
K社	3月3日	「FS会議キックオフ講演会」(1日)

経営品質向上支援受託

概要：経営品質の向上を進めるためのアセスメント、会議開催、社員教育等について支援を行った。

(受託日数：42日5組織)

受託先	月日	内容
S社	4月1日～3月31日	「JQAチャレンジ・プロジェクト」(12日)
	4月1日～4月30日	「支配人・副支配人満足度調査」 「アテンダント満足度調査」
K市	4月1日～3月31日	「行政経営推進事業支援業務」(3日)
N社	4月1日～3月31日	「経営品質向上プログラムによる組織風土改善プロジェクト」 (20日)
H社	4月1日～9月30日	「経営品質向上プログラムによる組織風土改善プロジェクト」 (5日)
K社	2月4日・3月14日	「階層別CS向上研修」(2日)

労働組合受託

概要：労働組合の活性化に向けて、必要な知識・スキルなど目的や対象にあわせた教育訓練を実施した。

(診断日数：17日5労組)

受託先	月日	内容
T 労働組合	4月17日	「女性部下マネジメント研修 (レクチャー・グループワーク)」(1日)
D 労働組合連 合会	11月27日～12月3日	「第5回海外自動車事情調査」(7日)
S ユニオン	9月26日、10月21日、 10月27日、12月3日、 12月12日、1月14日 2月10日、2月13日 3月14日、3月26日	「43期重点取り組みに関する支援」(10日)
D 労働組合	5月24日 2月8日	「アサーショントレーニング研修」(1日) 「職場リーダーの為の労働法基礎講座」(1日)
R 団体	11月15日、16日、 20日	「次世代リーダー養成講座」(3日)

VI. 会員交流・広報

関西生産性大会2013

概 要：『リーダーシップとイノベーションで新たな国づくりへの挑戦～未来を切り拓く生産性運動～』をテーマに、生産性運動に関わる人々が一堂に会し、関西における生産性運動の成果と果たすべき役割を考えるとともに会員相互の交流を深める場として開催した。

月 日：4月19日

場 所：シェラトン都ホテル大阪

テ ー マ：「リーダーシップとイノベーションで新たな国づくりへの挑戦」
～未来を切り拓く生産性運動～

参加者数：406名

〈開会挨拶〉「未来を切り拓く生産性運動」 (公財)関西生産性本部 会長 (レンゴー(株) 代表取締役社長)	大坪 清
〈基調講演〉「円高・震災を乗り越える産業戦略」 東京大学大学院 経済学研究科教授 東京大学 ものづくり経営研究センター長	藤本 隆宏
〈関西経営品質賞2012表彰式〉 [関西経営品質賞] (株)森長工務店 ヤチココアシステム(株)	
[優秀賞] (株)伍魚福 (株)シティー・エステート 介護事業本部	
[奨励賞] 浜理薬品工業(株)	
〈特別講演〉「イノベーションと市場開拓で生き抜く経営」 ～事業戦略と人づくり～ (株)安川電機	利島 康司
〈交流パーティ〉	

賛助会員集会「KPCフォーラム」

概 要：生産性向上に関わる、今日的課題を取り上げた見学会や講演会を実施した。

回 数：例会4回

参加者数：301名

1回	5月22日 リーガロイヤルNCB	《講演》 「宇宙飛行士と人材育成」 宇宙ライター	(52名) 林 公代
2回	9月26日(予定) ナレッジキャピタル カンファレンスルーム	《講演》 「強い個、強い組織を創る」 NPO法人ヒーローズ 会長 元ラグビー日本代表	(71名) 林 敏之
3回	11月18日 リーガロイヤルNCB	《講演》 「国民総幸福度(GNH)によるブータンの国づくり」 (講師) ブータン王国 ブータン国立研究所(GNH) 所長 〈進行役兼通訳〉 京都大学 こころの未来研究センター 准教授	(34名) ダシヨ・ カルマ・ウラ 内田由紀子

機関誌「KPCNEWS」

概 要：会員集会をはじめとする当本部事業の講演録、労使学幹部の寄稿等を掲載し、隔月に会員組織や報道機関に送付した。

2013年5・6月 (Vol. 41 No.453号) ～2014年3・4月 (Vol. 41 No.458号)

発行2,100部/隔月

第26回 KPC定期調査

概要：経済情勢、雇用問題、生産性運動の今後などについて、労使学の意識を調査した。本年度の調査トピックスは「アベノミクスに対する評価と期待」。大阪経済記者クラブとの懇談会で発表し、運営幹部会・各委員会で報告し、ホームページに掲載した。

調査対象：運営幹部会メンバー、各委員会委員、当本部の関係する学識経験者276名

回答数：206名（記者発表：1月16日）

回答率：74.6%

KPC賛助会員アンケート

概要：事業・サービスの品質向上に目的に、当本部の事業・運営に対する、賛助会員の認知度、利用度、評価、要望を伺い、総務政策委員会で発表し、ホームページに掲載した。

調査対象：賛助会員（693組織）

回答数：77組織

回答率：11.1%

21世紀全国生産性フォーラム

概要：経済のグローバル化や本格的な景気回復、少子高齢化、エネルギー・環境問題など多くの構造的な問題を抱えている中、将来にわたり持続可能な経済社会をめざすには、国をあげて持続的成長へのシナリオを着実に実現していくことが欠かせない。産業労使のリーダーシップのもと、グローバルな企業競争力の向上や人材力強化など、生産性の向上を果敢に進め、経済のダイナミズム再生を図ることが重要。こうしたチャレンジによって人口減少下における先駆的な成長モデル構築への道が開かれる。このような問題意識を踏まえ、活力ある日本の再生に向けて、企業および社会の生産性革新の方向性について議論した。

月 日：11月21日

場 所：大手町サンケイプラザ・ホール

テーマ：「日本のプレゼンス強化」～成長への確かな一歩～

主催：全国生産性本部
北海道生産性本部、東北生産性本部、(一財)中部生産性本部、(公財)関西生産性本部、中国生産性本部、四国生産性本部、(公財)九州生産性本部、(公財)日本生産性本部

協賛：新潟県社会経済生産性本部、(一社)栃木県生産性本部、群馬県生産性本部、埼玉県生産性本部、千葉県生産性本部、神奈川県生産性本部、静岡県東部生産性本部、福井県生産性本部、(公財)沖縄県生産性本部

参加者数：231名（うち当本部参加者43名）

〈開会挨拶〉 (公財)九州生産性本部 会長	田中 優次
〈基調講演〉 「グローバル競争下のわが国経済と成長への課題」 日本経済研究センター 理事長 元日本銀行 副総裁	岩田 一政
〈講演(対談)〉 「今、求められるリーダーシップ」 (講師) 三菱重工業(株) 会長 (聞き手) 東京理科大学大学院 准教授	大宮 英明 西野 和美
〈講話〉 「日本のプレゼンス強化」 (公財)日本生産性本部 会長	牛尾 治朗
〈パネルディスカッション〉 「企業の成長と日本社会の変革」 (パネリスト)	

中外製薬(株) 会長・CEO	永山 治
(株)良品計画 会長	松井 忠三
全日本金属産業労働組合協議会(JCM) 議長・前 自動車総連 会長 (コーディネーター)	西原浩一郎
東京理科大学大学院 教授 (座長)	佐々木圭吾
東北生産性本部 会長	齋藤 茂雄
〈記念講演〉 「はやぶさ 世界初を実現した日本の力」 宇宙航空研究開発機構 シニアフェロー 元「はやぶさ」プロジェクトマネジャー	川口淳一郎
〈閉会挨拶〉 (公財)関西生産性本部 会長	大坪 清

情報化シンポジウム・イン・関西

- 概 要：安全、安心な社会の実現のためには、個人情報への漏洩や不正アクセスはもちろん、ますます巧妙化するサイバー攻撃やPC遠隔操作ウィルスなどのサイバー空間におけるリスクに対して、国や自治体、企業、生活者はどう対処すべきかを議論した。
- 月 日：1月28日
- 場 所：大阪大学中之島センター佐治敬三メモリアルホール
- テ ー マ：「安全・安心な社会の実現に向けて」
～サイバーリスク・セキュリティ・リテラシーと私たちの暮らし～
- 主 催：(公財)関西生産性本部、(一財)関西情報センター、(NPO)関西情報化維新協議会、
(NPO)地域情報化推進機構、(NPO)HINT、KANSAI@CAN フォーラム、
(財)地方自治情報センター、(公財)日本生産性本部
- 後 援：総務省近畿総合通信局、近畿経済産業局、西日本電信電話(株) ビジネス営業本部
- 参加者数：88名

〈開会挨拶〉 KANSAI@CANフォーラム 会長	辻 正次
〈記念講演〉「サイバーリスクとわが国の危機管理」 (特非)国際変動研究所 理事長・静岡県立大学 特任教授・軍事アナリスト	小川 和久
〈基調報告〉「サイバー空間の脅威と防御を考える(提言)」 情報化推進国民会議 特別委員会主査・サイバー大学 教授	前川 徹
〈パネルディスカッション〉 「安全・安心な社会の実現に向けて」 ～サイバーリスク・セキュリティ・リテラシーと私たちの暮らし～ (パネリスト)	
(ネット社会の安全・安心のための対策) 西日本電信電話(株) ビジネス営業本部セキュリティサービスグループ担当部長	副島 昌二
(SNSユーザーに対する情報リテラシー) (特非)関西情報化維新協議会 アドバイザー	川端 純一
(住民の安心・安全と自治体の役割) (特非)HINT 副理事長・総務省地域情報化アドバイザー	井上あい子
(自治体セキュリティ対策支援事業について) (財)地方自治情報センター 主席研究員	山崎 敏明
(コメンテーター) (特非)国際変動研究所 理事長・静岡県立大学 特任教授・軍事アナリスト	小川 和久
(コーディネーター) 情報化推進国民会議 特別委員会主査・サイバー大学 教授	前川 徹

全国機関誌「生産性新聞」

- 概 要：政治・行政・教育・産業など各界の生産性に関する動き、労働界の動向、企業における生産性向上への事例などを掲載した情報紙を月3回、当本部会員に送付した。

生産性手帳販売

概要：「エグゼクティブ手帳」の愛称で親しまれる手帳の加工・販売を行った。
名入れ加工2社 2,176冊

各種刊行物など

以下の報告書を作成した。

〔報告書〕

- *第35期経営幹部交流セミナー 報告書
「社会と企業、持続的発展に向けた共通価値の創造」
- *KPCマネジメント・スクール2013 成果報告書
「経営戦略コース グループ研究 報告」
- *KPCマネジメント・スクール2013 成果報告書
「マーケティングコース グループ研究 報告」
- *KPCマネジメント・スクール2013 成果報告書
「技術・イノベーションマネジメントコース グループ研究 報告」
- *KPCマネジメント・スクール2013 成果報告書
「経営人事・イノベーションコース グループ研究 報告」
- *訪米組織開発調査団 報告書
「経営に資する強い組織を作る」
ー日本流“組織開発”の推進のため、私たちは何をなすべきか？ー

神戸大学「生産性講座」

概要：神戸大学 経済学部2、3、4年生を対象に開講した。
到達目標は、
①経済と生産性の関係を理解する。
②経営と生産性の関係を理解する。
③企業の事例研究を通して生産性向上への実践的取り組みを理解する。
大坪会長以下当本部の役員、委員がリレー形式で講義。グローバルコンペティションを勝ち抜くために日々生産性向上に取り組む産業人による講義だったので、学生は大変熱心に受講した。

期間：2013年6月～7月
水曜日3限目（13時20分～14時50分）、4限目（15時10分～16時40分）

回数：14回の講義と筆記試験

参加者数：履修者248名 単位取得者210名

	月日・場所	内 容	
1回	6月5日 神戸大学	生産性概論「経済発展と生産性」 神戸大学 経済学部教授	萩原 泰治
2回		生産性概論「企業経営と生産性」 (公財)関西生産性本部 特別顧問	辻本 健二
3回 4回	6月12日 神戸大学	「経営戦略論～高付加価値経営への道」 甲南大学 特別客員教授 (公財)関西生産性本部 理事/総務政策委員会副委員長)	加護野忠男
5回	6月19日 神戸大学	「わが社の研究開発戦略と生産性向上」 東レ(株) 生産技術第1部生産技術第一課課長	渡邊 健介
6回		「わが社の生産革新と生産性向上」 ダイハツ工業(株) 東大阪モビリティラボレーションセンター 主査	森口 真介
7回	6月26日 神戸大学	「わが社の営業マーケティング戦略と生産性向上 ～ロック・フィールドの市場創造への挑戦」 (株)ロック・フィールド 代表取締役社長	岩田 弘三
8回		「サービス業の生産性向上」	

		～リッツカールトンの顧客満足への挑戦」 ザ・リッツカールトン大阪 ディレクター・オブ・クオリティ	佐藤 美季
9回	7月3日 神戸大学	「パナソニックの労使関係と生産性向上」 パナソニックグループ労働組合連合会 中央執行委員長 (公財)関西生産性本部 労働政策委員会委員長	山崎 弦一
10回		「ダイキン工業の人材採用・育成戦略と生産性向上」 ～「人を基軸に置いた経営」と生産性～ ダイキン工業(株) 取締役兼副社長執行役員 (公財)関西生産性本部 人材開発委員会委員長	川村群太郎
11回 12回	7月10日 神戸大学	「わが経営～productivity is a state of mind」 レンゴー(株) 代表取締役社長 (公財)関西生産性本部 会長	大坪 清
13回 14回	7月17日 神戸大学	「経済成長論～アベノミクスを解き明かす」 (株)日本総合研究所 関西経済研究センター所長	広瀬 茂夫
試験	7月31日 神戸大学	試験 90分、選択式 33問	

関西学院大学「生産性講座」

概要 要：関西学院大学経済学部2年生以上、商学部3年生以上を対象に開講した。

到達目標は、

- ①経済と生産性の関係を理解する。
- ②経営と生産性の関係を理解する。
- ③企業の事例研究を通して生産性向上への実践的取り組みを理解する。

辻評議員会議長を以下当本部の役員、関係者がリレー形式で講義。グローバルコンペティションを勝ち抜くために日々生産性向上に取り組む産業人による講義だったので、学生は大変熱心に受講した。

期間：2013年9月～2014年1月 金曜日1限目(9:00～10:30)

回数：14回の講義と筆記試験

参加者数：履修者165名 単位取得者96名

	月日・場所	内 容	
1回	9月20日 関西学院大学	「経済成長と生産性」 関西学院大学 商学部教授	福井 幸男
2回	9月27日 関西学院大学	「生産性向上と雇用問題」 関西学院大学 経済学部教授	根岸 紳
3回	10月4日 関西学院大学	「生産性本部の設立と運動の展開」 (公財)関西生産性本部 人材開発部長	坂東 学
4回	10月11日 関西学院大学	「生産性経営論」 (公財)関西生産性本部 特別顧問	辻本 健二
5回	10月18日 関西学院大学	「生産性と人間関係」 関西学院大学 経済学部教授	西村 智
6回	10月25日 関西学院大学	「生産性と成果の配分」 関西学院大学 商学部教授	梶浦 昭友
7回	11月8日 関西学院大学	「生産性と研究開発」 関西学院大学 商学部助教	譚 鵬
8回	11月15日 関西学院大学	「企画・開発の生産性向上」 元パナソニック(株)モノづくり本部MASTAS講師 現 TCT コンサル 代表	甲斐野真次
9回	11月22日 関西学院大学	「ものづくりの生産性向上」 住友金属工業(株) 技術・品質保証部長 (関西 IE 協会 運営委員長)	四方田圭一
10回	11月29日 関西学院大学	「日本1の畳屋への営業マーケティング戦略」 (株)TTN コーポレーション 社長	辻野福三郎
11回	12月6日	「ダイキン工業の生産性向上への挑戦」	

	関西学院大学	ダイキン工業(株) 空調生産本部堺製造部製造部長	澤 静治
12回	12月13日 関西学院大学	「スーパーホテルの生産性向上への挑戦」 (株)スーパーホテル 経営品質部次長	星山 英子
13回	12月20日 関西学院大学	「田辺三菱製菓の労使関係と生産性向上」 田辺三菱製菓労働組合 委員長	安原三紀子
14回	1月10日 関西学院大学	産業研究所学術講演会 「外国人との出会いから学んだこと」 鴻池運輸(株) 会長 (公財)関西生産性本部評議員会議長)	辻 卓史

大阪市立大学「生産性講座」

概 要：大阪市立大学経済学部1～3年生、商学部3年生、2部学生を対象に開講した。

到達目標は、

- ①経済と生産性の関係を理解する。
- ②経営と生産性の関係を理解する。
- ③企業の事例研究を通して生産性向上への実践的取り組みを理解する。

岡野特別顧問（前副会長）以下当本部の役員、委員、関係者がリレー形式で講義。グローバルコンペティションを勝ち抜くために日々生産性向上に取り組む産業人による講義だったので、学生は大変熱心に受講した。

期 間：2013年10月～2014年1月 月曜日第5限目（16時20分～17時50分）

回 数：13回の講義と筆記試験

参加者数：履修者181名、単位取得者138名

	月日・場所	内 容	
1回	10月7日 大阪市立大学	「経済発展と生産性」 大阪市立大学 経済学部教授	福原 宏幸
2回	10月16日 大阪市立大学	「モチベーション・マネジメントと生産性」 大阪市立大学 商学部教授	福原 宏幸
3回	10月21日 大阪市立大学	「生産性本部の設立と運動の展開」 (公財)関西生産性本部 人材開発部長	坂東 学
4回	10月28日 大阪市立大学	「生産性経営論」 (公財)関西生産性本部 特別顧問	辻本 健二
5回	11月5日 大阪市立大学	「イノベーション・マネジメントと生産性」 大阪市立大学 商学部教授	太田 雅晴
6回	11月11日 大阪市立大学	「社会政策と生産性の成果配分」 大阪市立大学 経済学部教授	玉井 金吾
7回	11月18日 大阪市立大学	「日東電工の研究開発戦略と生産性向上」 日東電工(株) 取締役・常務執行役員・CTO・全社技術部門長	表 利彦
8回	11月25日 大阪市立大学	「クボタの生産革新と生産性向上」 (株)クボタ モノづくり統括部担当課長	平田 照也
9回	12月2日 大阪市立大学	「積水ハウスの営業マーケティング戦略と生産性向上」 積水ハウス(株) 兵庫シャームゾン支店TKC店課長	吉田 雅子
10回	12月9日 大阪市立大学	「ダイハツの人材採用・育成戦略と生産性向上」 ダイハツ工業(株) 上級執行役員 (公財)関西生産性本部 人材開発委員会副委員長)	入江 誠
11回	12月16日 大阪市立大学	「帝人の労使関係と生産性向上」 帝人労働組合 組合長 (公財)関西生産性本部 評議員 労使関係委員会副委員長・労働政策委員会委員)	南澤 広樹
12回	1月20日 大阪市立大学	「サービス業の生産性向上～がんこ寿司の挑戦～」 がんこフードサービス(株) 専務取締役 (独立行政法人産業技術総合研究所 サービス工学研究センター研究顧問)	新村 猛
13回	1月27日	「人を基軸としたわが社の生産性経営」	

	大阪市立大学	ダイキン工業㈱ 相談役 (公財)関西生産性本部 前副会長	岡野 幸義
--	--------	---------------------------------	-------

VII. 運 營

理事会

会長：レンゴー(株) 代表取締役社長
副会長：関西電力(株) 代表取締役社長
近畿日本鉄道(株) 代表取締役社長
(株)クボタ 代表取締役会長兼社長

ダイキン工業(株) 相談役

連合大阪 会長

連合大阪 会長

関西学院大学 商学部教授

専務理事：(公財)関西生産性本部 専務理事

(公財)関西生産性本部 専務理事

理事：NTT労働組合西日本本部 執行委員長

NTT労働組合西日本本部 執行委員長

大阪ガス労働組合 中央執行委員長

大阪工業大学 工学部ロボット工学科教授

大阪大学大学院 国際公共政策研究科教授

(株)カネカ 代表取締役社長

川崎重工労働組合 中央執行委員長

京都産業大学 客員教授

京都大学 名誉教授

神戸大学大学院 経済学研究科教授

甲南大学 特別客員教授

シャープ労働組合 中央執行委員長

ダイキン工業(株) 代表取締役社長兼COO

ダイハツ工業(株) 代表取締役社長

太陽工業(株) 代表取締役会長兼社長

帝人労働組合 組合長

同志社大学 社会学部教授

同志社大学大学院 司法研究科教授

西日本旅客鉄道労働組合 中央執行委員長

パナソニックグループ労働組合連合会 中央執行委員長

監事：大阪中小企業投資育成(株) 代表取締役社長

UAゼンセン 大阪府支部 支部長

大坪 清
八木 誠
小林 哲也
益本 康男

(2013. 6. 19副会長就任)

岡野 幸義

(2013. 3. 25退任)

川口 清一

(2013. 11. 8退任)

山崎 弦一

(2013. 11. 8就任)

平松 一夫

辻本 健二

(2013. 6. 19退任)

小宅 誠司

(2013. 6. 19専務理事就任)

八坂 繁良

(2013. 11. 8退任)

喜井 廣明

(2013. 11. 8就任)

蔵元 浩昭

本位田光重

松繁 寿和

菅原 公一

高橋 了

吉田 和男

(2013. 6. 19退任)

地主 敏樹

(2013. 6. 19就任)

加護野忠男

津田 秋一

十河 政則

(2013. 6. 19就任)

伊奈 功一

能村光太郎

南澤 宏樹

石田 光男

西村健一郎

前田 稔

廣田 典昭

(2013. 11. 8就任)

岩田 満泰

松本 昌三

	月日・場所	議 案
1回	6月6日 リーガロイヤルホテル	1. 2012年度の事業報告ならびに同収支決算(案)承認に関する件 (19名) 監査報告 2. その他 3. 当面の主要事業 4. 問題提起・意見交換 「日本の外交・防衛を考える」 熊本県立大学 理事長 (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 理事長 五百旗頭眞
臨時	6月19日	定款第43条の定めに基づき、書面にて代表理事(会長)及び業務執行理事(副会長、専務理事)の選任を行った。
臨時	10月30日	定款第43条の定めに基づき、理事会の決議の目的である事項である、臨時評議員会開催の件について書面にて提案決議した。

臨時	11月8日	定款第43条の定めに基づき、書面にて、業務執行理事(副会長)の選任及び顧問を委嘱した。
2回	2014年 3月27日	1. 2014年度事業計画・収支予算(案)承認に関する件 (15名) 2. 2014年度第1回ならびに臨時評議員会の開催日時、場所、内容に関する件 3. 常勤役員の2014年度報酬額に関する件 4. その他 報告 ①当面の主要事業について ②その他 問題提起・意見交換 「報道の場から見た、政治・経済」 読売テレビ放送(株) 報道局解説委員 高岡 達之

評議員会

概	要：前年度事業報告・収支決算、次年度事業計画・収支予算、役員選任等について審議した。
議	長：鴻池運輸(株) 代表取締役会長 辻 卓史 全ダイハツ労働組合連合会 会長 松原 弘久 (2013. 6. 19就任) 学中内学園流通科学大学 学長 石井 淳蔵 大阪ガス(株) 代表取締役社長 尾崎 裕 大阪商業大学 総合経営学部教授 金井 一頼 大阪商業大学 総合経営学部教授 安室 憲一 前関西電力労働組合 本部執行委員長 岸本 薫 (2013. 11. 8退任) 関西電力労働組合 本部執行委員長 檜垣 次郎 (2013. 11. 8就任) 京都大学大学院経済学研究科 教授 久本 憲夫 クボタ労働組合連合会中央執行委員長 堀部 勉 (2013. 11. 8退任) クボタ労働組合連合会中央執行委員長 菊地 栄男 (2013. 11. 8就任) 神戸大学経済経営研究所 教授 伊藤 宗彦 自治労大阪府本部 委員長 石子 雅章 住友電気工業(株) 代表取締役社長 松本 正義 積水化学工業(株) 代表取締役社長 根岸 修史 ダイキン工業労働組合 中央執行委員長 嶋津 哲史 (2013. 11. 8退任) ダイキン工業労働組合 中央執行委員長 堀田 浩 (2013. 11. 8就任) 武田薬品労働組合 中央執行委員長 篠原 正人 名古屋市立大学大学院 経済学研究科教授 角田隆太郎 西日本旅客鉄道(株) 代表取締役社長兼執行役員 真鍋 精志 日本ピラー工業(株) 代表取締役社長 岩波 清久 パナソニック(株) 代表取締役副会長 松下 正幸 阪急阪神百貨店労働組合 本部執行委員長 中村 裕二 日立造船(株) 代表取締役会長兼CEO 古川 実 法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科 教授 藤村 博之 連合兵庫 会長 森本 洋平 (2013. 11. 8退任) 連合兵庫 会長 辻 芳治 (2013. 11. 8就任)

	月日・場所	議 案
1回	6月19日 リーガロイヤルNCB	1. 2013年度事業報告(案)ならびに同収支決算(案)に関する件 (15名) 2. 理事の任期満了と選任手続きに関する件 3. 当面の主要事業について 他 4. 問題提起・意見交換

		「女性が幸せに働くことができ、活躍できる会社とは」 日経BP社 ビズライフ局長 『日経ウーマン』発行人 麓 幸子
臨時	11月8日	定款第22条の定めに基づき、書面にて、評議員の選任及び理事の選任を行った。
臨時	2014年 3月27日	議長の選任 (12名) 1. 常勤役員2014年度報酬総額に関する件 2. その他 報 告 ①当面の主要事業について ②その他 問題提起・意見交換 「報道の場から見た、政治・経済」 読売テレビ放送(株) 報道局解説委員 高岡 達之

顧問・参与

顧 問

名誉顧問：元 倉敷紡績(株) 会長
特別顧問：大阪国際空港ターミナル(株)
(公社)関西経済連合会 会長
(公財)関西生産性本部

神戸大学 名誉教授
新日鐵住金(株) 名誉顧問
新日鐵住金(株) 代表取締役社長兼COO
ダイキン工業(株) 相談役

元 全ダイハツ労働組合連合会 会長
元 武田薬品工業(株) 社長
南山大学大学院 ビジネス研究科教授
元 連合大阪 会長
元 連合大阪 会長

元 連合大阪 顧問
連合大阪 顧問

顧 問：大阪商工会議所 会頭
大津商工会議所 会頭
京都商工会議所 会頭
神戸商工会議所 会頭
奈良商工会議所 会頭

奈良商工会議所 会頭

和歌山商工会議所 会頭

真銅 孝三
岡澤 元大
森 詳介
辻本 健二
(2013. 6. 19就任)
新野幸次郎
中村 爲昭
友野 宏
岡野 幸義
(2013. 6. 19就任)
渡壁 長則
梅本 純正
吉原 英樹
石原 利昭
前川 朋久
(2014. 2. 13逝去)
伊東 文生
川口 清一
(2013. 11. 8就任)
佐藤 茂雄
大道 良夫
立石 義雄
大橋 忠晴
西口 廣宗
(2014. 3. 27退任)
植野 康夫
(2014. 3. 27就任)
片山 博臣
(顧問21名)

参 与

特別参与：元 関西電力労働組合 委員長
元 関西電力労働組合 委員長
元 三洋電機(株) 相談役
(公財)関西生産性本部
元 全金同盟大阪地方金属 委員長
元 大阪ガス(株) 常務取締役

元 東洋紡績(株) 専務取締役
元 武田薬品労働組合 委員長
(公財)関西生産性本部

芦田 忠治
足立 良平
井植 基温
宇埜 裕三
榎 正司
金辻 信弘
(2013. 11. 13逝去)
金谷 信
黒部 正也
越前 巖雄

元 (株)フジタカ 代表取締役社長
 元 ダイセル化学労働組合 委員長
 元 オムロン(株) 取締役副社長
 元 川崎重工労働組合 委員長
 元 東洋紡績(株) 副社長
 元 大阪ガス労働組合 委員長
 元 大阪ガス労働組合 委員長
 元 大阪ガス労働組合 中央執行委員長
 元 大阪地方同盟 書記長
 関西電力(株) 特別顧問
 元 ロイヤルホテル労働組合 組合長

(2013. 5. 27逝去)
 高井 保治
 高部 正彦
 立石 忠雄
 友井川紘一
 中田 武志
 林 司
 本田 廣市
 本田 敏一
 本田 精一
 向井 利明
 山之内昭夫

参 与：大阪商工会議所 専務理事
 (一社)関西経済同友会 常任幹事・事務局長
 (公社)関西経済連合会 専務理事

灘本 正博
 齊藤 行巨
 川邊 辰也
 (参与21名)

運営幹部会

概 要：当本部の運営全般や重要事業について審議し、各委員会の活動内容の情報共有をした。
 月 日：9月13日、1月16日
 場 所：第1回 リーガ`ロイヤルホテル、第2回 リーガ`ロイヤルNCB
 参加者数：第1回 36名(夕食懇談会 28名)、第2回 37名

	月日・場所	内 容	
1回	9月13日 リーガ`ロイヤルホテル	諸般報告 ① 21世紀全国生産性フォーラム 開催要領 ② 2014年版「生産性手帳」など 1. 各委員会の本年度の活動計画と主な所管事業などについて 2. 講話・問題提起 「これからの労使関係のあり方を考える」 当本部理事・労働政策委員会副委員長 同志社大学 社会学部産業関係学科教授 3. その他	石田 光男
	リーガ`ロイヤルホテル 「皇家龍鳳」	夕食懇談会	
2回	1月16日 リーガ`ロイヤルNCB	諸般報告 ① 関西労使政策フォーラム ② 関西 5S 大会 ③その他 1. 訪米組織開発調査団報告・意見交換 「経営に資する強い組織を作る」 ～日本流“組織開発”の推進のため、 私たちは何をなすべきか?～ 団 長 大阪ガス都市開発(株) 取締役会長 コーディネータ 南山大学 人文学部心理人間学科教授 団 員 ロート製薬(株) 人事総務部部长 2. 報告：第26回KPC定期調査の結果について 3. 2014年度事業計画大綱・収支予算大綱について 4. 次回以降のスケジュール確認	黒田 晶志 中村 和彦 綾井 博之

大阪経済記者クラブとの懇談会

概 要：大阪経済記者クラブ記者との懇談会を行った。
 月 日：1月16日
 場 所：リーガ`ロイヤルNCB
 内 容：第26回KPC定期調査結果発表
 参加者数：21名

挨拶

(公財)関西生産性本部 会長 (レンゴー(株) 代表取締役社長))
第26回KPC定期調査結果発表
2014年度事業計画大綱について
(公財)関西生産性本部 専務理事

大坪 清

小宅 誠司

総務政策委員会

概要： 要： 予算・決算、財務、賛助会員、事業計画・報告に関する審議を行うとともに、委員相互の交流を図った。

委員長： 関西電力(株) 代表取締役副社長

香川 次朗

副委員長： (株)大林組 常務執行役員

中本 修司

(株)大林組 常務執行役員大阪本店建築事業部長

(2013.5退任)

鶴田 信夫

(2013.5就任)

倉敷紡績(株) 顧問

石原 正喜

(2013.6退任)

近畿日本鉄道(株) 取締役常務執行役員

森島 和洋

サントリーホールディングス(株) 顧問

筑紫 勝麿

新日鐵住金(株) 常務執行役員大阪支社長

奥田 真弥

(2013.9就任)

住友電気工業(株) 執行役員人事総務部長

賀須井良有

(株)竹中工務店 常務執行役員

砂川 裕幸

パナソニック(株) 理事秘書室長

植田 健三

(株)りそな銀行 代表取締役副社長兼執行役員

廣富 靖以

(2013.3退任)

(株)りそな銀行 代表取締役副社長兼執行役員

池田 博之

(2013.4就任)

川崎重工労働組合 中央執行委員長

高橋 了

西日本旅客鉄道労働組合 中央執行委員長

前田 稔

京都産業大学 客員教授・京都大学 名誉教授

吉田 和男

(2013.5退任)

神戸大学大学院 経済学研究科教授

地主 敏樹

(2013.6就任)

甲南大学 特別客員教授

加護野忠男

委員： 大阪ガス(株) 執行役員総務部長

橋本 佳也

(株)カネカ 総務部長

三宅 俊一

川崎重工業(株) 執行役員人事本部長

芝原 貴文

関西電力(株) 秘書室秘書役

松本 有二

関西電力労働組合 本部副執行委員長

檜垣 次郎

(2013.6退任)

関西電力労働組合 本部副執行委員長

壬生 守也

(2013.7就任)

関電不動産(株) 総務部長

松尾 光記

(株)クボタ 理事・総務部長

中沢 直樹

クボタ労働組合連合会 中央副書記長

愛甲 隆志

(2013.10退任)

クボタ労働組合連合会 中央副書記長

北田 卓也

(2013.10就任)

倉敷紡績(株) 執行役員人事部長

岡田 治

(2013.7就任)

京阪電気鉄道(株) 執行役員監査内部統制室長 経営統括室副室長

永井 博

(2013.6退任)

京阪電気鉄道(株) 執行役員経営統括室人事部長

石丸 昌宏

(2013.7就任)

鴻池運輸(株) 執行役員 総務人事本部本部長

上野山和希

(株)神戸製鋼所 大阪支社長

近藤 薫

コクヨ(株) 人財開発部勤労厚生グループ長

高橋 正樹

コニカミノルタホールディングス(株) 関西支社支社長代理

柳田 耕治

<p>ユニカミノルタホールディングス(株) 関西支社支社長代理</p> <p>(株)島津製作所 総務部長</p> <p>(株)島津製作所 総務部長</p> <p>情報労連大阪地区協議会 事務局長</p> <p>住友化学(株) 人事部兼総務部部長補佐</p> <p>住友化学(株) 人事部兼総務法務室担当部長(総務)</p> <p>積水ハウス(株) 秘書部長</p> <p>積水ハウス(株) 総務部長</p> <p>大同生命保険(株) 人事総務部長</p> <p>大日本住友製薬(株) 執行役員人事部長</p> <p>武田薬品工業(株) 社長室大阪室長</p> <p>(株)椿本チエイン 執行役員 経営企画センター財務部長</p> <p>東洋紡績(株) 法務部長・総務部長</p> <p>日本生命保険(相) 本店広報室長</p> <p>日本郵政グループ労働組合 近畿地方本部 書記長</p> <p>日本郵政グループ労働組合近畿地方本部 副執行委員長</p> <p>(株)阪急阪神百貨店 人事企画室人事労務担当執行役員</p> <p>日立造船(株) 執行役員 総務・人事部長</p> <p>富士火災海上保険(株) 執行役員</p> <p>(株)三井住友銀行 総務部部長</p> <p>三菱電線工業(株) 関西支店長</p> <p>(株)三菱東京UFJ銀行 企画部部長兼秘書室室長</p> <p>(株)三菱東京UFJ銀行 企画部部長兼秘書室室長</p> <p>UAゼンセン 大阪府支部 次長</p> <p>連合大阪 副事務局長</p> <p>連合奈良 事務局長</p> <p>連合和歌山 事務局長</p> <p>(株)ワコール 執行役員人事部長</p>	<p>(2013.6退任)</p> <p>中北 雄司</p> <p>(2013.7就任)</p> <p>戸成 洋二</p> <p>(2014.1退任)</p> <p>井形 彰利</p> <p>(2014.1就任)</p> <p>山田 敦雄</p> <p>上鶴 茂喜</p> <p>(2013.6退任)</p> <p>木嶋 秀幸</p> <p>(2013.7就任)</p> <p>田中 善秀</p> <p>(2014.2退任)</p> <p>板鼻 雅彦</p> <p>(2014.2就任)</p> <p>井上 等</p> <p>小田切 斉</p> <p>若山 昭司</p> <p>小林 均</p> <p>南村 幸彦</p> <p>土塚 浩一</p> <p>寺杣 秀勝</p> <p>(2013.9退任)</p> <p>夏川 克美</p> <p>(2013.9就任)</p> <p>鈴木 篤</p> <p>森本 勝一</p> <p>登石 宏明</p> <p>森 和幸</p> <p>福田 忍</p> <p>池田 憲章</p> <p>(2013.11退任)</p> <p>磯 陽太郎</p> <p>(2013.11就任)</p> <p>森原 功裕</p> <p>山本 修</p> <p>竹平 均</p> <p>小林 茂</p> <p>山口 雅史</p>
---	---

	月日・場所	議 案	
1回	5月15日 当本部会議室	1. 諸般報告 2. 2012年度事業報告(案)・収支決算(案)について 3. 賛助会員の現状と拡大について 4. 問題提議・意見交換 「我が国企業の課題と今後について考える」 当本部理事・当委員会副委員長 京都産業大学 客員教授・京都大学 名誉教授	(22名) 吉田 和男
特別	8月2日～3日 伊勢志摩方面	式年遷宮を迎える伊勢神宮内宮にてお神楽・正式参拝 おかげ横丁 視察 講話「おかげ横丁の町づくりの考え方」 (有)伊勢福 社長 散策(おかげ座 など) 夕食懇談会・宿泊(志摩観光ホテルクラシック) 懇親ゴルフ会(近鉄賢島カンツリークラブ) 英虞湾めぐり、鳥羽水族館、ミキモト真珠島など	(22名) 橋川 史宏
2回	11月25日 パナソニックセンター大阪	1. 諸般報告 2. 当本部2014年度事業計画大綱(案)・収支予算大綱(案)について 3. 賛助会員状況について	(32名)

		<p>4. その他 〈見学〉 パナソニックセンター大阪 パナソニックセンター大阪のご紹介 パナソニック(株) 理事・パナソニックセンター大阪 所長 (見学・質疑応答)</p>	<p>浜崎 佳子</p>
3回	2014年3月6日 当本部会議室	<p>1. 諸般報告 2. 2014年度事業計画(案)・収支予算(案)について 3. 当委員会の2013年度活動状況と2014年度活動計画(案)について 4. 賛助会員状況について 5. 今後の委員会開催スケジュールなどについて 6. 問題提起・意見交換 「トイレ掃除から見る企業経営」 日本大学 経済学部 教授</p>	<p>(29名) 大森 信</p>